

XIII 教員の研究教育・社会貢献活動

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 新井 英靖
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1972 年 5 月
学歴・職歴	東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程修了(1998 年) 茨城大学教育学部(准教授)(2007 年 10 月～) 茨城大学教育学部(講師)(2000 年 10 月～) 東京都立久留米養護学校(教諭)(1998 年 04 月～2000 年 09 月)
学位	博士[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本発達障害学会, 日本教育学会, 日本教育方法学会, 日本特別ニーズ教育学会, 日本特殊教育学会
専門分野	障害児教育学 特別支援教育 障害児教育方法学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	【教養教育】「生活・福祉系科目」(112 人) 【学部専門】「障害児教育学演習Ⅱ」(4 人), 「知的障害児の教育方法」(31 人), 「知的障害児指導法演習」(45 人), 「肢体不自由児の教育方法」(55 人), 「感覚障害児の教育」(40 人), 「卒業研究」(5 人) 【大学院】「障害学総合研究」(5 人), 「障害児教育学特論Ⅱ(障害児教育方法学)」(9 人), 「障害児教育学演習Ⅱ」(6 人) 【専攻科】「障害児教育演習Ⅱ」(5 人), 「知的障害児の教育方法」(19 人), 「肢体不自由児の教育方法」(22 人), 「障害学総合研究」(6 人), 「障害児教育学特別研究Ⅱ」(1 人), 「障害児教育演習Ⅱ」(5 人), 「知的障害児の教育方法」(19 人), 「肢体不自由児の教育方法」(22 人), 「障害学総合研究」(6 人), 「障害児教育学特別研究Ⅱ」(1 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

新井英靖「英国インクルーシブ教育実践の展開と教授方法の改善」, 障害者問題研究, 39, 1, 44-48, 2011.
「英国の学習困難児に対する教育的アプローチに関する研究」, 風間書房, 2011.
新井英靖・三村和子・茨城大学教育学部附属特別支援学校「発達障害児の感情コントロール力を育てる授業づくりとキャリア教育」, 黎明書房, 2011.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本特殊教育学会 研究委員会国際化小委員会委員(2009年12月～2012年11月)

日本特殊教育学会 長期計画検討委員会幹事(2009年12月～2012年11月)

日本特別ニーズ教育学会 理事・事務局長(2004年10月～)

[兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2007年12月～)

[兼業]茨城県特別支援教育推進連盟〔講師〕(2007年12月～)

[兼業]水戸南高校〔講師〕(2007年11月～)

[兼業]茨城県立伊奈養護学校〔講師〕(2007年11月～)

[兼業]日立市教育研究会〔講師〕(2007年11月～)

[兼業]茨城県立友部東養護学校〔講師〕(2007年10月～)

[兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2007年10月～)

[兼業]茨城県立土浦養護学校〔講師〕(2007年09月～)

[兼業]東京都立羽村養護学校〔講師〕(2007年08月～)

[兼業]茨城県立水戸高等養護学校〔講師〕(2007年08月～)

[兼業]全日本特別支援教育研究連盟〔講師〕(2007年08月～)

[兼業]茨城県教育研究会〔講師〕(2007年08月～)

[兼業]茨城県立鹿島養護学校〔講師〕(2007年08月～)

[兼業]茨城県立つくば養護学校〔講師〕(2007年07月～)

[兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2007年06月～)

[兼業]茨城県教育委員会〔講師〕(2007年06月～)

[兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2007年05月～)

[兼業]社会福祉法人城里町社会福祉協議会〔講師〕(2007年05月～)

[兼業]茨城県教育研修センター研究発表会〔助言者〕(2007年03月～)

[兼業]京都府立医科大学FD研修会〔講師〕(2007年03月～)

[兼業]茨城県特殊教育諸学校体育連盟体育研修会〔講師〕(2007年02月～)

[兼業]茨城県教育委員会「個に応じた指導共同研修会」〔講師〕(2007年02月～)

[兼業]茨城県立友部東養護学校校内研修会〔講師〕(2007年01月～)

[兼業]茨城県立鹿島養護学校研究発表会〔助言者〕(2007年01月～)

[兼業]東京都世田谷区立烏山小学校公開研究会〔講師〕(2006年12月～)

[兼業]茨城県特殊教育諸学校教育研究会生活単元部会〔講師〕(2006年12月～)

[兼業]東京都立高島養護学校校内研修会〔講師〕(2006年12月～)

[兼業]茨城県立土浦養護学校校内研修会〔講師〕(2006年12月～)

[兼業]茨城県立潮来保健所子育て支援健康講座〔講師〕(2006年12月～)

[兼業]東京都立多摩養護学校校内研修会〔講師〕(2006 年 11 月～)
[兼業]茨城県学校教育相談研究会〔講師〕(2006 年 11 月～)
[兼業]日立養護学校公開研究会〔講師〕(2006 年 11 月～)
[兼業]常陸大宮保健所虐待児童相談研修会〔講師〕(2006 年 10 月～)
[兼業]日立市立大久保中学校校内研修会〔講師〕(2006 年 09 月～)
[兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2006 年 08 月～)
[兼業]東海村教育委員会主催研修会〔講師〕(2006 年 08 月～)
[兼業]京都府館学校連絡協議会主催講習会〔講師〕(2006 年 08 月～)
[兼業]牛久市教育委員会:幼児教育支援センター事業講演会〔講師〕(2006 年 07 月～)
[兼業]日立市教育研究会〔講師〕(2006 年 06 月～)
[兼業]茨城県県南教育事務所管内指導主事研修会〔講師〕(2006 年 02 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

イギリス ウスター、ロンドン・キャリア教育施設、ロンドン大学附属図書館〔聞き取り調査、資料探索及び収集〕
(2012 年 1 月:6 日間)

科学研究費補助金などの受領

「発達障害児のキャリア教育プログラムの開発」〔科研費〕若手研究(B)(代表)(2010 年 04 月 01 日～2013 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 荒川 智
-------------------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1957 年 8 月
学歴・職歴	筑波大学教育学研究科博士課程修了(1988 年) 茨城大学教育学部教授(2002 年 04 月～) 日本学術振興会特別研究員(1988 年 04 月～1989 年 03 月) 神奈川県立衛生短期大学講師(1989 年 04 月～1994 年 03 月) 茨城大学教育学部助教授(1994 年 04 月～2002 年 03 月)
学位	教育学博士[筑波大学]
受賞歴	日本特殊教育学会研究奨励賞(1996 年)
所属学会	日本特殊教育学会, 日本教育学会, 教育史学会, 日本特別ニーズ教育教育学会(SNE 学会)
専門分野	障害児教育、特別支援教育
教育研究概要	特別支援教育 障害児教育、と区別支援教育の歴史、制度、行政、理念、方法 特別ニーズ教育、インクルーシブ教育の国際動向 (キーワード)
担当科目	【教養教育】「生活・福祉系科目」(112 人) 【学部専門】「特別なニーズをもつ子どもの教育」(58 人), 「特別支援教育原論」(25 人), 「障害児教育学演習 I」(4 人), 「特別支援教育研究法」(22 人), 「障害児教育総論」(29 人), 「卒業研究」(4 人) 【大学院】「障害児教育学特論 I(障害児教育学・教育史)」(8 人), 「障害児教育学演習 I」(9 人) 【専攻科】「特別支援教育原論」(19 人), 「障害児教育演習 I」(3 人), 「障害児教育総論」(18 人), 「障害学総合研究」(6 人), 「特別支援教育原論」(19 人), 「障害児教育演習 I」(3 人), 「障害児教育総論」(18 人), 「障害学総合研究」(6 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>荒川 智「ドイツにおけるインクルーシブ教育の動向」, 障害者問題研究, 39, 1, 37-43, 2011.</p> <p>「特別支援教育における ESD の展望とケイパビリティ・アプローチ」, 茨城大学教育学部紀要, , 61, 217-227, 2012.</p> <p>Naoki Ito, Satoshi Arakawa, Satoshi nitsu, Fusaji Ando, Seiichi Makino, Tatsuya Toda, Mitsuyasu Tomita978-1-56368-5, "International Practices in Special Education", Gallaudet University Press, 295-308, 2011.</p>

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

日本特殊教育学会 理事(2009年12月～)

[非常勤講師]青森県教育委員会(2006年09月～)

[非常勤講師]茨城県教育委員会(2006年08月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

ドイツ ミュンヘン、メミンゲン・ミュンヘン大学 外[現地調査、情報収集](2011年10月:13日間)

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 池谷 文夫
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1948 年 4 月
学歴・職歴	<p>東京大学人文科学研究科博士課程単位取得満期退学(1977 年 03 月)</p> <p>茨城大学教授教育学部(現在に至る)(1993 年 04 月～)</p> <p>茨城大学講師教育学部(1977 年 04 月～1982 年 06 月)</p> <p>茨城大学助教授教育学部(1982 年 07 月～1993 年 03 月)</p> <p>茨城大学評議員(2002 年 04 月～2002 年 08 月)</p> <p>茨城大学副学長(教育)(2002 年 09 月～2004 年 03 月)</p> <p>茨城大学理事・副学長(教育)(2004 年 04 月～2004 年 08 月)</p> <p>茨城大学学長特別補佐(入学戦略担当)(2005 年 04 月～2006 年 03 月)</p> <p>茨城大学入学センター長(2006 年 05 月～2008 年 04 月)</p>
学位	博士(文学)[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	史学会, 日本西洋史学会, 歴史学研究会, 西洋史研究会, 早稲田大学史学会, 西洋中世学会
専門分野	西洋史, ドイツ中世史
教育研究概要	<p>中世ドイツ帝国史研究</p> <p>ドイツ中世後期を中心とする政治史・政治思想史の研究。</p> <p>中世皇帝権・ドイツ帝権・ドイツ王権, 帝国・ドイツ王国等のキーワードに即した理念と現実の交錯の解明。</p> <p>(キーワード) 中世ドイツ, 政治史, 国制史, 政治思想史, 帝権論, 神聖ローマ帝国史</p>
担当科目	<p>【学部専門】「ヨーロッパの歴史と文化」(34 人), 「言語と文化の諸相」(10 人), 「初等社会科内容研究」(111 人), 「初等社会科内容研究」(96 人), 「基礎世界史」(7 人), 「西洋史概説 I」(57 人), 「西洋史概説 II」(20 人), 「西洋史演習 I」(9 人), 「卒業研究」(3 人)</p> <p>【大学院】「西欧史特論」(2 人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

池谷 文夫「Konrad von Weinsberg 考:15世紀の帝国財務官兼小領主 ―帝国統治改革と自領国建設への努力―」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), , 60, 1-20, 2011.

池谷 文夫「アグネスとベアトリクス ―王朝最盛期の皇后―」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), , 61, 1-19, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

茨城県選挙管理委員会(2011 年度)

[兼業]茨城県[茨城県選挙管理委員会委員](2008 年 12 月～2012 年 12 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「ドイツ中世末期の政治と政治思想の研究(Study of German political history and thought in the later middle age)」[科研費](代表)(2009 年 04 月 01 日～2013 年 03 月 31 日)

養護教諭養成課程	氏名 石原 研治
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1971 年 5 月
学歴・職歴	東北大学薬学研究科博士後期課程修了(2000 年 03 月) 茨城大学 教育学部 養護教諭養成課程 准教授(2009 年 04 月～) 東北大学 大学院薬学研究科 助手(1999 年 04 月～2007 年 03 月) 東北大学 大学院薬学研究科 助教(2007 年 04 月～2008 年 03 月) 東北大学 大学院工学研究科 助教(2008 年 04 月～2009 年 03 月)
学位	博士(薬学)[東北大学]
受賞歴	財団法人 東北開発記念財団 海外(国際学会)派遣(2005 年), 財団法人 薬学研究奨励財団 海外(国際学会)派遣(2005 年), 日本薬学会 東北支部 奨励賞(2004 年)
所属学会	日本学校保健学会, International Eosinophil Society, アレルギー・好酸球研究会, 日本薬学会, 日本アレルギー学会
専門分野	膠原病・アレルギー・感染症内科学 耳鼻咽喉科学
教育研究概要	(キーワード)アレルギー 好酸球 気管支喘息 ニッケル 聴覚 難聴
担当科目	【教養教育】「コミュニケーション論」(267 人), 「身体・行動系科目」(128 人) 【学部専門】「総合演習」(31 人), 「解剖生理学」(35 人), 「解剖生理学演習」(35 人), 「免疫学 I」(35 人), 「免疫学 II」(35 人), 「薬理学」(38 人), 「卒業研究」(4 人) 【大学院】「養護学総合研究」(4 人), 「学校安全特論」(3 人), 「学校安全演習」(3 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>Tanaka R, Goi Y, Ishihara K, Ueda K, Narushima T, Ohtsu H, Hiratsuka M, Hirasawa N., "Enhancement of nickel elution by lipopolysaccharide-induced inflammation.", J. Dermatol. Sci., 62, 1, 50-57, 2011.</p> <p>Satou, N., Ishihara, K., Hiratsuka, M., Tanaka, H., Endo, Y., Saito, S., Iwatate, Y., Leonard, W.J., Hirasawa, N., "Induction of thymic stromal lymphopoietin production by xylene and exacerbation of picryl chloride-induced allergic inflammation in mice.", Int. Arch. Allergy Immunol., 157, 2, 194-201, 2011.</p> <p>嶋田 麻美, 石原研治「聴覚障害理解のための新規教育方法の考案」, 茨城大学教育実践研究, 30, 219-232, 2011.</p> <p>小島 由貴子, 石原 研治「難聴患者の現状理解と新規教育実践方法の考案」, 茨城大学教育実践研究, 30, 203-217, 2011.</p> <p>岸上 葉子, 石原 研治「難聴児に対する配慮のあり方 —難聴児をとりまく学校環境について—」, 茨城大学教育実践研究, 30, 195-201, 2011.</p> <p>益子 千佳, 石原 研治「小児アレルギーの症状とその対応 —小児喘息を中心に—」, 茨城大学教育実</p>

実践研究, 30, 183-193, 2011.

Tanaka, R., Goi, Y., Ishihara, K., Ueda, K., Narushima, T., Ohtsu, H., Ohuchi, K., Hiratsuka, M., Hirasawa, N., "Assessment of the release of nickel from biomaterials in vivo and in vitro: enhancement by lipopolysaccharide.", *Inflam. Regener.*, 31, 302-306, 2011.

熊谷仁美, 竹下誠一郎, 宮川八平, 石原研治「アレルギー疾患に対する養護教諭の保健指導の実態調査 - 他の職種との連携及び学校生活管理指導表の活用の実態について-」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 61, 387-396, 2012.

熊谷仁美, 竹下誠一郎, 宮川八平, 石原研治「アレルギー疾患に対する養護教諭の保健指導の実態調査-主に保健指導に関する相談・困難について-」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 61, 377-385, 2012.

熊谷仁美, 竹下誠一郎, 宮川八平, 石原研治「アトピー性皮膚炎の子どもへの対応について」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 61, 367-376, 2012.

中島 梨香子, 石原 研治「難聴患者とその家族が抱える悩みと社会現状の違いについて」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 61, 351-365, 2012.

石井 千尋, 石原 研治「アレルギー疾患に関する認識調査と基礎的理解」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 61, 337-349, 2012.

森口 弥寿々, 石原 研治「セルフメディケーション時代に即した医薬品情報の収集と養護活動への応用」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 61, 319-335, 2012.

佐久間 瑞恵, 市川 幸子, 柏 光佐子, 石原 研治「食物アレルギーに対する学校での対応と情報収集システムの構築」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 61, 299-317, 2012.

熊谷仁美, 石原研治「健常者のアレルギー意識と社会的役割について」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 61, 279-298, 2012.

Sato N, Ishihara K, Hiratsuka M, Hirasawa N., "Induction of thymic stromal lymphopoietin by chemical compounds in vivo and exacerbation of allergy.", *Inflam. Regener.*, 31, 2, 184-188, 2011.

研究業績(2)学会発表など

熊谷仁美, 竹下誠一郎, 宮川八平, 石原研治, 「アレルギー疾患の児童生徒への養護教諭の対応」(第 58 回日本学校保健学会・2011 年 11 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

東京学芸大学 非常勤講師(2011 年 10 月)

[非常勤講師]東京学芸大学[非常勤講師](2011 年 10 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「新規 IL-5Ra 鎖の生物活性と好酸球分化における役割の解明」[科研費]若手研究(B)(代表)(2011 年 04 月)

～2014 年 03 月)

「マイクロポンプシステムを用いた分子シャペロンとして働く薬物投与による遺伝性難聴の革新的治療法の創生」[厚生労働省]厚生労働科研費(分担)(2009 年 04 月～2012 年 03 月)

学校教育教員養成課程(理科教育)

氏名 伊藤 孝

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1964 年 10 月
学歴・職歴	筑波大学地球科学研究科博士課程修了(1993 年)
学位	博士(理学)
受賞歴	なし
所属学会	日本地学教育学会, 資源地質学会, 日本堆積学会, 日本地球化学会, 日本地質学会
専門分野	地質学 鉱床学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>【教養教育】「身近な地球科学」(74 人), 「主題別ゼミナール」(19 人)</p> <p>【学部専門】「総合演習」(9 人), 「初等理科内容研究」(69 人), 「鉱物学」(31 人), 「岩石学」(9 人), 「地球科学演習」(2 人), 「地学演習」(2 人), 「地学実験B」(31 人), 「地学野外実習」(24 人), 「卒業研究」(5 人)</p> <p>【大学院】「自然科学総合研究」(4 人), 「理科授業設計」(3 人), 「地学特論」(1 人), 「特別課題研究」(1 人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

<p>伊藤 孝・植木岳雪・中野英之・小尾 靖・牧野泰彦「地層を見る・はぎ取る・作る」, 地質学雑誌, 117, 補遺, 153-166, 2011.</p> <p>坂本 亮・伊藤 孝・清川昌一「19 億年前の深海底堆積岩の特徴:カナダ・フリンフロン帯における掘削コア TS07-01 の岩石記載?2」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), , 60, 35-46, 2011.</p> <p>関 友作・伊藤 孝「地球科学情報の市民への広報に関する事例研究-2:ニュージーランド・ウェリントンにおける活断層・地震情報の広報」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 60, 273-282, 2011.</p> <p>伊藤 孝「地球科学情報の市民への広報に関する事例研究?1:ニュージーランド・オークランドにおける火山情報の広報」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 60, 21-40, 2011.</p> <p>植木岳雪*・伊藤 孝・中野英之・小尾 靖・牧野泰彦「野外実習と室内実験を取り入れた学校教員向け巡検の実践報告:地層のはぎ取り標本と簡易水路実験の授業での活用を目指して」, 地質学雑誌, 118, 6, 387-392, 2012.</p> <p>坂本 亮・伊藤 孝・清川昌一「カナダ・フリンフロン帯における掘削コア TS07-01 に見られる黄鉄鉱の硫黄同位体比」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), , 61, 21-26, 2012.</p> <p>伊藤 孝・西楨 強・生見野々花・関 友作「巨大床地図観察・現場観察・複数の小型実験器具を用いた地形実験からなる野外観察プログラム」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 61, 21-34, 2012.</p> <p>伊藤 孝・岡崎智鶴子・芝原暁彦・澤村 寛・三田直樹「伸縮自在印刷用フィルムを活用した立体地形モデル</p>

の作製とその教材化の試み」, 地質学雑誌, , 2012.

研究業績(2) 学会発表など

<招待講演> <<いきいき萩っ子育て事業>>目指せ!! 石炭アーティスト～石炭をすりつぶして絵の具を作ろう～(講師)(2012年03月)

<招待講演> 帯広市民大学第14集:オンネトー周辺見学会(講師)(2011年07月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本地学教育学会 学会賞・学術奨励賞選考委員(2008年04月～)

日本堆積学会 教育問題検討委員(2008年01月～)

日本地学教育学会 編集委員(2006年09月～)

独立行政法人海洋研究開発機構 横須賀本部海底資源研究プロジェクト資源成因研究グループ 招聘主任研究員(2011年08月～2013年03月)

[兼業]独立行政法人海洋研究開発機構 横須賀本部海底資源研究プロジェクト資源成因研究グループ[招聘主任研究員](2011年08月～2013年03月)

海外出張・海外研修・内地研修など

フランス パリ・パリ第6大学[国際会議参加](2011年4月:7日間)

アメリカ ハワイ州・ハワイ大学マノア校[資料の分析、論文執筆](2011年9月:12日間)

台湾 台北・国立台湾海洋大学、タロコ地域[シンポジウム参加、野外調査](2012年3月:6日間)

科学研究費補助金などの受領

「太古代チャートの多種同位体と微量元素の地球化学:海洋環境と生命活動記録の解明」[科研費](分担)(2008年04月01日～2012年03月31日)

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 稲葉 健五
------------------	----------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1946 年 10 月
学歴・職歴	東北大学 農学研究科作物学博士課程修了(1975 年)
学位	農学博士[東北大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本作物学会, 日本作物学会東北支部会, 根の研究
専門分野	作物学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	【教養教育】「身近な生物学」(75 人), 「主題別ゼミナール」(18 人) 【学部専門】「基礎栽培学」(18 人), 「栽培の基礎技術」(18 人), 「栽培の応用技術」(17 人), 「栽培学」(18 人), 「栽培演習」(3 人), 「卒業研究」(4 人) 【大学院】「技術と生活総合研究」(2 人), 「技術科授業設計」(3 人), 「栽培学特論」(3 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

「21 世紀の茨城農業・農村振興プロジェクト調査研究」(共同研究): (不明年～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

情報文化課程	氏名 乾 康代
--------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1953 年 10 月
学歴・職歴	大阪市立大学生活科学研究科博士課程単位取得満期退学(2000 年)
学位	学術博士[大阪市立大学]
受賞歴	なし
所属学会	都市住宅学会, 日本都市計画学会, 日本家政学会, 日本建築学会
専門分野	住居管理 居住地計画
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>【教養教育】「生活・福祉系科目」(55 人)</p> <p>【学部専門】「保育内容の研究(環境)」(56 人), 「住居環境学」(60 人), 「住環境計画学」(34 人), 「初等家庭科内容研究」(124 人), 「初等家庭科内容研究」(14 人), 「住居計画学」(62 人), 「住居デザイン I/設計製図 I」(41 人), 「住居デザイン II」(8 人), 「住居学演習/居住地計画演習」(14 人), 「卒業研究」(1 人)</p> <p>【大学院】「生活科学総合研究」(3 人), 「家庭科授業設計」(2 人), 「住居学特論」(2 人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

<p>乾 康代「東海村 JCO 臨界事故後の地域居住の動向」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), , 60, 55-64, 2011.</p> <p>乾 康代「築協定地区における協定規定と運営課題 ?アンケート調査の自由意見分析?」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), , 60, 43-53, 2011.</p> <p>乾 康代「東海村の開発過程と地域居住者構成の特質」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), , 60, 65-75, 2011.</p> <p>乾 康代「建築協定地区における協定違反の発生実態と発生抑制の課題 ?茨城県の2地区を事例に?」, 都市計画論文集, , 46-3, 2011.</p> <p>乾 康代「地域とのつながりを考える住教育の教材検討 ?テレビアニメ「ちびまる子ちゃん」を利用して?」, 茨城大学教育実践研究, , 30, 2011.</p> <p>土屋早織, 乾 康代「学校余裕教室を活用した子育て支援事業の事例研究 ?水戸市立五軒小学校における「子育てばかばか広場」?」, 茨城大学教育実践研究, , 30, 2011.</p> <p>乾 康代「東日本大震災による茨城県の住宅被害地区の住宅被害と地域課題」, 茨城大学地域総合研究所年報, , 45, 2012.</p> <p>乾 康代「旧軍用地転用と戦後の郊外スプロール開発の展開 ?水戸市堀原旧陸軍用地と周辺地域?」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), , 61, 2012.</p>

「住宅被害と避難所の問題」, 茨城大学東日本大震災調査報告書, , 2011.

乾 康代「茨城県の住宅被害と行政支援の課題」, マンション学, , 40, 2011.

乾 康代「東海村における農村地域の居住地動向」, 科学研究成果報告書『東海村臨海事故 10 年を経た地域社会の再構築と福島第一原発事故後の新たな地域課題』, , 2012.

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本建築学会 関東支部茨城支所常任幹事(2002 年 04 月～)

日本建築学会 住宅の地方性小委員会委員・(2004 年 04 月～)

日本建築学会 関東支部茨城支所・常任理事(2002 年 04 月～)

「都市近郊農村の景観に関する研究」(共同研究): (不明年～)

「住宅地における建築協定に関する研究」(共同研究): (不明年～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「茨城県の被災地における地域復興に向けた住宅復旧支援のための研究」[平成 23 年度 茨城大学特定課題研究助成費](代表)(2011 年 06 月～2012 年 03 月)

「茨城県の被災地における地域復興に向けた住宅復旧支援のための研究」[日本建築学会関東支部茨城支所助成](代表)(2011 年 06 月～2012 年 03 月)

「茨城県の被災地における地域復興に向けた住宅復旧支援のための研究」[茨城大学教育学部 茨城大学特定課題研究助成費《震災復興調査・研究》](代表)(2011 年 06 月 01 日～2012 年 03 月 31 日)

「臨界事故 10 年を経た東海村の防災システムと地域再生の総合的研究」[科研費]基盤研究(A)一般(分担)(2009 年 07 月 01 日～2012 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 猪井 新一
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1955 年 9 月
学歴・職歴	東北大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了(2008 年 09 月) 北海道教育大学教育学部旭川校・助教授(2001 年 10 月～2004 年 03 月) 茨城大学教育学部・教授(2007 年 04 月～) 会津大学短期大学部・教授(2005 年 04 月～2007 年 03 月) 北海道教育大学教育学部旭川校・教授(2004 年 04 月～2005 年 03 月) 奥羽大学文学部英語英文学科・専任講師(1993 年 04 月～2001 年 09 月) 千葉県及び福島県公立高等学校教諭(1979 年 04 月～1993 年 03 月)
学位	教育学修士[福島大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	東北英語教育学会, 全国英語教育学会, 全国語学教育学会(JALT), 大学英語教育学会(JACET), 小学校英語教育学会, 関東甲信越英語教育学会
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード) 談話分析, 学習方略, コミュニケーション方略
担当科目	【教養教育】「総合英語(レベル2)」(40 人) 【学部専門】「英語科教育法研究 I」(18 人), 「英語科内容研究」(25 人), 「英語コミュニケーション III」(23 人), 「小学校英語 I」(20 人), 「卒業研究」(1 人) 【大学院】「言語と文化総合研究」(2 人), 「英語科授業設計」(1 人), 「英語科教育学特論 I (英語教授法研究)」(2 人), 「英語科教育学演習 I」(1 人), 「特別課題研究」(1 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

猪井 新一「茨城大学教員免許状更新講習における小学校外国語活動講座の実践報告」, 茨城大学教育実践研究, , 30, 123-135, 2011.

研究業績(2) 学会発表など

INOI, Shin'ichi, "The use of Asian writing systems as teaching material for upper primary graders"(The 46th RELC International Seminar, 2011 年 04 月)

猪井 新一, 「日本語を利用した小学校外国語活動」(第 37 回全国英語教育学会山形研究大会・2011 年 08 月)

猪井新一, 「漢字を利用した小学校外国語活動」(関東甲信越英語教育学会第 35 回神奈川研究大会・2011 年 08 月)

〈招待講演〉平成23年度第1回英語教育研究部都市部長並びに専門員および小学校外国語部員合同研究会(コミュニケーション能力の素地とコミュニケーション能力の基礎を支えるもの)(2011年05月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

茨城県教育連盟 第56回茨城県教育連盟・教育研究集会・講師(2011年10月～2012年03月)
茨城大学教育学部附属小学校 平成23年度公開授業研究会(外国語活動)・アドバイザー(2011年04月～2012年03月)

[その他]第56回茨城県教育研究連盟研究集会(外国語),茨城県教育研究連盟(2011年度実施)

[その他]平成23年度茨城大学教員免許状更新講習会(期・期),茨城大学(2011年度実施)

[出前授業]英文法の学習方法,茨城県立水海道第一高等学校(2011年度実施)

海外出張・海外研修・内地研修など

シンガポール シンガポール・SEAMEO Regional Language Centre[国際学会参加](2011年4月:5日間)
韓国 ソウル、清州・韓国教員大学校、清州市内小中学校、ソウル教育大学校[聞き取り調査、授業参観、資料収集](2011年9月:3日間)

科学研究費補助金などの受領

「日本語を活用した体験型小学校英語活動教員研修プログラムの開発」[科研費](代表)(2009年04月01日～2012年03月31日)

情報文化課程	氏名 岩佐 淳一
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1960 年 1 月
学歴・職歴	中央大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学(1990 年)
学位	文学修士[中央大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本社会情報学会, 日本社会学会, 日本マス・コミュニケーション学会
専門分野	社会情報論、社会学・マス・コミュニケーション論
教育研究概要	ケーブルテレビを中心とした地域情報化に関する研究およびタイ東北部の地域情報に関する研究 (キーワード)
担当科目	【教養教育】「コミュニケーション論」(64 人), 「社会と人間」(154 人), 「主題別ゼミナール」(62 人) 【学部専門】「マス・コミュニケーション論」(101 人), 「社会学特講/情報社会論/情報社会論」(43 人), 「課題図書講読 I」(88 人), 「課題図書講読 II」(83 人), 「課題図書講読 III」(17 人), 「インターンシップ」(2 人), 「情報文化広報プロジェクト I」(24 人), 「情報文化広報プロジェクト II」(23 人), 「地域活動プロジェクト I」(17 人), 「地域活動プロジェクト II」(17 人), 「メディア・リテラシーII」(20 人), 「フィールドワークの科学」(26 人), 「社会文化情報演習 II」(21 人), 「文化の社会学」(63 人), 「卒業研究」(13 人) 【大学院】「社会学特論」(1 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

日本社会情報学会 学会誌(和雑誌)担当編集委員(2010 年 05 月～)

水戸市青少年育成推進会議理事(2011 年度)

東海村情報公開・個人情報保護審査会委員(2011 年度)

社団法人茨城県経営者協会地域関係委員会委員(2011 年度)

理事[NPO 法人ふるさと元気塾](2004 年 06 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

タイ バンコク・チュラロンコーン大学、ラーマカムヘーン大学[資料収集](2011 年 9 月:7 日間)

科学研究費補助金などの受領

人間環境教育課程	氏名 上地 勝
----------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1969 年 8 月
学歴・職歴	筑波大学大学院医学研究科博士課程修了(1999 年) 茨城大学准教授教育学部(2007 年 04 月～) 茨城大学助教授教育学部(2001 年 10 月～2007 年 03 月) 茨城県立中央看護専門学校非常勤講師(1996 年 04 月～1999 年 03 月) 茨城県立つくば看護専門学校非常勤講師(1997 年 04 月～2000 年 03 月) 筑波大学助手社会医学系(1999 年 04 月～2001 年 09 月) 茨城キリスト教大学非常勤講師(2002 年 04 月～2011 年 03 月)
学位	博士(医学)[筑波大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校保健学会, 日本公衆衛生学会, 日本疫学会, 日本体力医学会, 日本民族衛生学会, 日本教育保健学会
専門分野	応用健康科学 公衆衛生学・健康科学 学校保健学 健康教育 疫学
教育研究概要	(キーワード) 学校保健、健康教育、保健科教育、疫学、公衆衛生学、健康科学、老年学、介護予防
担当科目	【教養教育】「身体活動」(42 人), 「身体活動」(50 人), 「身体活動」(79 人) 【学部専門】「体育科教育法研究」(75 人), 「保育内容の研究(健康)」(49 人), 「陸上競技指導法/陸上競技/陸上競技/陸上競技指導法/陸上競技」(45 人), 「現代人の健康」(51 人), 「体育科内容研究」(112 人), 「体育科内容研究」(110 人), 「陸上競技方法論」(38 人), 「スポーツ医学」(45 人), 「衛生公衆衛生学概論」(60 人), 「学校保健概論」(44 人), 「総合演習」(9 人), 「健康特別演習 I」(11 人), 「健康特別演習 II」(10 人), 「健康運動指導実習」(21 人), 「卒業研究」(5 人) 【大学院】「体育科学総合研究」(6 人), 「保健体育授業設計」(6 人), 「学校保健特論 I(学校保健総論)」(7 人), 「学校保健管理演習」(2 人), 「人間システム基礎論 II」(8 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

渡邊正樹, 下村義夫, 市 國夫, 上地 勝「青少年危険行動志向性尺度の開発」, 東京学芸大学紀要. 芸術・スポーツ科学系, 63, 79-85, 2011.

荒井信成, 上地 勝「高校生用レジリエンス尺度の信頼性と妥当性の検討」, 筑波大学体育科学系紀要, 35, 67-72, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本民族衛生学会 編集委員(2010年04月～)

日本民族衛生学会 評議員(2003年01月～)

日本民族衛生学会 日本民族衛生学会編集委員会委員・(2010年01月～)

[自治体での社会教育]中高年の自分発見！！ウォーキング～自分の身体を知ろう～, 県西生涯学習センター(2011年度実施)

[自治体での社会教育]ひたちなか市生涯スポーツ指導者講習会, ひたちなか市生涯学習課(2011年度実施)

[その他]茨城県体育実技指導者講習会, 茨城県教育委員会(2011年度実施)

[その他]茨城県体育授業アドバイザー「陸上運動」水戸市立五軒小学校, 茨城県教育委員会(2011年度実施)

[その他]生活習慣病の予防(養護教諭10年次研修), 茨城県教育研修センター(2011年度実施)

[その他]健康教育の理論と実践(養護教諭10年次研修), 茨城県教育研修センター(2011年度実施)

[東海村消防本部](2007年10月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「思春期のレジリエンスと健康行動の関連についての実証的研究」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2011年04月～2014年03月)

「青少年におけるソーシャル・キャピタルと健康に関する社会疫学的研究」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2011年04月～2012年03月)

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 白坂 高司
------------------	----------

教員履歴など

現職	講師
生年月	1981年4月
学歴・職歴	広島大学大学院教育学研究科博士後期課程修了(2011年03月)
学位	博士(学術)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本産業技術教育学会, 日本教科教育学会, 日本科学教育学会, コンピュータ利用教育学会, 日本教育工学会, 日本工学教育協会, 教育システム情報学会
専門分野	木材加工教育, 教科教育学
教育研究概要	(キーワード) 中学校技術科, 木材加工, ものづくり教育, 技術教育, 教育システム
担当科目	<p>【教養教育】「情報処理概論」(65人), 「主題別ゼミナール」(18人)</p> <p>【学部専門】「技術科教育法研究Ⅰ」(18人), 「技術科指導法(木材加工実習)/木材加工の基礎技術」(27人), 「基礎木材加工」(20人), 「木材加工の応用技術」(19人), 「木材加工学」(11人), 「木材加工演習」(4人), 「卒業研究」(3人)</p> <p>【大学院】「技術と生活総合研究」(2人), 「技術科授業設計」(3人), 「技術科教育演習Ⅰ」(3人), 「木材加工学特論」(2人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

白坂高司「木材加工学習における「仮組立て」と「組立て」の思考内容の分析」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, , 61, 155-163, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

Takashi Usuzaka, Toru Yamamoto, "Development of K-nearest Neighbor Prediction System for Learners' Scores in the Assembling Process of a Manufacturing Class", Proceedings of Society for Information Technology & Teacher Education International Conference, , 2157-2163, 2012.

, 「木材加工学習への意識と自己効力感との関連 - 大学生の調査による考察 -」(日本産業技術教育学会第23回関東支部大会・2011年12月)

, 「小学生の技術的素養と性格特性との関連性に関する研究」(日本産業技術教育学会第23回関東支部大会・2011年12月)

, 「茨城県における中学校技術科の指導状況に関する研究 -平成20年改訂学習指導要領についてのアンケート調査を基にして-」(日本産業技術教育学会第23回関東支部大会・2011年12月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ オースティン・シェラトンホテル[学会参加](2012年3月:5日間)

科学研究費補助金などの受領

「MBR 型 IMC 個別学習支援システムの開発」[科研費]科学研究費補助金(研究活動スタート支援)(代表)
(2011年04月～2013年03月)

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 梅津 健一郎
------------------	-----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1965 年 3 月
学歴・職歴	筑波大学数学研究科博士課程修了(1993 年 03 月) 茨城大学教育学部教授(2012 年 04 月～) 筑波大学数学系準研究員(文部技官)(1993 年 06 月～1997 年 02 月) 筑波大学数学系助手(1997 年 03 月～1997 年 03 月) 前橋工科大学工学部講師(1997 年 04 月～2001 年 03 月) 前橋工科大学工学部助教授(2001 年 04 月～2007 年 03 月) 前橋工科大学工学部准教授(2007 年 04 月～2008 年 03 月) 茨城大学教育学部准教授(2008 年 04 月～2012 年 03 月)
学位	博士(数学)[筑波大学]
受賞歴	(The International Society for Analysis, its Applications and Computation) (2003 年 08 月)
所属学会	日本数学会, 日本応用数理学会
専門分野	基礎解析学
教育研究概要	(キーワード)非線形楕円型境界値問題, 非線型境界条件, 変分法, 固有値問題, 符号不定係数, 分岐理論, 写像度, 人口動態論.
担当科目	【学部専門】「総合演習」(6 人), 「算数科内容研究」(77 人), 「解析学の基礎 I/微分積分の基礎」(52 人), 「解析学の基礎 II」(43 人), 「解析学A」(30 人), 「解析学B」(33 人), 「解析学C」(24 人), 「解析学D」(5 人), 「卒業研究」(5 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Kenichiro Umez, "Bifurcation approach to a logistic elliptic equation with a homogeneous incoming flux boundary condition", Journal of Differential Equations, 252, 2, 1146-1168, 2012.

研究業績(2)学会発表など

梅津健一郎, 「ロジスティックタイプの非線形楕円型境界値問題に対する正值解の大域的な分岐構造について」(変分問題セミナー・2012 年 03 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「人口動態論に由来する吸収爆発混合型の非線形楕円型境界値問題の分岐解析」[科研費](代表)(2010年04月01日～2013年03月31日)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 大槻 功
-------------------	---------

教員履歴など

現 職	名誉教授
生年月	1944 年 4 月
学歴・職歴	東京大学経済学研究科博士課程(1975 年) 茨城大学講師(教育学部)(1975 年 07 月～) 茨城大学助教授(教育学部)(1980 年 04 月～) 茨城大学教授(教育学部)(1995 年 04 月～)
学位	経済学修士
受賞歴	なし
所属学会	政治経済学・経済史学会(旧土地制度史学会), 社会経済史学会, 歴史学研究会
専門分野	経済史
教育研究概要	地域経済の変遷と人々の生活の変化の研究 明治から昭和戦前期の関東地方および茨城県の農業と地主制の研究、地租改正の研究、水戸市の農業および商工業の研究をしています。また、千波湖と水戸市の社会および生活の変遷を現代まで研究しています。 (キーワード) 地租改正, 商業的農業, 地主制, 地方都市の近代化, 戦時商業統制, 都市の自然と社会の変遷
担当科目	【教養教育】「コミュニケーション論」(267 人) 【学部専門】「経済原論 I」(38 人), 「経済原論 II」(40 人), 「国際経済史」(16 人), 「卒業研究」(1 人) 【大学院】「経済学特論」(1 人), 「経済学演習」(1 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 尾形 敬史
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1947 年 5 月
学歴・職歴	東京教育大学大学院体育学研究科修士課程修了(1973 年)
学位	体育学修士[東京教育大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本武道学会, 日本体育学会
専門分野	体育学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	【教養教育】「身体活動」(30 人), 「身体活動」(31 人), 「コミュニケーション論」(267 人) 【学部専門】「体育科教育法研究」(46 人), 「柔道指導法/柔道」(24 人), 「武道方法論」(48 人), 「生理学」(38 人), 「柔道/柔道指導法」(42 人), 「卒業研究」(2 人) 【大学院】「体育科学総合研究」(6 人), 「保健体育授業設計」(6 人), 「運動生理学特論」(6 人), 「特別課題研究」(1 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

田中裕之, 尾形敬史, 小野沢弘史「中学校保健体育科武道(柔道)の実態について」, 講道館柔道科学研究会紀要, 13, 2011.

藤原修一, 射手矢岬, コラン・チェリー, 濱田初幸, 尾形敬史「柔道における子どもと指導者および保護者の柔道観」, 講道館柔道科学研究会紀要, 13, 2011.

尾形敬史, 向井幹博「新・学校柔道～安全確保の指導法～(DVD3巻、解説書1冊)」, (株)Universe, 2011.

尾形敬史, 小俣幸嗣「柔道実技指導のヒント」, 道和書院, 2011.

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

--

附属教育実践総合センター	氏名 岡部 千草
--------------	----------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1950 年 1 月
学歴・職歴	
学位	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 岡本 研二
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1947 年 10 月
学歴・職歴	京都大学教育学研究科修士課程(1975 年)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会, 日本教育学会
専門分野	体育学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>【教養教育】「身体活動」(47 人), 「身体活動」(45 人), 「身体活動」(44 人)</p> <p>【学部専門】「体育科教育法研究」(72 人), 「体育科教育法研究」(40 人), 「保健体育科教育法研究 II」(41 人), 「ハンドボール指導法/ハンドボール/ハンドボール/ハンドボール指導法/ハンドボール」(51 人), 「体育科内容研究」(110 人), 「コーチング論 I」(81 人), 「ボールゲーム方法論 I」(37 人), 「卒業研究」(1 人)</p> <p>【大学院】「体育科学総合研究」(6 人), 「保健体育授業設計」(6 人), 「保健体育授業論演習」(6 人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

[非常勤講師]桜の郷看護学校(2006 年 04 月～)

[非常勤講師]筑波大学(2006 年 04 月～)

県スポーツリーダーバンクの資格認定講習会講師[茨城県教育庁](2006 年 07 月～), 国民体育大会の強化事業のコーチングスタッフ[i 茨城県体育協会](2006 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 岡安 隆
------------------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 11 月
学歴・職歴	東京工業大学理工学研究科修士課程(1985 年)
学位	理学博士[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	微分幾何学
教育研究概要	<p>教養の数学を担当。また、教育学部専門科目では、幾何学の基礎、幾何学 C、D、算数科内容研究を担当。</p> <p>専門分野は微分幾何学。極小曲面、調和写像、部分多様体論の研究を行っている。</p> <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>【教養教育】「身近な数学」(34 人), 「身近な数学」(31 人)</p> <p>【学部専門】「総合演習」(6 人), 「算数科内容研究」(80 人), 「幾何学の基礎 I」(42 人), 「幾何学の基礎 II」(31 人), 「幾何学C」(30 人), 「幾何学D」(16 人), 「卒業研究」(4 人)</p> <p>【大学院】「特別課題研究」(1 人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

岡安 隆「ユークリッド空間の完備極小部分多様体の構成について」, 日本数学会秋季総合分科会アブストラクト, , 21-22, 2011.

研究業績(2) 学会発表など

Takashi Okayasu, "Closed hypersurfaces in Riemannian manifolds whose second fundamental forms are of constant length", International workshop on complex structures, integrability and vector fields, , 90-96, 2011.

岡安 隆, 「極小部分多様体の構成法について」(部分多様体論・湯沢2011・2011年11月)

岡安 隆, 「ユークリッド空間の完備極小部分多様体の構成について」(日本数学会2011年度秋季総合分科会・2011年09月)

岡安 隆, 「ユークリッド空間の完備極小部分多様体の構成についての2つの結果」(IMS研究集会「部分多様体の微分幾何学的研究」・2011年06月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「幾何解析を用いた Weingarten 超曲面の構成の研究」[科研費](代表)(2011 年 05 月～2015 年 03 月)

「幾何解析を用いたスカラー曲率一定な超曲面の構成の研究」[科研費](代表)(2007 年 04 月～2011 年 06 月)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 小川 哲哉
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 2 月
学歴・職歴	広島大学大学院 教育学研究科博士後期課程修了(2005 年 03 月) 茨城大学教育学部 教授(2010 年 04 月～) 九州産業大学 講師(1988 年 10 月～1992 年 03 月) 広島大学教育学部助手(1987 年 04 月～1988 年 03 月) 九州産業大学 助教授(1992 年 04 月～2001 年 03 月) 九州産業大学 教授(2001 年 04 月～2004 年 03 月) 九州産業大学大学院 教授(2004 年 04 月～2010 年 03 月)
学位	博士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本ペスタロッチー・フレーベル学会, 教育哲学会, 日本教育学会, 日本ディルタイ協会, 教師教育学会, 道德教育学会, 道德教育方法学会
専門分野	教育哲学、教育思想史
教育研究概要	教育活動(教育学及び教師教育学領域、教育原理科目、教育哲学関係)研究活動(教育学研究, 教師論研究, 道德教育の実践的論究) (キーワード)
担当科目	【教養教育】 「人間・文化系科目」(97 人), 「主題別ゼミナール」(14 人) 【学部専門】 「教育の本質と理念」(208 人), 「教育の本質と理念」(122 人), 「総合演習」(36 人), 「学校外教育・学習活動の理論と実践」(13 人), 「教育哲学特講」(6 人), 「教育史演習 I」(7 人), 「卒業研究」(4 人) 【大学院】 「学校教育総合研究」(46 人), 「教育原論特論」(5 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

小笠原道雄、田代尚弘、堺正之共編『『道德教育の可能性－徳は教えられるか－』, 福村出版, 126-133, 2012.

小川哲哉、佐喜本愛、松本和寿、勝山吉章『『日本の教育の歴史を知る』, 青簡舎, 36-54, 89-103, 2012.

小川哲哉、勝山吉章、井上豊久『『現代教育の論究』, 青簡舎, 3-14, 62-76, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本ペスタロッチー・フレーベル学会 理事(2012 年～2015 年)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 小口 祐一
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1962 年 9 月
学歴・職歴	茨城大学准教授(2010 年 04 月～) 盛岡大学助教授(2005 年 04 月～2007 年 03 月) 盛岡大学准教授(2007 年 04 月～2010 年 03 月)
学位	修士(教育学)
受賞歴	なし
所属学会	日本統計学会, 日本教授学習心理学会, 日本科学教育学会, 日本数学教育学会, National Council of Teachers of Mathematics
専門分野	教科教育学
教育研究概要	統計教育 (キーワード) 統計教育 オープンアプローチ 空間図形カリキュラム
担当科目	【教養教育】「身近な数学」(27 人) 【学部専門】「総合演習」(6 人), 「総合演習」(6 人), 「算数科教育法研究」(52 人), 「算数科教育法研究」(39 人), 「数学科教育法演習 II」(12 人), 「数学科教科論」(41 人), 「コンピュータ概論」(52 人), 「卒業研究」(6 人) 【大学院】「数学科教育学演習 II」(2 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

小口祐一「データ分布の読み取りにおける学習者の誤った判断 ―一様性のバイアスと箱ひげ図の誤った読み取り―」, 科学教育研究, 35, 2, 128-138, 2011.

小口祐一, 青山和裕, 藤井良宜「中学校第3学年の生徒のグラフを読み取る能力に関する実態調査」, 日本科学教育学会 年会論文集, 35, 99-102, 2011.

小口祐一, 新井仁「中学校数学における円周率 π の近似に関する指導 ―高等学校における漸化式による学習を展望して―」, 日本数学教育学会 論文発表会論文集, 44, 1, 465-470, 2011.

小口祐一「標本比率の分布の認識に及ぼす標本抽出の回数の影響」, 統計教育実践研究, 4, 12-17, 2012.

小口祐一「統計教育における変動性の評価の枠組み ―GAISE レポートに基づいて―」, 茨城大学大学教育センター紀要, 2, 13-22, 2012.

T.S.スマート, 小口祐一訳「スコットランドバイオ数理統計学の挑戦 ―標本抽出の偏りに関する実例による説明―」, ESTRELA, 214, 26-29, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

小口祐一, 「標本抽出における誤判断の要因の推定」(日本教授学習心理学会 第7回年会・2011 年 06 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本数学教育学会 編集部幹事(2011年11月～)

日本教授学習心理学会 編集委員(2011年07月～)

日本統計学会 統計教育委員(2008年04月～)

統計指導者講習会(2011年度)

近大姫路大学教育学部 非常勤講師(2011年04月)

[非常勤講師]近大姫路大学教育学部[非常勤講師](2011年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「中等教育における統計的リテラシーのオンライン評価システムの開発」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)
(2010年04月01日～)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 生越 達
------------------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1960 年 1 月
学歴・職歴	東京大学教育学研究科博士課程(1992 年) 茨城大学教育学部教授(2004 年 04 月～)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本生活指導学会, 社会臨床学会, 日本人間性心理学会, 日本教育方法学会, 日本教育学会
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)教育方法、生活指導、教育相談、子ども論、現象学的研究、人間性心理学、授業研究、不登校、子どもの「問題行動」
担当科目	【教養教育】「コミュニケーション論」(267 人) 【学部専門】「生活指導の方法」(225 人), 「生活指導の方法」(115 人), 「教育的関係論演習」(10 人), 「教育的関係論特講」(10 人), 「卒業研究」(3 人) 【大学院】「教育方法学特論」(12 人), 「教育方法学演習」(6 人), 「児童・生徒指導特論」(17 人), 「特別課題研究」(2 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

生越達「リストカットに隠された「同調」への抵抗ー「存在の不安」の分析をとおしてー」, 学ぶと教えるの現象学研究14, 45-54, 2011.

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

茨城県教育庁 教育判定会議委員(2011 年度)
大洗町教育委員会評価委員会委員(2011 年度)
[出前授業]水海道第一高等学校(2007 年 11 月～)
[出前授業]中央高等学校(2007 年 10 月～)
[出前授業]牛久栄進高等学校(2007 年 10 月～)
[出前授業]日立第一高等学校(2007 年 10 月～)

[出前授業]福島県立磐城桜ヶ丘高等学校(2007年07月～)
 [非常勤講師]看護協会 教育原理(2007年07月～)
 [出前授業]銚田第一高等学校(2007年07月～)
 [公開講座]実践心理教育相談講座(初級)(2007年05月～)
 [出前授業]茨城県土浦湖北高等学校(2006年11月～)
 [出前授業]茨城県下館第一高等学校(2006年10月～)
 [出前授業]茨城県土浦第二高等学校(2006年08月～)
 [出前授業]福島県立磐城桜ヶ丘高等学校(2006年07月～)
 [出前授業]茨城県総和高等学校(2006年07月～)
 [公開講座]実践心理教育相談講座(2006年05月～)
 [兼業]NPO 法人すだち理事(2006年04月～)
 [公開講座]実践心理教育相談講座(2005年09月～)
 [その他]水戸市立第五中学校学校評議員(2004年04月～)
 [その他]茨城県カウンセリングアドバイザー(2002年04月～)
 [兼業]茨城県スクールカウンセラー(1996年04月～)
 [NPO 法人すだち](年度不詳), [茨城県カウンセリングアドバイザー](年度不詳), [茨城県青少年アドバイザー](年度不詳), [いわき市](年度不詳), [東海村](年度不詳), [大子町](年度不詳)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 尾崎 久記
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1949 年 8 月
学歴・職歴	東京教育大学大学院教育学研究科修士課程中退(1975 年 05 月) 茨城大学教授教育学部(1994 年 10 月～) 茨城大学講師教育学部(1977 年 10 月～1985 年 06 月) 東京教育大学助手教育学部(1975 年 06 月～1977 年 09 月) 茨城大学助教授教育学部(1985 年 07 月～1994 年 09 月)
学位	博士(医学)[名古屋大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本臨床神経生理学会(旧日本脳波筋電図学会), 日本特殊教育学会, 日本生理心理学会, 日本生理学会, 日本心理学会, 日本生体医工学会, 日本脳電磁図トポグラフィー研究会, 日本小児神経学会, 日本障害科学会
専門分野	特別支援教育 神経科学一般 実験系心理学
教育研究概要	<p>人間の発達と障害に関する認知神経科学</p> <p>教育活動としては、教育学部学校教員養成課程養護学校教育コースならびに特殊教育特別専攻科知的障害教育専攻にかかわる生理学分野専任教員として、「障害児生理学概論」、「障害児の病理」、「障害児生理心理学」、「障害児生理学研究法」を担当している。また、教育学研究科障害児教育専攻における「障害児生理学特論」、「障害児生理学演習」を担当するとともに、理工学研究科博士課程情報・システム科学専攻の「認知行動科学システム論」も担当し、これらのコース・専攻学生・院生の論文指導にあっている。</p> <p>研究活動としては、脳波、事象関連電位、眼球運動、NIRS、心拍などを用いて感覚・運動・高次脳機能とその障害に関する認知神経科学的研究を展開している。研究の展開にあたっては、関連学部学生、特別専攻科生、院生との連携はもとより、日本学術振興会特別研究員、本学留学生センター教員、筑波大学教員、特殊教育諸学校教員などとも共同を組んで、以下のような研究を進めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 触覚: 事象関連電位や脳血流計測により、視覚障害者や超重症児における触覚情報の中核処理過程解明。 2. 視覚・視機能: 知的障害児・者や注意欠陥/多動性障害児・者が視覚情報をどのように取り込み、処理しているのかを事象関連電位、眼球運動、オートレフラクトメーターなどを用いて検討。 3. 聴覚: 知的障害児・者、読字障害児、日本語を母国語としない外国人などにおける聴覚刺激や音声言語音の知覚を、事象関連電位の一種であるミスマッチネガティビティを用いて検討。

	<p>4. 運動:知的障害児・者を対象として、運動負荷にともなう心拍の推移から心肺機能を、また、事象関連電位や脳血流から脳における運動制御を検討。</p> <p>5. 言語:ダウン症候群やウィリアムズ症候群における発語について、発語関連電位や脳血流計測により検討。</p>
	(キーワード) 発達障害 小児 認知機能 感覚機能 運動機能 脳波 事象関連電位 近赤外線スペクトロスコピィ
担当科目	<p>【教養教育】「生活・福祉系科目」(112 人)</p> <p>【学部専門】「特別支援教育研究法」(22 人), 「知的障害児の病理/障害児の病理」(58 人), 「障害児生理学演習 I」(3 人), 「卒業研究」(3 人)</p> <p>【大学院】「障害児心理学演習 II」(11 人), 「障害児生理学特論 II(障害児生理学)」(9 人), 「障害児生理学演習 II」(5 人), 「特別課題研究」(1 人)</p> <p>【専攻科】「知的障害児の病理」(19 人), 「障害児生理演習 I」(1 人), 「障害学総合研究」(6 人), 「障害児生理学特別研究 I」(1 人), 「知的障害児の病理」(19 人), 「障害児生理演習 I」(1 人), 「障害学総合研究」(6 人), 「障害児生理学特別研究 I」(1 人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

<p>高村秀彰、尾崎久記, 「fMRI による音楽呈示効果の検討」(第 29 回日本生理心理学会大会・2011 年 05 月)</p> <p>勝二博亮、尾崎久記, 「表面筋電図からみた他者表情への同調的反応」(第 29 回日本生理心理学会大会・2011 年 05 月)</p> <p>水谷勉、尾崎久記、篠田晴男、勝二博亮, 「脳血流からみた Go/Nogo 課題遂行時の運動制御の発達」(第 29 回日本生理心理学会大会・2011 年 05 月)</p> <p>友田美波、尾崎久記、勝二博亮, 「脳血流からみた日本語単文の統語処理と意味処理」(第 29 回日本生理心理学会大会・2011 年 05 月)</p> <p>平山太一、勝二博亮、尾崎久記, 「事象関連電位からみた視聴覚統合」(第 29 回日本生理心理学会大会・2011 年 05 月)</p> <p><招待講演> 第 49 回日本特殊教育学会(学会企画シンポジウム 「日本特殊教育学会の国際化の課題 -国際比較研究と研究の国際化-)」(2011 年 09 月)</p>
--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

<p>日本特殊教育学会 長期計画検討委員長(2009 年 12 月～2012 年 11 月)</p> <p>日本障害科学会 理事(2006 年 07 月～)</p> <p>日本脳電磁図トポグラフィー研究会 理事(2000 年 06 月～)</p> <p>日本生理学会 評議員(1977 年 03 月～)</p>

「注意欠陥・多動性障害の生理心理学」(共同研究): (不明年～)

「発達障害児の注意・認知機能の診断、評価とその指導に関する実験的、実践的研究」(共同研究): (不明年～)

「多角的認知活動計測解析システムの開発」(共同研究): (不明年～)

[兼業]特定非営利活動法人日本ブレインヘルス協会〔理事〕(2005 年 12 月～)

[兼業]公益信託 中西和佐子記念視覚・聴覚障害者教育支援基金〔運営委員〕(2009 年 09 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「「神経教育学」への展開を目指した技術系教科と脳科学の融合(Fusion of technologocal subjects and brain science to develop "Neuro-Education")」[科研費]萌芽研究(代表)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 大島 規江
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1973 年 4 月
学歴・職歴	筑波大学地球科学研究科 博士課程博士後期課程修了(2002 年 03 月)
学位	博士(理学)(筑波大学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	地誌学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「EU市民の暮らし」,共著(加賀美雅弘編『EU地誌』),朝倉書店,pp.107-118., 2011.

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など****海外出張・海外研修・内地研修など****科学研究費補助金などの受領**

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 大辻 永
------------------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1966 年 7 月
学歴・職歴	千葉大学教育学研究科修士課程(1992 年) 国立大学法人茨城大学准教授(教育学部)(2007 年 04 月～) 茨城大学助教授(教育学部)(1997 年 10 月～2004 年 03 月) 千葉県立千葉高等学校(非常勤講師)(1991 年 04 月～1994 年 03 月) 茨城大学講師(教育学部 専任)(1995 年 04 月～1997 年 09 月) 国立大学法人茨城大学助教授(教育学部 改組による)(2004 年 04 月～2007 年 03 月)
学位	修士(教育学)[千葉大学]
受賞歴	(East-Asian Association for Science Education)(2011 年 10 月 28 日), 日本教育工学会研究奨励賞(1995 年), 日本科学教育学会 科学教育研究奨励賞(1994 年)
所属学会	日本環境教育学会, 日本科学技術社会論学会, ASERA (Australian Science Education Research Association), 日本高等教育学会, National Association of Geoscience Teachers, 日本教育工学会, 日本理科教育学会, 日本認知科学会, 日本科学教育学会, 東亜科学教育学会
専門分野	科学教育
教育研究概要	科学教育の周辺。 (キーワード) 科学教育の文化研究
担当科目	【学部専門】「初等理科教育法研究」(146 人), 「初等理科教育法研究」(90 人), 「理科教育法特講A」(21 人), 「中等理科内容研究」(24 人), 「理科教育演習 I」(13 人), 「理科教育演習A」(4 人), 「卒業研究」(4 人) 【大学院】「自然科学総合研究」(4 人), 「理科授業設計」(3 人), 「理科教育学特論 I(初等理科教育論)」(2 人), 「理科教育学演習 I」(1 人), 「理科教育学演習 II」(1 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

荒川智, 田中健次, 村野井均, 村山朝子, 渡部玲二郎, 大辻永, 郡司晴元, 西川陽子「茨城大学教育学部附属学校園におけるサステイナビリティ教育の実態調査と ESD カレンダーの試作」, 茨城大学教育学部紀要. 人文・社会科学・芸術, , 61, 41-54, 2012.

「自然災害と理科授業『新しい学びを拓く』第9章第6節」, ミネルヴァ書房, 2011.

大辻永「生きてはたらく問題解決能力育成のために: 津波防災教育の教材研究」, 藤岡達也(編著)『持続可能な社会をつくる防災教育』, 協同出版, 76-90, 2011.

Otsuji H. & Gunji H., "Pedagogies in Sustainability Education in "Sustainability Science" Vol.1", United Nations University Press, 374-384, 2011.

研究業績(2)学会発表など

Yuta TASAKI, Hisashi OTSUJI, "Approaching Cultural Background in Science Instruction: An Example of Japan Influenced by Mahayana Buddhism (O4-F1, 169-170)" (EASE Interntional Conference 2011 (25-29 Oct), 2011 年 10 月)

田崎裕太・大辻永, 「科学教育実践に見られる民俗学的特徴－日本の科学教育に与える日本化された仏教思想の影響－(3G1-H2 385)」(日本科学教育学会第 35 回年会, 2011 年 08 月)

〈企画・運営〉 質的研究・混合研究法研究会(企画・運営)(2012 年 03 月)

〈招待講演〉 第 1 回サイバーフォレストシンポジウム「インターネット森林観察サイトの運用と教育利用」(「理科教育と自然観察」)(2012 年 02 月)

〈招待講演〉 平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科「国際化に関するシンポジウム」:大学院海外授業の成果報告と学術的検討(大学院授業「サステナビリティ教育演習 III」(カナダ演習)の経緯とねらい)(2012 年 02 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動**社会的活動、地域貢献など**

EASE(東アジア科学教育学会) Newsletter editor・Newsletter editor(2007 年 10 月～)

「子どもの科学技術・理科に対する関心を高める家庭環境の実現のための保護者に対する科学教室等の取組のあり方についての調査研究」(共同研究):(2003 年～)

大辻永, 2010, 見えないところにそれはある, 茨城大学教育学部同窓会会報 43, 6-7, H22.12.27[茨城大学教育学部同窓会会報 執筆](2010 年 12 月～), 茨城高等学校・中学校 第 7 回 PTA 研修会 講演「地球温暖化」茨城大学人文学部 10 番教室 約 130 名[茨城高等学校・中学校](2009 年 11 月～), 日食観察会 1-6 年生 142 名[水戸市立見川小学校](2009 年 07 月～), わくわくタイム(総合的な学習)講師 2008 から[水戸市立緑岡小学校](2009 年 05 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

オーストラリア パース・カーティン大学[共同研究](2011 年 7 月～8 月:18 日間)

韓国 光州・朝鮮大学[国際学会出席](2011 年 10 月:4 日間)

オーストラリア パース・カーティン大学[共同研究](2011 年 8 月～10 月:49 日間)

オーストラリア パース・カーティン大学[共同研究](2011 年 11 月～12 月:56 日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 小野寺 淳
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1955 年 8 月
学歴・職歴	筑波大学歴史・人類学研究科博士課程(1985 年)
学位	文学博士
受賞歴	なし
所属学会	交通史研究会, 日本国際地図学会, 東京地学協会, 日本地理学会, 人文地理学会, 歴史地理学会, 日本地理教育学会, 茨城地理学会
専門分野	人文地理学
教育研究概要	主たる研究は、江戸時代の古地図(主に河川絵図・国絵図)、江戸時代の旅(お伊勢参り)、茨城県内における近世・近代の都市・農村の景観変化(石岡市史・協和町史・八千代町史・猿島町史・境町史などを分担執筆)の研究を行っている。授業は人文地理学の概論と専門、地域へのアプローチや地理学野外実習(フィールドワークの初歩)、茨城の歴史と文化(茨城県通史)、茨城の風土と生活(茨城県地誌)などを担当している。 (キーワード)江戸時代の古地図研究, 伊勢参り, 古道, 城下町
担当科目	【教養教育】「社会と人間」(49 人), 「主題別ゼミナール」(23 人) 【学部専門】「茨城の歴史と文化」(72 人), 「人文地理学演習」(10 人), 「地理学野外実習 I」(24 人), 「卒業研究」(3 人) 【大学院】「社会・文化総合研究」(8 人), 「人文地理学特論」(2 人), 「人文地理学演習」(2 人), 「地誌学特論」(3 人), 「特別課題研究」(1 人), 「学術情報リテラシー」(24 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

杉本史子・磯永和貴・小野寺淳・ロナルド トビ・中野等・平井松午編『『絵図学入門』(共編著)』, 東京大学出版会, 260, 2011.

研究業績(2) 学会発表など

〈基調講演〉茨城県文化財愛護推進セミナー「茨城県歴史の道調査事業の意義と目的-調査経過をもとに-」(講演)(2012 年 01 月)

〈基調講演〉ひたちなか市民大学講座「江戸時代の改革と常陸国-常陸国における改革とその地域への影響-」(企画ならびに全 10 回の講座のうち 7 回を担当)(2011 年 06 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

人文地理学会 協議員(2007 年～)

茨城地理学会 常任委員長(2006年～)
 日本国際地図学会 評議員(2005年04月～)
 日本地理学会・代議員(2010年05月～)
 人文地理学会 人文地理学会・協議員(2007年11月～)
 国絵図研究会・代表(2007年08月～)
 茨城地理学会・常任委員長(2006年08月～)
 歴史地理学会 歴史地理学会・常任委員(2005年04月～)
 交通史学会・常任委員(2001年05月～)

大洗キャンプ場等施設配置基本計画策定委員(2011年度)
 文部科学省教科用図書検定調査審議会臨時委員(2011年度)

海外出張・海外研修・内地研修など

オランダ ライデン・ライデン大学[原本調査、撮影](2011年11月:8日間)

科学研究費補助金などの受領

「ライデン大学所蔵シーボルト収集古地図の研究-江戸時代の地図による日蘭学术交流-」[科研費](代表)
 (2011年06月01日～2014年03月31日)
 「近世実測図を活用した古地図 GIS 解析法の構築」[科研費](分担)(2009年06月01日～2013年03月31日)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 小野 義隆
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1949 年 10 月
学歴・職歴	パデュウ大学大学院農学研究科博士課程修了(1978 年) 茨城大学教授(教育学部)(1999 年 10 月～) 東京都立豊島高等学校(定時制)教諭(1974 年 04 月～1975 年 12 月) 茨城大学助手(教育学部)(1980 年 04 月～) 茨城大学講師(教育学部)(1985 年 04 月～) 茨城大学助教授(教育学部)(1986 年 04 月～) 茨城大学教授(教育学部、大学院理工学研究科後期課程兼務)(2000 年 04 月～)
学位	農学博士[パデュウ大学大学院]
受賞歴	日本菌学会菌学研究奨励賞(1991 年), 秩父宮記念学術賞(ヒマラヤとその周辺地域の隠花植物調査隊、共同受賞)(1993 年), 日本菌学会賞(2006 年)
所属学会	日本菌学会, アメリカ菌学会, イギリス菌学会, 日本植物病理学会, 日本生物教育学会, 日本進化学会
専門分野	系統・分類 植物保護
教育研究概要	植物サビ病菌の分類学的・生態学的研究 教育:基礎生物学、生物学実験、生物学野外実習、植物学、植物分類学、系統分類学特論(大学院修士課程)、真菌系統分類学(大学院博士後期課程) 研究:植物寄生菌(特にさび病菌)の生態学および系統分類学的研究 (キーワード)植物寄生菌、サビキン、同定、分類、宿主特異性、生活環、多様性、サビキン相、地理的分布、分子系統
担当科目	【教養教育】「物質・生命系科目」(82 人) 【学部専門】「初等理科内容研究」(32 人), 「基礎生物学」(32 人), 「植物分類学」(16 人), 「植物学演習」(4 人), 「生物学演習」(2 人), 「生物学実験」(21 人), 「生物学野外実習」(23 人), 「卒業研究」(2 人) 【大学院】「自然科学総合研究」(4 人), 「理科授業設計」(3 人), 「生物学特論」(1 人), 「生物学特別実験」(1 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Azbekina ZM, Ono Y, Kakishima M, Kaneko S., "A new for Russia larch brown rust *Triphragmium laricinum* (Uredinales)", Mikologiya i Fitopatlogiya, 45, 3-11, 2011.

研究業績(2)学会発表など

〈招待講演〉 農林水産省横浜植物防疫所第8回ゼミナール(招待講演者「植物さび病菌の見分けかたと植物防疫上注意を要するサビキンの種類」)(2011年11月)

〈招待講演〉 Plant Pathology Seminar, College of Life Sciences, Liaoning Normal University (Invited speaker, "Rust species recognition by host specificity and life cycle studies")(2011年10月)

〈招待講演〉 Plant Pathology Seminar, College of Environment and Resources, Dalian Nationalities University (Invited speaker, "Taxonomy and phylogeny of rust fungi")(2011年10月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本菌学会 理事(2010年04月～2012年03月)

日本菌学会 編集委員長(2010年04月～2012年03月)

日本菌学会 日本菌学会編集委員会(事務局)・編集委員長, 事務局長(2011年04月～2013年03月)

国際自然保護連合 国際自然保護連合 種保存委員会 サビキン・クロボキン専門委員会・(2009年11月～)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]茨城県北の植物, 茨城大学 茨城県北ジオパーク インタープリター講座(2011年度実施)

[その他]生活と微生物, 茨城大学(オープンキャンパス公開授業)(2011年度実施)

[出前授業]生活の中の微生物, 水戸第二高等学校(2011年度実施)

[その他]植物さび病菌の見分けかたと植物防疫上注意を要するサビキンの種類(2011年度実施)

[その他]Rust species recognition by host specificity and life cycle studies.(2011年度実施)

[その他]Taxonomy and phylogeny of rust fungi(2011年度実施)

茨城県教育庁義務教育課 助言者(2011年09月)

茨城県教育庁義務教育課 指導・助言者(2011年07月)

[その他]茨城県教育庁義務教育課[助言者](2011年09月～)

[その他]茨城県教育庁義務教育課[指導・助言者](2011年07月～)

[出前授業]茨城県立水戸第二高等学校[講師](2010年11月～)

[出前授業]茨城県立水戸第二高等学校[講師](2009年12月～)

[出前授業]茨城県立土浦湖北高校[講師](2008年10月～)

[兼業]株式会社茨城放送[番組審議委員](2008年09月～2012年08月)

[出前授業]茨城県立銚田第一高校[講師](2008年07月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

中国 大連・大連民族大学[講演、ワークショップ](2011年10月:11日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 大内 善一
------------------	----------

教員履歴など

現 職	名誉教授
生年月	1947 年 2 月
学歴・職歴	<p>東京学芸大学教育学研究科修士課程修了(1984 年)</p> <p>茨城大学教育学部附属特別支援学校校長に併任(2007 年 04 月～)</p> <p>茨城大学教育学部附属養護学校校長に併任(2006 年 04 月～)</p> <p>茨城大学教授(教育学部)(2000 年 04 月～)</p> <p>茨城県日立市立大久保中学校教諭(1973 年 04 月～1976 年 03 月)</p> <p>茨城大学教育学部附属中学校教諭(1976 年 04 月～1986 年 03 月)</p> <p>秋田大学講師(教育学部)(1986 年 04 月～1987 年 03 月)</p> <p>秋田大学助教授(教育学部)(1987 年 04 月～1991 年 03 月)</p> <p>秋田大学教授(教育学部)(1991 年 04 月～1998 年 03 月)</p> <p>秋田大学大学院教育学研究科(修士課程担当)(1992 年 04 月～2000 年 03 月)</p> <p>秋田大学教授(教育文化学部)(1998 年 04 月～2000 年 03 月)</p> <p>秋田大学教授(教育文化学部)に配置換え 秋田大学教授(教育学部)に併任(1998 年 04 月～2000 年 03 月)</p>
学位	博士(教育学)[東京学芸大学]
受賞歴	読書科学研究奨励賞(日本読書学会)(1989 年), ディベート教育功労賞(全国教室ディベート連盟)(2003 年)
所属学会	全国大学国語教育学会, 日本国語教育学会, 日本言語技術教育学会, 日本教育技術学会, 表現学会, 全国教室ディベート連盟, 日本読書学会, 教育実践学会, 茨城国語教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	<p>国語科教育学</p> <p>国語科教育学専攻(特に、綴り方・作文教育史、作文教育実践論、表現教育論、国語科教材分析論、国語科授業構想論、国語科授業展開論、教師教育論)</p> <p>(キーワード)綴り方・作文教育史研究、作文教材の方法論、国語教師・青木幹勇の形成過程、昭和戦前期の綴り方教育における「形式」「内容」一元論の展開に関する研究</p>
担当科目	<p>【学部専門】「初等国語科教育法研究」(66 人), 「初等国語科教育法研究」(44 人), 「国語科教育法研究」(47 人), 「国語科教育法特講 I」(45 人), 「初等国語科内容研究」(36 人), 「卒業研究」(3 人)</p> <p>【大学院】「言語文化総合研究」(11 人), 「国語教育授業設計」(7 人), 「国語科教育学特論 I」(7 人), 「特別課題研究」(2 人)</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

茨城国語教育学会 会長(2009年04月～)

全国大学国語教育学会 常任理事(2000年04月～)

日本国語教育学会 理事(1994年08月～)

全国大学国語教育学会 全国理事(1993年04月～)

日本言語技術教育学会 理事(1992年01月～)

日本国語教育学会 日本国語教育学会理事会・理事(1994年04月～)

全国大学国語教育学会 全国大学国語教育学会理事会・全国理事(1993年04月～)

[その他]茨城国語教育談話会「国語教育 IN 水戸」(2011年度実施)

[その他]第21回日本国語教育学会茨城支部研究会(2011年度実施)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

情報文化課程		氏名 甲斐 教行
教員履歴など		
現 職	教 授	
生年月	1960 年 12 月	
学歴・職歴	<p>東京芸術大学大学院美術研究科博士課程単位取得満期退学(1997 年)</p> <p>茨城大学教育学部教授(2011 年 04 月～)</p> <p>放送大学教養学部非常勤講師(2010 年 10 月～2011 年 03 月)</p> <p>千葉大学非常勤講師(1999 年 10 月～2002 年 03 月)</p> <p>順天堂大学スポーツ健康科学部非常勤講師(1997 年 10 月～1998 年 03 月)</p> <p>都留文科大学文学部非常勤講師(1997 年 04 月～1999 年 03 月)</p> <p>東京芸術大学美術学部非常勤講師(1997 年 04 月～2000 年 03 月)</p> <p>大妻女子大学非常勤講師(1997 年 04 月～2000 年 03 月)</p> <p>青山学院大学文学部非常勤講師(1998 年 04 月～2000 年 03 月)</p> <p>茨城大学教育学部助教授(2007 年 4 月より職名変更—准教授)(2000 年 04 月～2011 年 03 月)</p> <p>青山学院大学文学部非常勤講師(2001 年 04 月～2009 年 03 月)</p> <p>実践女子大学文学部非常勤講師(2007 年 04 月～2008 年 03 月)</p>	
学位	博士(文学)[千葉大学]	
受賞歴	なし	
所属学会	中世哲学会, 地中海学会, 大学美術教育学会, 美学会, 美術史学会	
専門分野	美学・美術史	
教育研究概要	<p>近世イタリアの宗教画研究／ファシズム期具象彫刻研究</p> <p>イタリア美術史、とくに画像解釈学的研究を主要研究領域とする。これまで 16 世紀後半に活躍した画家フェデリコ・バルッチ、サンティ・ディ・ティート、19 世紀後半に活躍した画家アレッサンドロ・フランキの作品研究を行ってきた。現在、20 世紀前半に活躍したフィレンツェの彫刻家コッラード・ヴィーニの作品研究に取り組んでいる。</p> <p>(キーワード)イタリア、ルネサンス、画像解釈学、バルッチ、サンティ・ディ・ティート、対抗宗教改革、アレッサンドロ・フランキ、プリズモ、コッラード・ヴィーニ、ファシズム、</p>	
担当科目	<p>【教養教育】「人間と文学・芸術」(41 人), 「主題別ゼミナール」(17 人)</p> <p>【学部専門】「保育内容の研究(表現)」(35 人), 「図画工作科内容研究」(46 人), 「西洋美術史 I」(62 人), 「西洋美術史 II」(60 人), 「西洋美術史特別演習 I」(5 人), 「西洋美術史特別演習 II」(4 人), 「日本美術実地研究」(10 人), 「造形美学/造形理論」(45 人), 「メディア批評プロジェクト I」(20 人), 「メディア批評プロジェクト II」(19 人), 「表象文化論」(47 人), 「古美術実地研究」(7 人)</p>	

	【大学院】「美術文化総合研究」(7 人), 「美術教育授業設計」(7 人), 「西洋美術史研究」(4 人)
--	---

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Noriyuki Kai, "Corrado Vigni e l'intelligenza umana", *Artista -Critica dell'arte in Toscana*, , 22, 2010, 142-149, 2011.

甲斐教行「カルロ・デル・ブラーヴォ「ユリウス二世墓廟をめぐる対話」翻訳と解題」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), , 18, 101-135, 2011.

研究業績(2)学会発表など

〈基調講演〉川村記念美術館友の会(コレッジ)の「ユピテルの愛」連作(2011 年 07 月)

〈基調講演〉川村記念美術館友の会(知られざる巨匠たち-16 世紀のマニエリスト)(2011 年 04 月)

〈基調講演〉川村記念美術館友の会(鏡のイコノロジー2)(2011 年 04 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

第 56 回茨城県教育研究連盟研究集会:助言者[茨城県教育研究連盟](2011 年 10 月~2012 年 01 月), 監事[水戸市芸術文化活性化事業実行委員会](2011 年 04 月~), 東京藝術大学美術学部西洋美術史研究室 紀要編集委員[東京藝術大学美術学部西洋美術史研究室](2011 年 04 月~), 海外旅行アドバイザー[茨城県近代美術館友の会](2010 年 04 月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

イタリア フィレンツェ・フィレンツェ美術史研究所[資料収集](2011 年 7 月~9 月:64 日間)

イタリア ヴェネツィア、フィレンツェ・ヴェネツィアビエンナーレ、フィレンツェ美術史研究所[資料収集](2011 年 11 月~12 月:18 日間)

イタリア フィレンツェ・美術史研究所[資料収集、作品調査](2012 年 3 月~4 月:22 日間)

科学研究費補助金などの受領

「コッラード・ヴィーニの公共彫刻の政治史的・文化史的解説」[科研費](代表)(2011 年 04 月 01 日~2014 年 03 月 31 日)

人間環境教育課程	氏名 賀来 健輔
----------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1964 年 7 月
学歴・職歴	日本大学法学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1995 年 03 月) 茨城大学教育学部准教授(現在)(2000 年 04 月～) 岩手大学人文社会科学部講師、助教授(1995 年 04 月～2000 年 03 月)
学位	政治学修士[日本大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本政治学会, 日本行政学会, 日本地方自治学会, 日本地方自治研究学会, 日本オンブズマン学会, 日本地域政策学会
専門分野	行政学
教育研究概要	政治学、行政学、地方自治論、環境問題に関する社会科学的アプローチ等 (キーワード)住民参加、政治参加、自治体広報
担当科目	【教養教育】「社会・国際系科目」(54 人) 【学部専門】「政治学概論/現代社会の構図」(32 人), 「現代社会と行政」(20 人), 「現代の地方自治」(12 人), 「環境科学総論」(10 人), 「環境と社会」(13 人), 「公害・環境問題史」(21 人) 【大学院】「社会・文化総合研究」(8 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

文教大学情報学部 (2011 年 09 月)
[非常勤講師] 文教大学情報学部(2011 年 09 月～)
[非常勤講師] 日本大学法学部[非常勤講師](2005 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 数井 みゆき
------------------	-----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1961 年 4 月
学歴・職歴	<p>メーランド大学院博士課程修了(1991 年)</p> <p>茨城大学教育学部家政教育教室 教授(2006 年 04 月～)</p> <p>茨城大学 教育学部 家政教育講座 助教授(1996 年 04 月～2005 年)</p> <p>成蹊大学、東京女子大学等 非常勤講師(1992 年 04 月～1994 年 03 月)</p> <p>日本学術振興会 特別研究員(お茶の水女子大学)(1994 年 04 月～1996 年 03 月)</p>
学位	心理学博士 (Ph.D. in Psychology)[メーランド大学(アメリカ合衆国)]
受賞歴	日本発達心理学会論文賞(1998 年)
所属学会	日本発達心理学会, 児童発達研究学会(society of Research in child Development), 日本教育心理学会, アメリカ心理学会(American Psychological Association), 日本心理臨床学会, 日本保育学会, 日本心理学会
専門分野	発達心理学
教育研究概要	<p>本学では、家政教育教室で保育学を担当している。子どもの発達や子どもの現状、家族関係などについて、保育園などでの実習も含めて、教えている。</p> <p>専門は領域としては発達心理学で、研究として乳幼児のアタッチメントの発達、さらに、アタッチメントの生涯発達として、養育者側についても分析している。現在は、アタッチメントの世代間関連について、男性(父親)の実態の調査を始めている。</p> <p>(キーワード)アタッチメント(の世代間連鎖)、養育</p>
担当科目	<p>【教養教育】「コミュニケーション論」(267 人)</p> <p>【学部専門】「中等家庭科内容研究」(19 人), 「学校における子ども虐待の予防と防止/情報文化特講/学校における子ども虐待の予防と防止」(179 人), 「初等家庭科内容研究」(124 人), 「保育学」(26 人), 「親子関係学」(17 人), 「保育学演習」(5 人), 「卒業研究」(3 人)</p> <p>【大学院】「生活科学総合研究」(3 人), 「家庭科授業設計」(2 人), 「児童学特論」(13 人), 「児童学演習」(9 人)</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「学校(と地域)における虐待予防と介入」, 教育心理学会年報, 50, 208-217, 2011.

数井みゆき, 北川恵, 工藤晋平, 青木豊(共訳) ダビッド・オッペンハイム&ドグラス・F・ゴールドスミス(編)(訳)「アタッチメントを応用した養育者と子どもの臨床」, ミネルヴァ書房, 2011.

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 片口 直樹
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1978 年 1 月
学歴・職歴	金沢美術工芸大学美術工芸研究科修士課程(2002 年) 茨城大学教育学部 准教授(現在に至る)(2009 年 04 月～) 学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊女子高等学校 常勤講師(2003 年 04 月～2006 年 03 月) 学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊女子高等学校 教諭(2006 年 04 月～2009 年 03 月) 学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊短期大学 非常勤講師(2006 年 04 月～2009 年 03 月)
学位	修士(芸術/金沢美術工芸大学)
受賞歴	第 22 回天展 天理ビエンナーレ 2005 大賞(2005 年), 第 20 回国際瀧富士美術賞(1999 年)
所属学会	大学美術教育学会
専門分野	絵画・油画・インスタレーション・ワークショップ
教育研究概要	絵画に根ざした表現を研究課題とし、今後生まれてくる新たな表現方法を模索する。おもに映像メディア等、近年生活に馴染みのある媒体と絵画表現との関係に着目し、より時代を豊かなものにするために、豊かな心を養う術を研究する。 また、これからの教育者はより一層豊かな心を持ち、時代に順応できる人材が必要となる。表現者も教育者も伝えるという意味においては共通するものがあり、元をたどれば学ぶ喜び、作る喜びをいかに伝えることができるかが課題である。 以上のような研究概要をもとに絵画の可能性を探る。 (キーワード) 絵画・油画・インスタレーション・ワークショップ
担当科目	【教養教育】「人間と文学・芸術」(108 人), 「主題別ゼミナール」(17 人) 【学部専門】「総合演習」(23 人), 「デッサンの基礎/表現の基礎」(29 人), 「デッサン II/造形実技 II」(16 人), 「美術教育授業研究 I」(12 人), 「美術教育授業研究 II」(14 人), 「絵画基礎/平面表現演習 I」(27 人), 「絵画 I/平面表現演習 II」(37 人), 「絵画 II/平面表現演習 III」(29 人), 「絵画表現演習 I」(6 人), 「絵画表現演習 II」(6 人), 「彩画特別演習」(21 人), 「日本美術実地研究」(10 人), 「古美術実地研究」(7 人), 「卒業研究」(7 人) 【大学院】「美術文化総合研究」(7 人), 「美術教育授業設計」(7 人), 「絵画研究」(4 人), 「絵画演習」(4 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

< 芸術活動・建築作品等 > 黒ノ美学」／雅景錐／京都(2012 年)

< 芸術活動・建築作品等 > アートフェア「ART OSAKA 2012」／ホテルグランヴィア大阪／大阪(2012 年)
--

< > 「茨城大学教員作品展」／Gallery ESPACE／茨城(2011 年)

< > ワークショップ「ひろげよう、リリーのわ!!」／学校法人リリー文化学園 リリー幼稚園／茨城(2011 年)
--

< 芸術活動・建築作品等 > 「Soil2」／INFORM gallery／石川(2011 年)
--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

人間環境教育課程

氏名 勝本 真

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 9 月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程修了(1984 年) 茨城大学教授教育学部(2006 年 04 月～) サントリー株式会社嘱託(1982 年 04 月～1984 年 03 月) 活水女子短期大学特別講師(1984 年 04 月～1985 年 03 月) 活水女子短期大学専任講師(1985 年 04 月～1990 年 03 月) 活水女子短期大学助教授(1990 年 04 月～1991 年 03 月) 茨城大学助教授教育学部(1991 年 04 月～2006 年 03 月)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会, 日本スポーツ方法学会, 日本バレーボール学会, 日本教育工学会, 日本バイオメカニクス学会
専門分野	身体教育学 教育工学 バイオメカニクス
教育研究概要	<p>レーボールの指導法に関する研究</p> <p>研究は, 1)バレーボールの技術指導に関する研究, 2)バレーボールのゲーム分析に関する研究, 3)小中学校におけるバレーボール教材としての教科教育的研究の三つに大別することができる。</p> <p>1)は, 画像分析を用いてオーバーハンドパスやスパイク動作の分析し, バレーボールの基本技術を解明してきた。その情報をもとにして斬新な連続的イラストを用いた指導書を作成している。指導書は, 様々なレベルに合わせて作成しており、中学校授業向けの本では技術レベルに合わせた練習課題を紹介している。</p> <p>2)は, DLT法画像分析によりフォーメーションの分析を行い, 競技レベルによる違いを明らかにした。チームの得点力を構成する要因を解明し, ゲーム分析項目の決定に貴重な資料を提供し, その要因をもとにして BASIC 言語を用いてゲーム分析ソフトを開発している。</p> <p>3)は, 中学校バレーボール技術指導のための学校体育実技指導者講習会の講師を務め, その経験をもとに, 中学校のバレーボールにワンバウンドでの 3 人制ルールを導入した授業研究や 3 人制から正規ルールへの移行をスムーズに行うための教材研究を行っている。近年, 小学校にソフトバレーボールが導入され, バレーボール教材の再検討が求められており, 中学年の「基本の運動」にバレーボールの動きを入れた教材を開発して実践している。</p> <p>(キーワード)バレーボール 体育科教育 コーチング</p>

担当科目	<p>【教養教育】「身体活動」(44 人), 「身体活動」(44 人), 「身体活動」(44 人), 「主題別ゼミナール」(17 人)</p> <p>【学部専門】「バレーボール指導法/バレーボール/バレーボール/バレーボール指導法/バレーボール」(52 人), 「運動学概論」(42 人), 「コーチング論 II」(53 人), 「ボールゲーム方法論 II」(37 人), 「スポーツ実習 II」(14 人), 「卒業研究」(3 人)</p> <p>【大学院】「体育科学総合研究」(6 人), 「保健体育授業設計」(6 人), 「スポーツ指導論特講」(6 人), 「スポーツ指導論演習」(6 人), 「特別課題研究」(1 人)</p>
------	---

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

知的障害児の肥満と身体活動に関する予備調査(共著)、茨城大学教育学部紀要第 61 号, pp421-427

研究業績(2) 学会発表など

〈その他〉平成 23 年度体育学習アドバイザー派遣授業(学校の体育の授業や校内研修等において、児童への指導及び体育担当教員の研修を行う)(2011 年 08 月)

平成 23 年度学校体育担当教員実技指導者研修会講師(ソフトバレーボール)(2011 年 11 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本バレーボール学会 理事(2009 年 04 月～)

スポーツ方法学会 理事(2009 年 10 月～2011 年 3 月)

茨城県バレーボール協会 理事(2012 年 4 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 加藤 崇英
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1970 年 11 月
学歴・職歴	山形大学教育学部講師(2002 年～2005 年) 山形大学地域教育文化学部助教授(2005 年～2006 年) 国立教育政策研究所 研究員(2006 年～2007 年) 国立教育政策研究所 主任研究官(2007 年～2009 年) 茨城大学教育学部准教授(2009 年～)
学位	修士(教育学)
受賞歴	なし
所属学会	日本教育行政学会, 日本教育経営学会
専門分野	教育学 学校経営 教育行政
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	【学部専門】「教育の制度と経営」(220 人), 「教育の制度と経営」(95 人), 「総合演習」(17 人), 「教育行政特講」(4 人), 「教育行政演習」(1 人), 「卒業研究」(3 人) 【大学院】「学校経営演習」(3 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

「学校評価と学力保障の課題」, 日本教育経営学会紀要, 53, 46-57, 2011.
「討論とまとめ わが国の学校評価システムにおける今後の可能性 : 指導主事機能と第三者評価、それぞれの強化のあり方をめぐって (第 18 回研究大会報告) -- (課題別セッション 学校評価システムの展開過程に関する研究(2)事例を通してみる学校評価が有効に機能するための要因の検討)」, 教育制度学研究, 18, 134-136, 2011.
藤井穂高編著「教頭の仕事術」, 教育開発研究所, 136-139, 2012.
元兼正浩編著「校長の仕事術」, 教育開発研究所, 32-35, 2012.
大脇康弘編著 天笠茂監修「学校をエンパワーメントする評価」, ぎょうせい, 20-38, 2011.

研究業績(2) 学会発表など

〈基調講演, パネリスト〉 開かれた学校づくり委員会 第2回 研修会(千葉県教育委員会主催)(講演者及びパネル司会)(2011 年 12 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

日本教育経営学会 国際交流推進委員(2012 年～)

日本教育経営学会 研究推進委員(2012 年～)

日本教育経営学会 研究推進委員(2009 年～2012 年)

茨城県教育研修センター 新任校長研修講座(学校組織マネジメント)(2011 年 05 月～2011 年 06 月)

[兼業]茨城県教育研修センター[新任校長研修講座(学校組織マネジメント)](2011 年 05 月～2011 年 06 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

人間環境教育課程		氏名 加藤 敏弘
教員履歴など		
現 職	准教授	
生年月	1961 年 6 月	
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程修了(1986 年) 国立大学法人茨城大学助教授教育学部(2004 年 04 月～) 国立高岡短期大学助手(1986 年 04 月～1990 年 03 月) 茨城大学講師教育学部(保健体育講座)(1990 年 04 月～1994 年 03 月) 茨城大学助教授教育学部(保健体育講座)(1994 年 04 月～1996 年 03 月) 茨城大学助教授教育学部(知識経営講座)(1996 年 04 月～2004 年 03 月)	
学位	体育学修士[筑波大学]	
受賞歴	なし	
所属学会	日本体育学会, 日本体育・スポーツ哲学会, 日本スポーツ教育学会, 日本養生学会, 人体科学会	
専門分野	コーチ学(バスケットボール) 技能普及教育論 体育原理	
教育研究概要	<p>ナレッジマネジメントとしてのコーチング ナレッジマネジメント(知識経営)としてのコーチングについて、教育活動を通して研究中。特に個人が身につけている技術(=技能)を他者に伝えるためのノウハウを観察し、その体系化を試みている。そのために、まず人間の活動を正しく理解し、集団(チーム)における役割分担やコミュニケーション手段について実践研究中。技能を普及し伝達するという行為は、スポーツ場面に限らず、社会全般で求められる能力であり、暗黙知(身体知)の観点からアプローチしている。学校という枠組みにとらわれてきた教授法を越え、社会におけるさまざまな場面へのコーチングの可能性について考察しており、チームづくりと組織づくりの有機的連携についても研究中。フィールドとしてバスケットボールコーチング、体育授業を中心に据えているが、地域力の向上やFD(ファカルティ・ディベロップメント)、そしてビジネス場面への応用も試みている。</p> <p>(キーワード)コーチング バスケットボール 知識経営 暗黙知 身体知 ボディ・ワーク チームワーク 技能伝達 コミュニケーション 体育原理</p>	
担当科目	<p>【教養教育】「身体活動」(45 人), 「身体活動」(33 人), 「身体活動」(44 人), 「コミュニケーション論」(44 人), 「身体・行動系科目」(60 人)</p> <p>【学部専門】「技能伝達法」(35 人), 「コミュニケーション演習」(24 人), 「バスケットボール/バスケットボール指導法/バスケットボール」(35 人), 「体育学概論」(38 人), 「コーチング論 II」(53 人), 「ボールゲーム方法論 I」(37 人), 「チームワーク&コーチング論」(17 人), 「総合演習/知識経営特別演習 II」(17 人), 「知識経営特別演習 I」(3 人), 「スポーツ特別</p>	

	演習 I」(27 人),「スポーツ特別演習 II」(29 人),「スポーツ実習 I」(22 人),「卒業研究」(5 人)
--	--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

加藤敏弘(茨城大学),「カンの育成」(平成 23 年度体育哲学専門分科会夏期合宿研究会・2011 年 07 月)

武者小路澄子(筑波大学)、加藤敏弘(茨城大学)、遠藤卓郎(筑波大学),「気功が開くコミュニケーションの多様性とその類型化:体験者達へのグループ・インタビュー調査を通して」(日本養生学会第 12 回大会(ようせいフォーラム 2011)・2011 年 08 月)

平成 23 年度日本バスケットボール協会公認 B 級コーチ養成講習会(企画・運営・講師)(2012 年 02 月)

平成 23 年度運動部活動外部指導者研修会(「ジュニア期におけるコーチングの在り方」講師)(2011 年 11 月)

〈基調講演〉平成 23 年度運動部活動外部指導者研修会(「ジュニア期におけるコーチングの在り方」講師)(2011 年 09 月)

〈基調講演〉平成 23 年度茨城県弘道館アカデミー県民大学(前期講座)(「コミュニケーションが変われば人生が変わる～コーチングを知ろう～」講師)(2011 年 06 月)

〈企画・運営〉平成 23 年度日本体育協会公認コーチ養成講習会(共通科目)(企画・運営・講師)(2011 年 05 月)

〈基調講演〉平成 23 年度子どもの体力向上指導者養成研修(東部地区)(「攻防を展開する運動部会(コース 2)ゴール型のボール操作の動きの質を高めるコース」※東日本大震災の為に中止(バスケットボール指導要項作成))(2011 年 05 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本体育・スポーツ哲学会 監事(2007 年 04 月～)

日本体育学会 日本体育学会論文審査員(2009 年 06 月～)

「「ボディメンテナンス」スタイルの健康づくりシステムの開発」(受託研究):株式会社プロフィットジャパン(2009 年～)

「介護予防施設における準備運動プログラムの開発」(受託研究):医療法人社団 いばらき会(2008 年～)

「介護者負担軽減のための運動プログラムの開発」(受託研究):医療法人社団 いばらき会(2008 年～)

海外出張・海外研修・内地研修など

リトアニア ヴィリニユス、カウナス・マルキユリョーニョス・バスケットボール・アカデミー、サボニス・スクール[子どもたちへの指導現場の取材・調査](2012 年 1 月～2 月:10 日間)

セルビア ベオグラード、ノビサド・レッドスター・クラブ、パルチザン・クラブ、ノビサド体育大学[子どもたちへの指導現場の取材・調査](2012 年 2 月:10 日間)

オーストラリア シドニー、パース、メルボルン・バスケットボール協会、バスケットボール・センター、メルボルンスポーツ&アクアセンター[資料収集・調査](2012年3月:10日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 金子 一夫
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1950 年 12 月
学歴・職歴	東京芸術大学美術研究科修士課程修了(1975 年) 茨城大学大学院教育学研究科教授(1996 年 10 月～) 東京芸術大学美術学部非常勤講師(1976 年 04 月～1978 年 03 月) 茨城大学教育学部講師(1978 年 04 月～1985 年 06 月) 茨城大学教育学部助教授(1985 年 07 月～1987 年 07 月) 茨城大学大学院教育学研究科助教授(1987 年 08 月～1996 年 09 月) 茨城大学教育学部附属中学校長併任(2008 年 04 月～2011 年 03 月)
学位	博士(美術)[東京芸術大学]
受賞歴	なし
所属学会	明治美術学会, 美術科教育学会, 大学美術教育学会, 美術史学会, 美学会, 日本美術教育連合, 日本美術教育学会
専門分野	美術教育学 近代日本美術史
教育研究概要	日本美術教育史研究。美術教育方法論研究—鑑賞教育方法を中心に 日本絵画の研究 古代から近代までほとんどの日本絵画は画面に構図決定格子を設定し、それに則って画面構成をしたことを実証する 様々な研究を発展させるような、近代日本の美術教育に関する基礎調査をする。 (キーワード)美術教育 美術科教育 美術教育史
担当科目	【教養教育】「主題別ゼミナール」(17 人) 【学部専門】「図画工作科教育法研究」(90 人), 「図画工作科教育法研究」(63 人), 「美術科教育法研究」(19 人), 「美術科教科論」(16 人), 「美術教育授業研究 I」(12 人), 「美術教育授業研究 II」(14 人), 「図画工作科内容研究」(41 人), 「日本美術実地研究」(10 人), 「美術科教育特別演習AI」(5 人), 「美術科教育特別演習AII」(5 人), 「古美術実地研究」(7 人) 【大学院】「美術文化総合研究」(7 人), 「美術教育授業設計」(7 人), 「美術教育研究 I」(7 人), 「美術教育演習 I」(6 人), 「特別課題研究」(1 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>(共著)『1934 魯迅に贈った和光小学生の版画』, 和光学園, 2011.</p> <p>(共著)「美術教育における方法論的前提としての言語 : 児童生徒と教師、それぞれの位相での言葉」『茨城大学教育実践研究』第 30 号、51-65 頁。</p> <p>(単著)「大正・昭和戦前期全国中等学校図画教員の総覧的研究(1)―直轄諸学校」『茨城大学教育学部紀</p>

要(教育科学)』第 61 号、2012、43-58 頁.

(単著)「大正・昭和戦前期全国中等学校図画教員の総覧的研究(2)—東京府内教員養成学校及び公立中学」
『茨城大学教育学部紀要(教育科学)』第 61 号、2012、59-76 頁.

研究業績(2) 学会発表など

金子一夫, 「黎明期の姿から見る日本の大学美術教育」(シンポジウム「大学における芸術教育」・2011 年 10 月)

金子一夫, 「近代日本最初の女性図画教員—武村耕靄—」(武村耕靄展・2011 年 09 月)

〈パネリスト〉 明治美術学会(発表者 五浦被害と再建計画)(2011 年 12 月)

〈パネリスト〉 シンポジウム 大学における芸術教育(パネリスト 発表題目:黎明期の姿から見る日本の美術大学)(2011 年 10 月)

〈招待講演〉 武村耕靄展記念講演会(講演題目:近代日本最初の女性図画教員—武村耕靄)(2011 年 09 月)

〈パネリスト〉 第 50 回大学美術教育学会宮城大会シンポジウム 美術教育ゼロから出発(パネリスト)(2011 年 09 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

明治美術学会 理事(2006 年 10 月～)

美術科教育学会 理事(1982 年 03 月～)

明治美術学会 論文査読委員(2006 年 12 月～)

美術科教育学会 代表理事(2010 年 04 月～2012 年 03 月)

日本美術教育学会 理事(2008 年 04 月～)

日本美術教育連合 理事(2008 年 04 月～)

美術科教育学会 美術科教育学会美術教育史研究部会・責任者(2000 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校臨床心理専攻	氏名 金丸 隆太
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1973 年 2 月
学歴・職歴	早稲田大学文学研究科修士課程修了(1999 年) 茨城県スクールカウンセラー(2004 年 04 月～) 茨城大学大学院教育学研究科 専任講師(2003 年 02 月～) 東京都東久留米市教育センター滝山相談室 相談員(1997 年 04 月～2003 年 03 月) 財団法人博慈会高等看護学院 非常勤講師(1998 年 04 月～2003 年 03 月) 学校法人山野学苑山野美容専門学校 非常勤講師(1999 年 04 月～2002 年 03 月) 学校法人日本医科大学千葉看護専門学校 非常勤講師(1999 年 04 月～2003 年 03 月)
学位	修士(心理学)
受賞歴	なし
所属学会	日本交流分析学会, The International Transactional Analysis Association, 日本心理臨床学会, 日本心理学会, 日本遊戯療法学会, 日本精神衛生学会, 日本教育心理学会, 日本質的心理学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	子どもと親の臨床心理学的問題 教育相談における様々な臨床心理学理論の実践(主として Transactional Analysis(交流分析)および投射描画法テストバッテリー) (キーワード) 交流分析(TA), 親子の臨床心理学的問題, 投射描画法テストバッテリー, 児童虐待, 発達障害
担当科目	【大学院】「臨床心理査定演習Ⅰ」(9 人), 「臨床心理査定演習Ⅱ」(9 人), 「臨床心理研究法演習」(9 人), 「思春期臨床心理学特論」(9 人), 「臨床心理学講読演習」(14 人), 「臨床心理実習Ⅰ」(12 人), 「臨床心理実習Ⅱ」(12 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

[兼業]茨城県教育委員会[スクールカウンセラー](2004 年 04 月～)

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 上栗 伸一
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1977 年 6 月
学歴・職歴	九州大学比較文化研究科博士課程修了(2005 年 03 月) 茨城大学教育学部理科教育講座・准教授(2012 年 04 月～) 北海道大学大学院理学研究科・研究員(2005 年 04 月～2007 年 03 月) 筑波大学大学院生命環境科学研究科・研究員(2007 年 04 月～2008 年 03 月) 日本学術振興会特別研究員(筑波大学)(2008 年 04 月～2011 年 03 月) 高知大学海洋コア総合研究センター・研究員(2011 年 04 月～2012 年 03 月)
学位	博士(理学)[九州大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本地学教育学会, 日本地質学会, 日本古生物学会
専門分野	層位・古生物学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

, "Revised composite depth scales and integration of IODP Sites U1331, U1332, U1333, U1334 and ODP Sites 1218, 1219, 1220", IODP Scientific Result, 320, 1-46, 2012.

, "The Eocene-Oligocene boundary: radiolarian evolution and changes in ocean structure", IODP Scientific Result, 320, 1-137, 2012.

, "Radiolarian magnetobiochronology and faunal turnover across the middle/late Eocene boundary and their implications for enhanced upwelling in the northwest Atlantic Ocean", Marine Micropaleontology, 88, 41-53, 2012.

, "Radiolarians during early and middle Eocene, IODP Leg 320 Sites U1331, eastern equatorial Pacific", IODP Scientific Result, 320, 1-9, 2012.

, "Evolutionary changes in the fossil radiolarian *Stichocorys peregrina* lineage on the basis of biometry in the eastern equatorial Pacific (IODP Site U1335) and Northeast Pacific (ODP Site 887)", Marine Micropaleontology, 90, 13-28, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

, "Early to middle Eocene radiolarian biostratigraphy and faunal turnover in the equatorial Pacific Ocean" (Frontiers in Life & Earth Planetary Sciences, International workshop 2012, 2012 年)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 川嶋 秀之
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1955 年 11 月
学歴・職歴	東京都立大学人文科学研究科博士課程(1987 年)
学位	修士(文学)[東京都立大学]
受賞歴	なし
所属学会	古事記学会, 日本方言研究会, 国語学会
専門分野	国語史
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>【教養教育】「人間とコミュニケーション」(74 人)</p> <p>【学部専門】「保育内容の研究(言葉)」(59 人), 「郷土の言葉」(13 人), 「言語と文化の諸相」(10 人), 「国語学概論」(42 人), 「国語表現法」(50 人), 「国語学演習 I」(27 人), 「国語学演習 II」(16 人), 「卒業研究」(9 人)</p> <p>【大学院】「言語文化総合研究」(11 人), 「国語教育授業設計」(7 人), 「古典語特論」(7 人), 「現代語演習」(6 人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

川嶋秀之「盆土産」(光村図書版)精読, 茨城の国語教育, , 12, 37-47, 2012.

『新明解語源辞典』, 三省堂, 2011.

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

第6回茨城弁交通安全川柳コンテスト(2011 年度)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 神部 智
------------------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1963 年 5 月
学歴・職歴	ヘルシンキ大学大学院音楽研究科博士課程修了(2005 年)
学位	博士(音楽学)(Ph.D. in Musicology)[ヘルシンキ大学]
受賞歴	なし
所属学会	International Semiotics Institute, 美学会, 日本音楽学会, 音楽表現学会, 日本シベリウス協会
専門分野	音楽学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	【教養教育】「主題別ゼミナール」(15 人) 【学部専門】「初等音楽科内容研究」(50 人), 「ピアノ」(6 人), 「ピアノ」(5 人), 「ピアノ」(7 人), 「ピアノ」(6 人), 「音楽史」(15 人), 「音楽学 I」(9 人) 【大学院】「音楽学研究」(2 人), 「音楽学演習」(2 人), 「特別課題研究」(1 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

「シベリウス<交響曲第 2 番>作品 43」, ミニチュア・スコア(音楽之友社), , 2011.
「シベリウス<交響曲第 7 番>、<大洋の女神>」, NHK 交響楽団第 1704 回定期公演, , 2011.
「シベリウス<ヴァイオリン協奏曲>作品 47」, HK交響楽団第 1706 回定期公演, , 2011.

研究業績(2) 学会発表など

<招待講演> クラシック音楽の魅力:名作の鑑賞を楽しもう(講師)(2011 年 06 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本シベリウス協会 理事(2001 年 12 月～)
日本教育大学協会全国音楽部門 モデル・コア・カリキュラム検討プロジェクト・委員(2006 年 07 月～)
[出前授業]茨城県立水戸第二高等学校[講師](2007 年 07 月～)
[非常勤講師]宇都宮大学[非常勤講師](2006 年 10 月～)
[出前授業]常陸大田高校[講師](2003 年 07 月～)
[その他]日本シベリウス協会[理事](2000 年 12 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校臨床心理専攻	氏名 岸 良範
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1951 年 8 月
学歴・職歴	
学位	文学修士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学生相談学会, 日本児童心理・青年精神医学学会, 日本精神分析学会, 日本箱庭療法学会, 日本心理臨床学会
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	【教養教育】「人間と心」(88 人) 【大学院】「臨床心理学特論 II」(10 人), 「カウンセリング特論」(9 人), 「臨床心理査定演習 II」(9 人), 「臨床心理行政特論」(15 人), 「臨床心理実習 I」(12 人), 「臨床心理実習 II」(12 人), 「特別課題研究」(2 人), 「特別課題研究」(3 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

日本箱庭療法学会 理事・編集委員・研修委員(2005 年～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(英語教育)		氏名 君塚 淳一
教員履歴など		
現 職	教 授	
生年月	1959 年 6 月	
学歴・職歴	茨城大学教育学部教授(2006 年 04 月～) 茨城大学教育学部助教授(1999 年 10 月～2006 年 03 月) 中国短期大学英語英文科専任講師(1993 年 04 月～1997 年 03 月) 中国短期大学英語英文科助教授(1997 年 04 月～1999 年 09 月)	
学位	文学修士	
受賞歴	推奨授業(茨城大学)(茨城大学)(2004 年 04 月 21 日), 第 1 回日本マラマッド協会賞 学術部門(1998 年)	
所属学会	英文学会, 黒人研究会, 英米文化学会, 日本マラマッド協会, アメリカ学会, アメリカ文学会, 多民族研究学会	
専門分野	アメリカ文学	
教育研究概要	<p>アメリカ文学(ユダヤ系、アフリカ系作家)、アメリカ文化(1920年代文化、1960年代文化、アメリカ映画、大衆文化)、人種問題など。</p> <p>ユダヤ系作家では、現代ユダヤ系小説家 Bernard Malamud や Paul Auster などを中心に、19世紀末から20世紀初頭の移民文学としての Abraham Cahan, Michael Goldなどを同化の問題やユダヤ人としてのアイデンティティの問題、また二次大戦後はホロコーストの問題などを作家がどう扱い描いているのかをテーマに研究している。一方、アフリカ系作家では WASP が中心とされる白人アメリカでいかに人種問題と向き合うかを Richard Wright の作品を通して、また黒人で女性という立場、アフリカをどうアメリカ黒人が自身の中で認識するかを Alice Walker の作品を通して研究している。1920年代ではハリウッド映画産業の勃興とユダヤ系社会の関係、ハーレムルネッサンスのアフリカ系アメリカ人に対し、黒人民族主義と分離主義を標榜したマーカス・ガーヴェイを比較し研究している。1960年代論は、対抗文化の中で起きた様々な若者文化を比較研究、人種問題からニューシネマ、ロック、など幅広く文化論を展開している。また映画では文学と同様な研究方法を用いての映画分析を研究し、論文、著書のほか映画評なども執筆している。</p>	
	(キーワード)	
担当科目	<p>【教養教育】「総合英語(学術)」(44 人), 「人間・文化系科目」(80 人), 「表現・言語系科目」(21 人)</p> <p>【学部専門】「総合演習」(14 人), 「言語と文化の諸相」(10 人), 「英米文学概論 II/アメリカ文学史」(35 人), 「英米文学特講 III」(18 人), 「英米文学特講 IV」(21 人), 「英米文学演</p>	

習 IV」(10 人),「英米文学・文化から教える英語テキスト」(17 人),「卒業研究」(4 人)
 【大学院】「言語と文化総合研究」(2 人),「英語科授業設計」(1 人),「英米文学特論 I(アメリカ研究)」(2 人),「英米文学演習 I」(1 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Hisaka Iimura and Junicho Kimizuka, "Discussion on Teaching Varieties of English to Students in Japan, who desire to Study Abroad", Studies in Teaching Strategies Ibaraki University, , 30, 143-158, 2011.

赤澤美佳、君塚淳一「主体性の育成を目指した国際理解のあり方:高等学校英語教育における国際理解教育」,茨城大学教育実践研究, , 30, 137-141, 2011.

君塚淳一「Tim Burton とアメリカン・ゴシックの伝統—『シザーハンズ』を中心に」,茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学・芸術)60号, , 60, 77-83, 2011.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

英米文化学会 理事(編集委員長)(2011 年 10 月～)

[非常勤講師]青山学院女子短期大学[非常勤講師](1995 年 04 月～)

大学模擬授業を「ハリウッド映画から見るアメリカ」と題して行った。[茨城県立取手第一高校](2009 年 06 月～), 大学模擬授業として「ハリウッド映画から見えるアメリカーその歴史と映画の観かた」と題して講義を行う。

[茨城県立水戸桜の牧高校](2007 年 11 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ チェイニー、サンフランシスコ、ロサンゼルス、アナハイム・イースタン・ワシントン大学、サンフランシスコ、ロサンゼルス、アナハイム[学生交流事業・英語語学研修、市内観光](2012 年 2 月～3 月:9 日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 木村 勝彦
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1961 年 1 月
学歴・職歴	筑波大学教育学研究科博士課程(1991 年)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本公民教育学会, 日本教育方法学会, 全国社会科教育学会, 日本社会科教育学会, 日本教育学会
専門分野	教育学(社会科教育)
教育研究概要	<p>社会科教育に関する教育史的研究(明治以降、昭和前期)、初期社会科の研究、社会科授業論に関する研究</p> <p>社会科教育に関する教育史的研究(明治以降、昭和前期)、特に社会科成立の視点から戦前の公民教育を中心に検討する。初期社会科の研究、特に戦前の社会科的教育を踏まえて、初期の社会科教育事情を検討する。社会科授業論に関する研究</p> <p>(キーワード)公民教育、社会科教育史、社会科授業論</p>
担当科目	<p>【学部専門】「初等社会科教育法研究」(71 人), 「初等社会科教育法研究」(114 人), 「初等社会科教育法研究」(50 人), 「社会科教育法特講 I」(24 人), 「社会科教育法演習 I」(4 人), 「公民科教育法研究 I」(7 人), 「現代教育の実践的課題」(128 人), 「社会科教育学入門」(23 人), 「卒業研究」(1 人)</p> <p>【大学院】「社会科授業設計」(6 人), 「社会科教育特論 I」(5 人), 「社会科教育演習 I」(3 人)</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

片上宗二・木村博一・永田忠道編著「混迷の時代！ ”社会科”はどこへ向かえばよいかー激動の歴史から未来を模索するー」, 明治図書, 115-115, 2011.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本社会科教育学会 評議員(2005 年 04 月～)
日本公民教育学会 常任理事(2002 年 04 月～)

[非常勤講師]白鷗大学法学部〔講師〕(2005 年 04 月～)

[その他]茨城県教育研修センター〔講師〕(2004 年 07 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

人間環境教育課程	氏名 木村 競
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1956 年 4 月
学歴・職歴	東京大学人文科学研究科博士課程単位取得満期退学(1988 年) 茨城大学 教育学部 教授(2003 年 04 月～) 茨城大学 教育学部 助教授(1992 年 04 月～2003 年 03 月)
学位	文学修士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本倫理学会, 日本哲学会, 哲学会, 日本カント協会, 現代風俗研究会, ハイデガー・フォーラム, 日本公民教育学会
専門分野	哲学・倫理学
教育研究概要	<p><教育活動></p> <p>大学院: 教育学研究科・教科教育専攻・社会科教育専修(倫理学) 授業: 倫理学特論、倫理学演習 特別課題研究指導 大学院共通科目等</p> <p>学部: 教育学部・人間環境教育課程・課程共通科目およびコース専門科目 授業: 社会と思想、プロジェクト・マネジメント等 卒業研究指導 学校教育教員養成課程・社会選修 授業: 倫理学演習、倫理学特別演習等 卒業研究指導 教養科目・総合科目 授業: 「つながり」の力等</p> <p><研究活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行為および文化の定型化と変化に関する理論 ・教員養成における倫理学の役割 ・「学級力」を基盤とした学力向上モデルの構築 ・サステナビリティ学についての学内研究者との共同研究 ・近代ヨーロッパを中心とする哲学・倫理思想史研究 <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>【教養教育】「コミュニケーション論」(44 人), 「人間・文化系科目」(70 人)</p> <p>【学部専門】「社会と思想」(55 人), 「倫理学概論」(23 人), 「倫理学特別演習 I」(7 人), 「倫理学特別演習 II」(6 人), 「プロジェクト・マネジメントA」(11 人), 「総合演習」(20 人), 「卒業研究」(4 人)</p> <p>【大学院】「学校教育基礎論」(40 人), 「社会・文化総合研究」(8 人), 「倫理学特論」(1 人), 「倫理学演習」(1 人), 「特別課題研究」(2 人), 「人間システム基礎論 II」(8 人)</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[大学・研究所等紀要]学校教育と倫理 ―教員養成における倫理学― その5 教員にとっての倫理的思

考の必要性和児童・生徒が行う倫理的思考の意義, 茨城大学教育学部紀要(教育科学)61, 429-435, 2012/03

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

[出前授業]大学模擬授業「倫理学の入り口」, 茨城県立下妻第一高校、茨城県立佐和高校(2011年度実施)

[兼業]茨城県教育庁[茨城県生涯学習審議会委員および茨城県社会教育委員](2008年08月～)

[非常勤講師]水戸市医師会看護専門学院[非常勤講師](2001年04月～)

[非常勤講師]鯉淵学園農業栄養専門学校[非常勤講師](2000年10月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「[学級力]を基盤として学力向上モデルの構築」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2011年04月～2014年03月)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 木村 美智子
------------------	-----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 3 月
学歴・職歴	<p>お茶の水女子大学人間文化研究科博士課程修了(1989 年 03 月)</p> <p>お茶の水女子大学生生活科学部・非常勤講師(2010 年 10 月～)</p> <p>お茶の水女子大学生生活科学部・非常勤講師(1995 年 10 月～1999 年 03 月)</p> <p>太田看護専門学校・非常勤講師(1990 年 04 月～)</p> <p>お茶の水女子大学家政学部被服学科・文部技官(1983 年 04 月～1984 年 03 月)</p> <p>放送大学・非常勤講師(1987 年 08 月～1988 年 03 月)</p> <p>桜の聖母短期大学・非常勤講師(1988 年 04 月～1989 年 03 月)</p> <p>桜の聖母短期大学・講師(1989 年 04 月～1993 年 03 月)</p> <p>桜の聖母短期大学・助教授(1993 年 04 月～1999 年 03 月)</p> <p>東北文化学園大学科学技術学部・講師(1999 年 04 月～2004 年 03 月)</p> <p>東北文化学園大学・助教授(2004 年 04 月～2009 年 03 月)</p> <p>茨城大学教育学部・准教授(2009 年 04 月～2012 年 03 月)</p>
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
受賞歴	日本環境共生学会発表論文賞(Japan Association for Human and Environmental Symbiosis)(2006 年 09 月), お茶の水女子大学大学院人間文化研究科奨学金(Ochanomizu University)(1995 年 11 月), お茶の水女子大学家政学部被服学奨学金(Ochanomizu University)(1989 年 11 月)
所属学会	日本繊維製品消費科学会, 日本家庭科教育学会, 日本環境共生学会, 日本環境教育学会, 日本生活学会, 日本油化学会, 繊維学会, 日本家政学会
専門分野	生活科学一般 科学教育 環境影響評価・環境政策
教育研究概要	(キーワード)環境教育, 生活環境学, 洗浄科学
担当科目	<p>【教養教育】「生活・福祉系科目」(70 人)</p> <p>【学部専門】「初等家庭科内容研究」(75 人), 「初等家庭科内容研究」(14 人), 「被服科学」(27 人), 「衣生活論」(18 人), 「被服環境学」(17 人), 「アパレル科学」(11 人), 「被服学演習」(2 人), 「被服構成学基礎」(19 人), 「被服構成学応用」(17 人), 「卒業研究」(2 人)</p> <p>【大学院】「生活科学総合研究」(3 人), 「家庭科授業設計」(2 人), 「被服学特論」(2 人), 「被服学演習」(1 人)</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

木村美智子「小学校ビオトープをめぐる 地域協働活動」, 環境科学会誌, 24, 4, 2011.

木村美智子, 元越朝香「小学校で実践する草木染めの教材化に関する研究」, 茨城大学教育実践研究, 30, 2011.

木谷忍, 木村美智子「子どもの遊ぶ環境づくりへの支援態度に関する基礎的研究—福島県相馬市での親子調査を通して—」, 環境共生, 20, 24-33, 2012.

木村美智子, 郡司彩「紙製品の消費にみる環境配慮意識に関する一考察」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 61, 35-42, 2012.

「技術・家庭学習指導書[家庭分野]内容編C衣生活・住生活と自立」, 開隆堂, 128-132, 145-162, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

木村美智子, 「環境保全活動における環境教育の視点」(日本環境教育学会第 22 回大会・2011 年 07 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本環境共生学会 理事(2007 年 05 月～)

日本油化学会 洗剤・洗浄部会幹事(2007 年 04 月～)

日本環境共生学会 日本環境共生学会理事・理事(2007 年 03 月～)

日本油化学会 洗剤・洗浄部会幹事・(2005 年 04 月～)

北上川水系河川整備学識者懇談会委員(2011 年度)

宮城県環境審議会水質専門員(2011 年度)

日本学術振興会染色堅ろう度 134 委員会(2011 年度)

[非常勤講師]お茶の水女子大学(2010 年 10 月～)

[非常勤講師]太田西ノ内病院附属看護学校(1990 年 04 月～)

評議員を務めた[財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク](2001 年 07 月～2011 年 05 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「環境に配慮した持続可能なライフスタイルを実現する環境教育の構築に関する研究」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 日下 裕弘
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953 年 2 月
学歴・職歴	筑波大学体育科学研究科博士課程(1984 年) 仙台大学体育学部助教授(1985~1991) 茨城大学教養部助教授・教授(1991~1996) 茨城大学教育学部教授(現在まで)(1996 年 04 月~)
学位	教育学博士
受賞歴	なし
所属学会	人体科学会, 日本社会学会, International Committee for Sociology of Sport, 日本スポーツ社会学会, 日本体育学会, 日本民族学会, 日本スポーツ史学会, 日本温泉協会
専門分野	体育学 人体科学・哲学 文化人類学 社会学
教育研究概要	教育学博士論文:「成立期におけるわが国のスポーツ精度に関する研究」(筑波大学)1984 「日本スポーツ文化の源流」、不昧堂出版)1996 < 著書 > 分担執筆「スポーツ規範の社会学」(不昧堂出版)1980 分担執筆「スポーツ技術の社会学」(不昧堂出版)1984 分担執筆「現代スポーツ指導者論:その社会学的な見方・考え方」(ぎょうせい出版)1988 分担執筆「スポーツ社会学への招待」(不昧堂出版)1990 分担執筆「スポーツ社会学ノート」(中央法規出版)1994 「日本の自然遊:湯浴の聖と俗」(近代文藝社)1995 編・分担執筆「身体活動の科学」(大修館書店)1995 分担執筆「生涯学習講座:今を生きる人間学」(分真堂)1997 編・分担執筆「健康スポーツの科学」(大修館書店)1999 編・分担執筆「生涯スポーツの理論と実際」(大修館書店)2001 分担執筆「総合的な学習での野外校外体験事例:野外遊びと子どもの”からだ・こころ”」 (日本教育科学研究所)2002 分担執筆「温泉医学:湯治再発見」(日本温泉協会ほか)2002 分担執筆「フロー理論の展開:自然体験活動におけるフローと身体アイデンティティ」 (世界思想社)2003 分担執筆“The emergence and development of Japanese school sport”, in “JAPAN SPORT AND SOCIETY:Tradition and Change in a Globalizing World” (Routledge)2006

	<p><翻訳書></p> <p>分担翻訳「国際スポーツ社会学評論」(日本体育学会 体育社会学専門分科会)1977</p> <p>分担翻訳「スポーツ文化・社会」(ベースボールマガジン社)1988</p> <p>分担翻訳「スポーツと社会理論」(不昧堂出版)1991</p> <p><主要論文></p> <p>「明治期における武士的・武士道的野球信条に関する文化社会学的研究」(体育・スポーツ社会学研究)1985</p> <p>“The Development of Basaball Organizations in Japan” (International Review for the Sociology of Sport)1987</p> <p>「一般成人のスポーツ観に 関する研究」(体育・スポーツ社会学研究)1988</p> <p>「スポーツ制度論に関する成果と課題」(体育・スポーツ社会学研究)1991</p> <p>「体育教育における生涯体育論の再検討:E. H. エリクソンのアイデンティティ論のパーспекティブから」(教育学論説資料)1991</p> <p>「日本の自然遊:湯浴文化の隠れた形」(スポーツ社会学研究)1995</p> <p>「湯治の身体論的意義」(人体科学)1998</p> <p>「高齢者の生きがいと自然遊に関する研究:ハイキング・登山実践者の事例から」(スポーツ社会学研究)1999</p> <p>「高齢者の温泉浴に関する研究:湯浅の身体論に準拠して」(体育学研究)1999</p> <p>「糖尿病の克服に関する事例研究」(人体科学)2000</p> <p>「中国におけるレジャー研究の分析枠組み」(中国関係論説資料)2000</p> <p>「自然遊びにおける子どもの笑顔とその<身体>」(体育学研究)2003</p> <p>「スポーツ身体論序説:ひとつの社会学的分析枠組みの提示」(スポーツ社会学研究)2004</p> <p>「遊戯世界における子どもの身体:光るどろだんごづくりを事例に」(人体科学会)2004</p> <p>「スポーツ身体論序説」(日本スポーツ社会学会)20</p> <p>(キーワード)子どもの遊び、スポーツの歴史社会学、生涯スポーツ、高齢者の健康、温泉体育学、教育学、社会学、哲学、身体論、民俗学</p>
担当科目	<p>【教養教育】「身体活動」(46人),「身体活動」(48人),「身体活動」(46人)</p> <p>【学部専門】「体育科教育法研究」(43人),「卓球指導法/卓球/卓球/卓球指導法/卓球」(40人),「生涯スポーツの実現」(47人),「体育スポーツ社会学」(39人),「ボールゲーム方法論II」(37人),「卒業研究」(5人)</p> <p>【大学院】「体育科学総合研究」(6人),「保健体育授業設計」(6人),「体育社会学演習」(6人),「特別課題研究」(1人)</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

関口宏明・日下裕弘「自然体験における身体」,茨城大学教育学部紀要(教育科学),,60,2011.

元吉晶子・日下裕弘「伝統文化としての剣道授業のあり方」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 60, 2011.

小山祐介・日下裕弘「イチローのストライクゾーン: 瀧澤文雄の身体論に準拠して」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 60, 2011.

「子どもの体力づくり事業における理論的課題: D.A.コルブの経験学習理論の視点から」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 61, 2012.

上杉明弘・日下裕弘「00mハードルの美的感覚」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 61, 2012.

片岡奈津美・日下裕弘「教師の身体コミュニケーション能力に関する研究」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 61, 2012.

「生涯スポーツ」, よくわかるスポーツ文化論, ミネルウヴァ書房, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

生涯スポーツ、温泉と健康[茨城県生涯学習センターなど](年度不詳)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 工藤 研二
------------------	----------

教員履歴など

現 職	講 師
生年月	1949 年 12 月
学歴・職歴	
学位	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	【教養教育】「コミュニケーション論」(267 人), 「主題別ゼミナール」(27 人) 【学部専門】「総合演習」(6 人), 「代数学C」(31 人), 「代数学D」(8 人), 「幾何学A」(32 人), 「幾何学B」(31 人), 「卒業研究」(4 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 工藤 雄司
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1959年6月
学歴・職歴	<p>東京学芸大学教育学研究科修士課程修了(1987年03月)</p> <p>筑波技術大学・非常勤講師「情報科教育法」「工業科教育法」(2012年04月～)</p> <p>埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「家庭電気・機械・情報処理」(2009年10月～)</p> <p>愛知教育大学・非常勤講師(教育学部)「工業科教育C」(2007年12月～2008年03月)</p> <p>筑波大学・非常勤講師(人間学群)「教育内容・方法論」(2004年04月～)</p> <p>茨城大学・教授(教育学部技術教育教室)(2012年04月～)</p> <p>学校法人科学技術学園高等学校・教諭(機械科)(1987年04月～1991年03月)</p> <p>筑波大学附属坂戸高等学校・教諭(工業科)(1991年04月～2012年03月)</p> <p>埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「情報コミュニケーション技術」(2000年04月～2004年09月)</p> <p>埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「情報システム技術」(2005年04月～2005年09月)</p> <p>茨城大学・非常勤講師(教育学部)「情報教育研究法」(2007年06月～2012年03月)</p> <p>茨城大学・非常勤講師(教育学部)「情報通信ネットワーク」「職業指導原論」(2010年04月～2012年03月)</p> <p>茨城大学・非常勤講師(教育学部)「情報と職業」(2011年04月～2012年03月)</p>
学位	教育学修士[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本産業技術教育学会, 日本工業技術教育学会, 日本教科教育学会, 日本教育情報学会, 筑波大学教育学会, 日本情報科教育学会
専門分野	教科教育学 教育工学
教育研究概要	(キーワード)各教科の教育(技術, 情報), 専門教科の教育(工業), 情報教育, 教材開発
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

「プログラマブルコントローラを活用した制御学習を効果的に行う教材の開発」[科研費]奨励研究(代表) (2011年05月01日～2012年03月31日)
--

人間環境教育課程		氏名 郡司 晴元
教員履歴など		
現 職	准教授	
生年月	1968 年 4 月	
学歴・職歴	京都大学理学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1998 年 07 月) 茨城大学教育学部 准教授(2007 年 04 月～) 財団法人日本モンキーセンター リサーチフェロー(1998 年 08 月～2003 年 03 月) 茨城大学教育学部 助教授(2004 年 04 月～2007 年 03 月)	
学位	博士(理学)[京都大学]	
受賞歴	なし	
所属学会	日本理科教育学会, 日本環境教育学会, 子どもと自然学会, 日本霊長類学会, 日本人類学会	
専門分野	人類学 環境教育	
教育研究概要	<p>1. 自然体験学習を中心とした環境教育・ESD について実践も交えて教育・研究しています。</p> <p>2. 動物園・博物館・科学館などとの連携による効果的な教育について実践も交えて教育・研究しています。</p> <p>3. 霊長類の骨形態・骨塩量の加齢変化について研究しています。</p> <p>(キーワード) 学社連携 自然体験学習</p>	
担当科目	<p>【教養教育】「環境・政策系科目」(78 人), 「環境・政策系科目」</p> <p>【学部専門】「環境教育論」(20 人), 「情報化社会の諸問題」(18 人), 「知識解析論」(15 人), 「環境科学総論」(10 人), 「環境教育演習」(9 人), 「卒業研究」(3 人), 「生活の中の環境問題」, 「総合演習」, 「環境特別演習 I」, 「環境特別演習 II」</p> <p>【大学院】「サステイナビリティ教育特論 I」(4 人), 「理科教育学特論 I(初等理科教育論)」(2 人), 「理科教育学演習 I」(1 人), 「理科教育学演習 II」(1 人), 「自然科学総合研究」, 「理科授業設計」, 「学校教育基礎論」</p>	

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

郡司晴元「7.3 児童・生徒の避難と下校、避難所になった学校」, 茨城大学東日本大震災調査報告書, , 75-77, 2011.

Otsuji H. & Gunji H., Pedagogies in Sustainability Education., Komiyama H., Takeuchi K., Shiroyama H. and Mino T. eds., "Sustainability Science : A Multidisciplinary Approach", pp. 374-384, United Nations University Press, 2011.

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

[兼業]茨城県教育研究連盟[助言者]

[兼業]茨城大学教員免許状更新講習専門委員会[教員免許状更新講習講師]

[兼業]青少年のための科学の祭典・鹿行地区大会実行委員会[推進委員]

出題協力している茨城大学側の事務局担当として実施に協力した。[水戸検定実行委員会]

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「自然体験学習の指導者養成システムに関する総合的研究」[科研費]基盤研究(B)(分担)

「モバイル端末とホームページを活用した「野外観察データ共有システム」の開発」[科研費]基盤研究(C)(分担)

「ESD の視点による教科・領域横断的学習活動の構築」[科研費]挑戦的萌芽研究(分担)

「環境に配慮した持続可能なライフスタイルを実現する環境教育の構築に関する研究」[科研費]基盤研究(C)(分担)

情報文化課程	氏名 小泉 晋弥
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953 年 6 月
学歴・職歴	<p>東京芸術大学大学院美術研究科修士課程(1978 年)</p> <p>茨城大学附属中学校長(2011 年 04 月～)</p> <p>愛知県立芸術大学非常勤講師(現在に至る)(2003 年 04 月～)</p> <p>茨城大学教授(現在に至る)(2000 年 04 月～)</p> <p>東京芸術大学美術学部非常勤講師(現在に至る)(1999 年 04 月～)</p> <p>いわき市立美術館学芸員(1984 年 04 月～1989 年 08 月)</p> <p>郡山市教育委員会美術館建設準備室主査兼学芸員(1990 年 04 月～1991 年 03 月)</p> <p>郡山市立美術館主任学芸員(1993 年 07 月～1996 年 03 月)</p> <p>茨城大学教育学部助教授(1996 年 04 月～2000 年 03 月)</p> <p>東北大学文学部非常勤講師(平成 14 年 3 月まで)(1997 年 04 月～2002 年 03 月)</p>
学位	修士(芸術学)
受賞歴	なし
所属学会	大学美術教育学会, 美術史学会, 文化資源学会
専門分野	日本近代美術史 博物館学 美術批評
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>【教養教育】「人間と文学・芸術/芸術」(45 人), 「人間・文化系科目」(26 人), 「主題別ゼミナール」(17 人)</p> <p>【学部専門】「視聴覚教育メディア論」(25 人), 「保育内容の研究(表現)」(35 人), 「茨城の芸術・芸能」(37 人), 「日本美術実地研究」(10 人), 「造形美学/造形理論」(45 人), 「現代アート論/現代美術論」(41 人), 「メディア批評プロジェクト I」(20 人), 「メディア批評プロジェクト II」(19 人), 「地域活動プロジェクト I」(17 人), 「地域活動プロジェクト II」(17 人), 「表象文化論」(47 人), 「古美術実地研究」(7 人), 「現代文化批評」(13 人), 「視聴覚教育メディア論」(7 人), 「博物館実習 I」(16 人), 「博物館実習 II」(11 人), 「動画像処理(初級)b」(1 人), 「卒業研究」(1 人)</p> <p>【大学院】「美術文化総合研究」(7 人), 「美術教育授業設計」(7 人), 「日本美術史研究」(7 人), 「日本美術史演習」(3 人)</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

[非常勤講師]多摩美術大学[非常勤講師](2008年11月～2012年03月)

[その他]栃木県立美術館[美術資料選考評価委員](2007年12月～2011年12月)

[兼業]茨城県教育研修センター[講師](2007年07月～)

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 向野 康江
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1959 年 10 月
学歴・職歴	<p>筑波大学芸術学研究科博士課程修了(1994 年)</p> <p>武蔵野美術大学短期大学部通信教育部にて日本・東洋美術史の非常勤講師(1993 年 04 月～1998 年 03 月)</p> <p>茨城大学助教授(1996 年 10 月～)</p> <p>茨城高等工業専門学校にて非常勤講師を兼任(1997 年 04 月～1998 年 03 月)</p> <p>中国 華東師範大学へ海外研修上、外国人講師を兼任(1998 年 09 月～1999 年 08 月)</p> <p>中華人民共和国 華東師範大学芸術教育研究センター特聘研究員(2000 年 09 月～)</p> <p>茨城大学大学院教育学研究科指導教官(2004 年 10 月～)</p> <p>茨城大学教育学部講師・同大学大学院教育学研究科授業担当教官(1995 年 04 月～1996 年 09 月)</p> <p>特定非営利活動法人向野堅一顕彰会理事 (2009 年 9 月～)</p> <p>向野堅一記念館学芸員 (非常勤) (2010 年 10 月～)</p>
学位	教育学修士、学術修士 (芸術学)、博士 (芸術学) [筑波大学]
受賞歴	二〇〇一年全国中小学優秀美術教案例大会一等賞 (中国: 中国教育学会美術教育研究会) (2001 年), 中国華東地区首届優秀中小学美術教案課例大会一等賞 (中国山東省教育学会美術教学研究專業委員会・華東師範大学美術教育研究中心) (2001 年)
所属学会	淡窓研究会, 大学美術教育学会, 教育史学会, 日本教育史研究会, 美術科教育学会, 孫文研究会, 向野堅一顕彰会, 近現代東北アジア地域史研究会, InSEA (International Society of Education through Art/国際美術教育学会)
専門分野	近代史 芸術学
教育研究概要	<p>向野堅一(1868-1931)伝記作成および向野コレクション(向野文庫を含む)に関する調査研究に取り組んでいる。勤務先である大学教育においては、美術教育研究に従事している。</p> <p>(キーワード) 美術教育思想史, 美術教育史, 児童画の歴史, 記念館経営, 漢詩</p>
担当科目	<p>【教養教育】「主題別ゼミナール」(17 人)</p> <p>【学部専門】「図画工作科教育法研究」(71 人), 「図画工作科教育法研究」(77 人), 「美術科内容研究」(22 人), 「美術教育授業研究 I」(12 人), 「美術教育授業研究 II」(14 人), 「図画工作科内容研究」(14 人), 「美術科教育特別演習BI」(5 人), 「美術科教育特別演習BII」(5 人), 「卒業研究」(2 人)</p>

【大学院】「美術文化総合研究」(7人), 「美術教育授業設計」(7人), 「美術教育研究II」(5人), 「美術教育演習II」(2人), 「特別課題研究」(2人)「修了研究(2人)」

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

- ・向野康江「向野堅一に関する研究情報(1)」『向野堅一顕彰会会報』2, 6-8, 2011.
- ・向野康江「第3章 図画教育の変遷」渡辺千恵子編『小学校指導法図画工作』(玉川大学出版部) 25-32, 2011.
- ・向野康江「用器画からの図画教育史に関する一考察—教育法令と用器画本を中心にして—」, 『大学美術教育学会誌』, 44, 199-206, 2012.
- ・向野康江「向野堅一記念館の存続意義」『向野堅一顕彰会会報』3, 10-12, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

「向野堅一および向野コレクション(向野文庫を含む)研究」プロジェクトの開始[直方市](2007年11月～)
 茨城大学教員免許状更新講習会 図画工作・講師、「指導の新展開」(2009～)
 「自分づくり」を支える教育活動の創造(第1年次)—他とのかかわり合いを通して—(共同研究): 茨城大学教育学部附属小学校(2009年～)
 NPO法人向野堅一顕彰会理事・向野堅一記念館運営(2009～)
 向野堅一研究会事務局・編集員(2009～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

情報文化課程	氏名 小島 秀夫
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1950 年 1 月
学歴・職歴	東京大学教育学研究科修士課程修了(1975 年) 茨城大学教授 教育学部(1992 年 10 月～) 茨城大学助手 教育学部(1977 年 04 月～1979 年 03 月) 茨城大学講師 教育学部(1979 年 04 月～1985 年 06 月) 茨城大学助教授 教育学部(1985 年 07 月～1992 年 09 月)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本教育社会学会, 日本社会学会
専門分野	教育社会学
教育研究概要	教育社会学、社会階層論、社会調査法 (キーワード)教師の職業的社会化研究 調査方法論
担当科目	【教養教育】 「総合英語(学術)」(40 人) 【学部専門】 「学校・教師の社会学/社会意識論」(24 人), 「統計学」(20 人), 「外書講読 I」(26 人), 「外書講読 II」(5 人), 「社会調査法」(21 人), 「社会文化情報演習 I」(30 人), 「社会統計学」(33 人), 「地域社会論」(17 人), 「卒業研究」(6 人) 【大学院】 「教育社会学特論」(6 人), 「教育社会学演習」(7 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 小林 英美
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1967 年 10 月
学歴・職歴	早稲田大学教育学研究科博士課程修了(2001 年) 茨城大学教育学部・准教授(2003 年 04 月～) 早稲田大学教育学部・非常勤講師(2000 年 04 月～) 法政大学付属第一高等学校・非常勤講師(1990 年 04 月～1991 年 03 月) 国土舘大学・非常勤講師(1993 年 04 月～1995 年 03 月) 早稲田大学教育学部助手(1994 年 04 月～1996 年 03 月) 茨城県立医療大学・非常勤講師(1995 年 04 月～2003 年 03 月) 東邦大学・非常勤講師(1996 年 04 月～1997 年 03 月) 日本学術振興会特別研究員(1997 年 04 月～1999 年 03 月) 学習院大学・非常勤講師(1999 年 04 月～2003 年 03 月) 東京国際大学・非常勤講師(2000 年 04 月～2003 年 03 月)
学位	学術博士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	欧米言語文化学会, 日本ジョンソン協会, 早稲田大学英語英文学会, 日本英文学会, イギリス・ロマン派学会, 美学会, 日本カレドニア学会, Friends of Coleridge
専門分野	ヨーロッパ語系文学
教育研究概要	<p>18-19 世紀イギリス文学における読者と作家・詩人の相互影響関係、英詩への関心を音読実践と童謡から引き出す。</p> <p>研究においては、18-19 世紀イギリス文学における読者と作家・詩人の相互影響関係を、現存するデータを発掘・分析して、実証的に明らかにする歴史的文学研究を行なっている。教育においては、英詩の魅力を、音読を実践することで導く。音読は語学教育の重要な基礎の一つであり、音読して初めて英詩の本当の魅力が明らかになるからである。伝承童謡や有名児童文学を入門に用いることで関心を持たせ、最終的には文学史的に重要な英詩へと導く工夫をしいている。また作品に関連する映像・音声教材も利用することによって、学生の理解が深まるようにしている。</p> <p>(キーワード)イギリス文学、18 世紀、19 世紀、ロマン主義文学、ワーズワス、コウルリッジ、キーツ、オースティン、女性詩人、読者層研究、文学作品の 18-19 世紀英国作曲家による音楽受容、18-19 世紀出版事情、予約購読出版、貸本店</p>
担当科目	<p>【教養教育】「総合英語(レベル2)」(31 人), 「コミュニケーション論」(267 人)</p> <p>【学部専門】「言語と文化の諸相」(10 人), 「英米文学概論 I」(30 人), 「英米文学特講 I」</p>

(25 人),「英米文学演習 I」(18 人),「英米文学演習 II」(7 人),「英米文学・文化から教える英語テキスト」(17 人),「卒業研究」(3 人)
 【大学院】「言語と文化総合研究」(2 人),「英語科授業設計」(1 人),「英米文学特論 II(近代英米文学研究)」(2 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

小林英美「ジャネット・リトルの『詩集』の予約購読者の分析——18世紀末スコットランド女性農民詩人とその支援者の実態」,カレドニア第39号, , 39, 15-28, 2011.

研究業績(2)学会発表など

小林英美,「18世紀末英国の予約購読形式出版詩集とその書評——エリザベス・ハンズの事例研究」(欧米言語文化学会 124 回例会・2011 年 12 月)
 <司会・議長・コンビーナ・コーディネータ> イギリス・ロマン派講座・名詩の解釈と鑑賞(講座の司会)(2011 年 06 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

[出前授業]湖水地方と英文学—ロマン派の名作からピーター・ラビットの絵本へ,水戸県立桜ノ牧高等学校(2011 年度実施)
 [非常勤講師]早稲田大学教育学部(2007 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「英国 18—19 世紀予約購読出版詩集と定期刊行物における書評についての研究」[科研費](代表)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

情報文化課程	氏名 齋木 久美
--------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1963 年 2 月
学歴・職歴	茨城大学教育学部(2003 年 04 月～)
学位	教育学修士[千葉大学]
受賞歴	茨城大学大学教育センター推奨授業表彰(茨城大学大学教育センター)(2007 年 03 月 27 日)
所属学会	全国大学国語教育学会 全国大学書道学会 書学書道史学会, 計量国語学会, 全日本書写書道教育研究会, 全国大学書写書道教育学会
専門分野	
教育研究概要	小中学校国語科書写における授業研究の方法や効果的な学習指導法に関する研究を実践的に行っている。 (キーワード)
担当科目	【教養教育】「人間と文学・芸術」(123 人) 【学部専門】「初等国語科教育法研究」(79 人), 「初等国語科教育法研究」(66 人), 「初等国語科教育法研究」(46 人), 「初等国語科教育法研究」(44 人), 「書道科教育法研究 I」(14 人), 「初等書写内容研究」(115 人), 「初等書写内容研究」(108 人), 「書論」(17 人), 「書道 II」(52 人), 「書道 III」(38 人), 「漢字書法研究」(17 人), 「子ども文化プロジェクト I」(35 人), 「子ども文化プロジェクト II」(34 人), 「表象文化論」(47 人) 【大学院】「言語文化総合研究」(11 人), 「国語教育授業設計」(7 人), 「書写書道教育研究」(4 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「黒澤止幾子の肖像写真の和歌に関する一考察—「十寸鏡」を手がかりに—, 茨城大学教育学部研究紀要, , 60, 21?36, 2011.

研究業績(2)学会発表など

齋木久美 長沼純平, 「中学校書写の効果的な学習指導法に関する研究?履歴書を用いた第3学年での授業実践から? 第3学年に 履歴書を用いて」(全国大学書写書道教育学会第26回(茨城)大会・2011年09月)
齋木久美, 「小学校教員養成課程における書写の模擬授業導入の試み」(平成23年度日本教育大学協会全国書道教育部門茨城大会・2011年09月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

<芸術活動・建築作品等> 第47回 JA 共済茨城県小・中学生書道コンクール(2011年09月)

<芸術活動・建築作品等>平成 23 年度全国大学書道学会会員展出品(2011 年 09 月)

<芸術活動・建築作品等>第 27 回王朝継ぎ紙合同作品展(2011 年 05 月)

社会的活動、地域貢献など

全国大学国語教育学会 全国大学書道学会 書学書道史学会 本部役員(研究局)(2008 年～)

全国大学書写書道教育学会 会計監査(2006 年 04 月～2012 年 03 月)

全日本書写書道教育研究会 本部役員 研究局 大学部長(2005 年 10 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 齋藤 英敏
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1966 年 7 月
学歴・職歴	オハイオ州立大学博士課程修了(2000 年) 茨城大学教育学部英語教育講座 助教授(2004 年 04 月～2006 年 03 月) 同 英語教育教室 准教授(2006 年 04 月～)
学位	PhD
受賞歴	なし
所属学会	National Council on Measurement in Education, 日本言語テスト学会, 大学英語教育学会, 日英・英語教育学会, 全国語学教育学会
専門分野	外国語テスト、評価 外国語学習、習得 外国語指導 外国語教育
教育研究概要	外国語教育での評価、テスト、外国語学習 (キーワード)外国語学習の評価、テスト、外国語学習、指導
担当科目	【教養教育】「総合英語(レベル3)」(34 人), 「コミュニケーション論」(267 人) 【学部専門】「英語科教育法研究 II」(9 人), 「英語科教育法特講」(4 人), 「英語科教科論 II」(20 人), 「英語コミュニケーション VII」(19 人), 「英語コミュニケーション IX」(21 人), 「英語コミュニケーション XII」(4 人), 「卒業研究」(1 人) 【大学院】「言語と文化総合研究」(2 人), 「英語科授業設計」(1 人), 「英語科教育学特論 II(評価論概要)」(2 人), 「英語科教育学演習 II」(2 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

SAITO, H., SAITO, T., & KINO, I., "Development of Listening Prochievement Tests for Third- Year Japanese Junior High School Students Studying English as a Foreign Language (Part I)", 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 60, 111-121, 2011.

猪井新一, 竝木崇康, 齋藤英敏「日本語を活用した小学校外国語活動教員研修」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 60, 97-109, 2011.

研究業績(2) 学会発表など

Saito, H., "Issues in rating junior high school students' speaking performance in a discussion contest: A case of the Ibaraki Interactive English Forum."(日本言語テスト学会 第 15 回全国研究大会(桃山学院大学)・2011 年 10 月)

齋藤英敏, 「実践的コミュニケーション能力の基礎の育成」(千葉県君津地区教育研究会英語部会・2011 年 08 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

Lawrence Erlabum Language Assessment Quarterly 査読員・(2012 年 01 月～) 大学英語教育学会 JACET 賞選考委員・(2011 年 09 月～) 全国語学教育学会 JALT Journal 査読委員・(2009 年 04 月～) Sage Language Testing 査読委員・(2009 年 01 月～2011 年) 日本語テスト学会 広報委員・(2007 年 09 月～)
--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

養護教諭養成課程	氏名 齊藤 ふくみ
----------	-----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1958 年 10 月
学歴・職歴	広島大学大学院保健学研究科博士後期課程修了(2006 年 03 月) 熊本大学養護教諭特別別科(2000 年 09 月～2008 年 03 月) 茨城大学教育学部准教授(2008 年 04 月～)
学位	博士(保健学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校健康相談学会, 日本健康相談活動学会, 日本養護教諭教育学会, 日本学校保健学会
専門分野	養護学、養護実践学、健康教育
教育研究概要	<p>大学の養護実習記録の内容分析による学生の学びの比較－テキスト・マイニング手法を用いて－</p> <p>本研究は、平成17年度A大学学生29名、B大学学生29名、C大学学生10名の養護実習記録をテキスト・マイニング手法を用いて内容分析を行った結果、学生の学びの言語構成が明らかになり、各々の大学の養護実習での学生の学びの特徴を捉えることが出来た。それと同時に3大学に共通の語句が抽出され、養成機関が異なっても養護実習での学生の学びは保証されていると考えられた。また3大学を総合してクラスター解析を行った結果、養護実習で学習する事項が語句として抽出され、学生の学びを客観的に捉えられたと思われる。このことから、本研究で得られた所見は養護実習評価項目を作成する際の参考資料になりうると思われる。また、各大学の学生の意識と特徴を集約することができたことにより、養護教諭養成機関の背景の違いによるカリキュラムの改善の指標として活用できると思われる。</p> <p>(キーワード) 養護教諭、養護学、健康教育、養護実践、養護活動</p>
担当科目	<p>【教養教育】「身体・行動系科目」(48 人), 「主題別ゼミナール」(35 人)</p> <p>【学部専門】「保健科内容研究 II」(38 人), 「養護学概論 I」(35 人), 「養護学概論 II」(35 人), 「養護実践論」(40 人), 「養護活動と関連法規」(34 人), 「養護活動実習 I」(38 人), 「養護活動演習」(35 人), 「健康相談活動 I/健康相談活動/健康相談活動 I」(37 人), 「卒業研究」(14 人)</p> <p>【大学院】「養護学総合研究」(4 人), 「養護教諭論特論」(4 人), 「養護教諭論演習」(2 人), 「特別課題研究」(3 人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

○齊藤ふくみ: 養護教諭養成課程学生の養護実践場面に関する討論授業の効果－ケース・メソッド授業を

して一、茨城大学教育学部紀要, 教育科学, (60), 143-151, 2011

○斉藤ふくみ・萩谷香里・松永恵: 幼稚園保健室コーナーの参与観察ー園児の行動に着目して一, 日本養護教諭教育学会誌, 14(1), 21-31, 2011

○松永恵・斉藤ふくみ: 養護教諭はどのように児童生徒の不定愁訴の原因に迫っていくのかー受容期から洞察促進期に至る養護教諭の思考についての仮説生成研究, 学校健康相談研究, 8(1), 66-79, 2011

○秋山緑・森田光子・斉藤ふくみ: 第 9 回ワークショップの報告 あなたは子どもをどう見て、どうかかわりますか, 学校健康相談研究, 8(1), 80-87, 2011

○中野智美・竹下誠一郎・宮川八平・斉藤ふくみ: 大学における薬物乱用防止教育の一試案ー大学生を対象とした意識調査結果から, 茨城大学教育実践研究, (30), 159-167, 2011

○蛭田麻衣・斉藤ふくみ: 保健室における香りによるリラックス効果の研究, 茨城大学教育実践研究, (30), 169-181, 2011

○木下正江・斉藤ふくみ: 養護教諭による「いのちの授業」授業研究(2), 茨城大学教育学部紀要, 教育科学, 61, 257-268, 2012

○鈴木裕美・斉藤ふくみ: 養護実習生に不足している健康相談活動の力ー逐語録の分析を通して一, 茨城大学教育学部紀要, 教育科学, 61, 237-246, 2012

○斉藤ふくみ・ラーニー・ベルガラ・内田信子・廣原紀恵: 日本とフィリピンの幼稚園の実態調査ー園児の生活習慣を中心に一, 茨城大学教育学部紀要, 教育科学, 61, 247-255, 2012

○赤津枝理子・斉藤ふくみ: 養護教諭とスクールカウンセラーの連携に関する面接調査ー相互の役割分担に着目して一, 茨城大学教育学部紀要, 61, 269-278, 2012

○斉藤ふくみ: 東日本大震災1ヶ月後の養護教諭養成課程学生が考える養護活動に関する一考察ー2, 3年生対象の授業はじめのワークショップを通して一, 日本養護教諭養育学会誌, 15(2), 33-41, 2012

研究業績(2) 学会発表など

○鈴木裕美・斉藤ふくみ・廣原紀恵: 健康相談活動についての養護実習生の認識に関する調査研究 2ー小学校実習前後及び中学校実習前後の変化の比較ー, 日本学校健康相談学会第 8 回学術集会, 学校健康相談研究, 8(2), 64-65, 2012

○斉藤ふくみ・内田信子: 養護の探索的研究ー園児と養護教諭の発話プロトコル分析から一, 日本養護教諭教育学会第 19 回学術集会抄録集, 140-141, 2011

○斉藤ふくみ・小瀬古貴子: 宮本常一の学校保健学文献研究(3)ー養護に視点をあてて一, 第 58 回日本学校保健学会講演集, 292, 2011

○斉藤ふくみ・ラーニー・ベルガラ・内田信子・廣原紀恵: 日本とフィリピンの幼稚園の実態調査ー園児の生活習慣を中心に一, 第 58 回日本学校保健学会講演集, 421, 2011

○宋曉威・竹下誠一郎・滝澤利行・斉藤ふくみ: 中国と日本の学校保健に関する比較検討ー保健(校医)室利用の実態調査から一, 第 58 回日本学校保健学会講演集, 345, 2011

○鈴木裕美・斉藤ふくみ・廣原紀恵・石原研治: 健康相談活動についての養護実習生の認識に関する調査研究ー小学校養護実習前後の変化ー, 第 58 回日本学校保健学会講演集, 417, 2011

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本学校健康相談学会 理事(2010 年 04 月～)

日本養護教諭教育学会編集委員(2007 年 4 月～)

○平成 23 年度茨城県高等学校教育研究会養護部研究協議会講演講師「保健室での子どもとの対応を可視化する試み」平成 23 年 6 月 2 日(水)

○平成 23 年度茨城県新規採用養護教諭研修講座講師「性に関する指導の実際」平成 23 年 8 月 2 日(火)

○平成 23 年度茨城県 5 年次研修講座(養護教諭)講師「健康相談活動」平成 23 年 10 月 4 日(火)

○平成 23 年度岩手県養護教諭授業力向上研修講座(専門)講師「健康相談活動の理論及び方法」平成 23 年 7 月 29 日(金)、平成 24 年 1 月 13 日(金)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

情報文化課程	氏名 齋藤 芳徳
教員履歴など	
現 職	教 授
生年月	1962 年 2 月
学歴・職歴	福島大学大学院地域政策科学研究科修士課程修了 茨城大学教育学部・教授(2011 年 04 月～) 茨城大学教育学部・助教授(2006 年 10 月～2007 年 03 月) 川崎医療福祉大学医療福祉学部・専任講師(2000 年 04 月～2004 年 03 月) 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部・助教授(2004 年 04 月～2006 年 09 月) 茨城大学教育学部・准教授(2007 年 04 月～2011 年 03 月)
学位	修士(地域政策)[福島大学]
受賞歴	第 8 回インテリアデザインコンペ 2011/奨励賞(1) (社団法人日本インテリアファブリックス協会)(2011 年 11 月), 第 8 回インテリアデザインコンペ 2011/奨励賞(2) (社団法人日本インテリアファブリックス協会)(2011 年 11 月), 第 7 回インテリアデザインコンペ 2010/優秀賞(社団法人日本インテリアファブリックス協会)(2010 年 11 月), かわさき産業デザインコンペ 2005/入賞(川崎市)(2005 年 11 月), かわさき産業デザインコンペ 2005/佳作(川崎市)(2005 年 11 月), 第 1 回札幌国際デザイン賞/佳作(札幌市)(1992 年 02 月), 住まいのインテリアコーディネートコンテスト'88/インテリア産業協会会長賞[一般の部](社団法人インテリア産業協会)(1988 年 10 月), 第 1 回アダルファニチャーデザインコンペ/アダル奨励賞(株式会社アダル)(1988 年 03 月)
所属学会	日本建築学会, 日本リハビリテーション工学協会, 日本福祉のまちづくり学会
専門分野	リハビリテーション科学・福祉工学 都市計画・建築計画
教育研究概要	生活環境のユニバーサルデザインの研究 プロダクト(生活支援工学, プロダクトデザイン, リハビリテーション工学) 建築(建築計画学, 建築デザイン) (キーワード) 高齢者, 介護施設, 車いす, 入浴介護, 福祉用具, バリアフリー, ユニバーサルデザイン
担当科目	【教養教育】 「生活・福祉系科目」(11 人) 【学部専門】 「図法及び製図/図学演習」(54 人), 「人間工学」(37 人), 「地域活動プロジェクト I」(17 人), 「地域活動プロジェクト II」(17 人), 「設計製図 II」(17 人), 「設計製図 III」(6 人), 「インテリアデザイン演習」(24 人), 「建築法規」(24 人), 「卒業研究」(4 人) 【大学院】 「美術文化総合研究」(7 人), 「美術教育授業設計」(7 人), 「デザイン研究 II」(2

人),「デザイン演習 II」(2 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

〈招待講演〉 いばらき成長産業振興協議会(講演「介護・福祉機器開発におけるユニバーサルデザインの考え方」)(2011 年 12 月)

〈招待講演〉 第 13 回首都圏北部 4 大学新技術説明会(講演「ロボット技術のユニバーサルデザイン化への応用の可能性ー介護浴槽の事例から」)(2011 年 11 月)

〈司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,企画・運営〉 2011 年 SIG 姿勢保持講習会(企画・運営・司会・パネリスト「高齢者介護施設における入浴の姿勢保持」)(2011 年 08 月)

〈パネリスト〉 第 17 回バリアフリー2011(ワークショップ講師「浴槽からケアが変わる」)(2011 年 04 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本建築学会 建築人間工学小委員会委員(2004 年 08 月～)

日本リハビリテーション工学協会 SIG 姿勢保持世話人(2001 年 08 月～)

日本建築学会 建築計画委員会建築人間工学小委員会・委員(2004 年 08 月～)

日本リハビリテーション工学協会 SIG 姿勢保持・世話人(2001 年 08 月～)

[非常勤講師]茨城キリスト教大学[非常勤講師](2008 年 04 月～)

[非常勤講師]独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校[非常勤講師](2008 年 04 月～)

[非常勤講師]川崎医療福祉大学大学院[非常勤講師](2006 年 10 月～2012 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

スペイン バルセロナ、タラゴナ、グラナダ、コルドバ、マドリード・各市内の建造物[視察、情報収集](2012 年 3 月:7 日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 酒井 紀美
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1947 年 11 月
学歴・職歴	<p>大阪市立大学大学院文学研究科文学研究科博士課程単位取得満期退学(1976 年)</p> <p>茨城大学教育学部教授(2004 年 10 月～)</p> <p>相模女子大学学芸学部非常勤講師(1991 年 10 月～2004 年 09 月)</p> <p>大阪府立渋谷高等学校 社会科教諭(1976 年 04 月～1981 年 08 月)</p> <p>東京大学史料編纂所非常勤職員(1984 年 04 月～1995 年 09 月)</p> <p>立教大学文学部非常勤講師(1994 年 04 月～1994 年 09 月)</p> <p>東京学芸大学教育学部非常勤講師(1994 年 09 月～2000 年 09 月)</p> <p>成蹊大学文学部非常勤講師(1996 年 04 月～2003 年 09 月)</p> <p>立教大学大学院文学研究科史学専攻非常勤講師(1999 年 04 月～2004 年 09 月)</p> <p>慶應義塾大学文学部非常勤講師(2001 年 04 月～2003 年 03 月)</p> <p>放送大学非常勤講師(2003 年 04 月～2005 年 03 月)</p>
学位	文学博士[大阪市立大学]
受賞歴	なし
所属学会	歴史学研究会, 日本史研究会, 大阪歴史学会, 大阪市立大学日本史学会
専門分野	日本史
教育研究概要	<p>専攻は日本中世史。主に、中世の荘園や村落について研究してきた。近年は、情報伝達のしくみ、夢に関する中世人の認識のあり方などに関心がある。今後は、在地社会の日常的な意識について考えていきたい。</p> <p>(キーワード) 日本中世史の研究、特に情報伝達のあり方について。</p>
担当科目	<p>【教養教育】「人間と歴史/歴史学」(78 人)</p> <p>【学部専門】「茨城の歴史と文化」(72 人), 「日本史概説 I」(37 人), 「日本史概説 II」(35 人), 「日本史演習」(12 人), 「卒業研究」(8 人)</p> <p>【大学院】「日本史演習」(3 人), 「特別課題研究」(1 人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

「夢語りの場の生成」(共同研究): サントリー文化事業財団(不明年～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 榊 守
------------------	--------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1961 年 4 月
学歴・職歴	豊橋技術科学大学工学研究科修士課程修了(1987 年) 茨城大学教育学部 技術教育 助教授(2000 年 04 月～) 鉦路工業高等専門学校 電気工学科 助手(1987 年 04 月～1989 年 03 月) 鉦路工業高等専門学校 電気工学科 講師(1989 年 04 月～1993 年 03 月) 豊橋技術科学大学 電気・電子工学系 講師(1994 年 04 月～1996 年 03 月) 鉦路工業高等専門学校 電気工学科 助教授(1996 年 04 月～2000 年 03 月)
学位	博士(工学)[豊橋技術科学大学]
受賞歴	平成 7 年度 優秀論文発表賞(電気学会)(1995 年)
所属学会	日本産業技術教育学会, 応用物理学会, 表面技術協会, 日本視覚障害理科教育研究会, 日本生活支援工学会
専門分野	放電応用 福祉機器
教育研究概要	教育学部で基礎電気などの電気・電子関連科目の講義・実習を担当。 研究分野:アークやグロー放電の基礎研究および視覚障害者用学習支援装置の研究 (キーワード)
担当科目	【教養教育】「コミュニケーション論」(267 人), 「物理学【実験基礎】」(16 人), 「主題別ゼミナール」(18 人) 【学部専門】「基礎電気」(18 人), 「電気の基礎技術」(19 人), 「電気の応用技術」(6 人), 「電気工学」(12 人), 「電気工学演習」(3 人), 「家庭電気・機械」(15 人), 「卒業研究」(4 人) 【大学院】「技術と生活総合研究」(2 人), 「技術科授業設計」(3 人), 「電気工学特論 I」(3 人), 「特別課題研究」(2 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

関東甲信越地区視覚障害教育研究会 助言者および講習担当[茨城県立盲学校](2009 年 11 月～)
--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

情報文化課程	氏名 佐々木 忠之
--------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年1月
学歴・職歴	北海道大学工学研究科修士課程(1984年) 茨城大学教授 教育学部情報文化教室(2004年10月～) 国立身体障害者リハビリテーションセンター 研究所 福祉機器開発部福祉機器開発室 研究員(1984年10月～1990年03月) 茨城大学助教授 教育学部情報教育講座(1990年04月～2004年09月)
学位	工学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本視覚学会, 人間工学会, 日本特殊教育学会, 計測自動制御学会, 日本機械学会, バイオメカニズム学会, 電子情報通信学会, 日本ロボット学会, 日本音響学会, 日本ME学会
専門分野	感覚情報工学 福祉工学
教育研究概要	福祉工学、感覚情報工学 (キーワード)
担当科目	【教養教育】「コミュニケーション論」(64人), 「生活・福祉系科目」(11人) 【学部専門】「情報処理の基礎技術 I」(16人), 「情報処理の応用技術/情報技術演習 I/マイクロコンピュータ・プログラミング入門」(11人), 「地域活動プロジェクト I」(17人), 「地域活動プロジェクト II」(17人), 「感覚の科学」(61人), 「卒業研究」(2人) 【大学院】「技術と生活総合研究」(2人), 「技術科授業設計」(3人), 「電気工学特論 II」(3人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

小峰優子, 佐々木忠之「数字記憶課題における音環境の影響」, 茨城大学教育学部紀要. 自然科学, 60, 131-136, 2011.

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 佐藤 環
------------------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1960 年 4 月
学歴・職歴	広島大学教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1995 年 03 月) 茨城大学教育学部・教授(2012 年 04 月～) 岡山女子短期大学(現岡山短期大学)幼児教育学科・専任講師(1995 年 04 月～1998 年 03 月) 岡山女子短期大学(現岡山短期大学)幼児教育学科・助教授(1998 年 04 月～2001 年 03 月) 常磐大学人間科学部・助教授 准教授(2001 年 04 月～2010 年 03 月) 常磐大学人間科学部・教授(2010 年 04 月～2012 年 03 月)
学位	修士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	中等教育史学会, 日本教育史研究会, 日本教育史学会, 全国地方教育史学会, 日本数学史学会, 日本教育学会, 教育史学会
専門分野	教育学 日本教育史 日本史
教育研究概要	近世藩校の算術・武芸における教育課程や師範任用の組織化がいかになされてきたかを考えてきた。それに加え, 現在は近代女子中等教育史, 特に正系学校である高等女学校に比して従来看過されてきた傍系の女学校, すなわち「高等女学校ニ類スル各種学校」の教育史的意義とその展開を追っている。 (キーワード)藩校教育, 数学, 武芸, 弓術, 学校における業績主義の定着, 試験制度, 近代女子中等教育史, 高等女学校, 「高等女学校ニ類スル各種学校」
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

全国地方教育史学会 常任幹事(2011 年 05 月～) 中等教育史研究会・(2006 年 05 月～)

日本教育史研究会・(1996 年 04 月～)

日本教育史学会・(1994 年 04 月～)

全国地方教育史学会・常任幹事(2011 年～), 事務局長(2012 年～)(1994 年 02 月～)

日本数学史学会・(1993 年 05 月～)

日本教育学会・(1992 年 12 月～)

教育史学会・(1990 年 04 月～)

[自治体での社会教育]北茨城市市民大学講座「史料で読み解く藩校の教育」, 北茨城市教育委員会(2011 年度実施)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 佐藤 篤
------------------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1949 年 5 月
学歴・職歴	東京芸術大学音楽研究科修士課程修了(1974 年)
学位	芸術学修士[東京芸術大学]
受賞歴	名誉博士号(2000 年), 山田康子基金(1996 年), 山田康子基金(1991 年), ヴィオッティ国際コンクールディプロマ・ディ・フィナリスタ(1981 年), ハエン国際ピアノコンクール第 3 位入賞(1977 年), 安宅賞(1972 年)
所属学会	全日本ピアノ指導員協会, 茨城演奏家連盟, 日本演奏連盟, 日本ピアノ教育連盟
専門分野	芸術, 音楽 ピアノ
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	【教養教育】「主題別ゼミナール」(15 人) 【学部専門】「ピアノ」(9 人), 「ピアノ」(9 人), 「ピアノ」(9 人), 「ピアノ」(9 人), 「ピアノ」(8 人), 「ピアノ」(8 人), 「卒業研究」(5 人) 【大学院】「音楽教育授業設計」(2 人), 「器楽研究」(3 人), 「器楽演習」(3 人), 「特別課題研究」(2 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 佐藤 裕紀子
------------------	-----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1968 年 2 月
学歴・職歴	お茶の水女子大学人間文化研究科博士後期課程単位取得満期退学(2004 年 03 月)
学位	博士(学術)[お茶の水女子大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本家政学会, 日本家政学会家族関係学部会, 日本家政学会生活経営学部会, 日本家族社会学会, 日本家庭科教育学会, 日本家政学会家政学原論部会
専門分野	生活科学一般
教育研究概要	(キーワード) 家族関係、家政・家庭科教育、ライフスタイル、
担当科目	<p>【教養教育】「生活・福祉系科目」(70 人), 「主題別ゼミナール」(15 人)</p> <p>【学部専門】「中等家庭科内容研究」(19 人), 「家庭科教科論」(21 人), 「初等家庭科内容研究」(75 人), 「家庭経営学」(21 人), 「家事労働論」(34 人), 「家庭経営学演習」(1 人), 「卒業研究」(4 人)</p> <p>【大学院】「生活科学総合研究」(3 人), 「家庭科授業設計」(2 人), 「家族関係学特論」(4 人), 「家族関係学演習」(1 人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

佐藤裕紀子「家庭のしごとへの参加をうながす家庭科の指導法の検討—生活時間調査の活用をとおして—」, 茨城大学教育実践研究, 30, pp.87-96, 2011.

佐藤裕紀子「家族関係学の成果と課題—家族と家族・個人の生活条件に関する研究を中心に—」, 家族関係学, 30, pp.15-23, 2011.

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本家庭科教育学会 課題研究「ESD としての家庭科教育の可能性と役割」研究会・会計(2012 年 03 月～2013 年 03 月)

消費者支援功労者表彰選定委員会(2011 年度)

水戸市少子対策検討委員会(2011 年度)

茨城県教育研究連盟 助言者(2011 年 10 月)

[兼業]茨城県教育研究連盟〔助言者〕(2011 年 10 月)

[兼業]茨城大学教育学部〔試験問題検討委員会委員〕(2009 年 11 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「環境に配慮した持続可能なライフスタイルを実現する環境教育の構築に関する研究」〔科研費〕基盤研究(C)一般(分担)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

「家庭科を中心とした教科横断的な環境教育カリキュラムの提案」〔茨城大学 ICAS 2011 年度 ICAS 独自研究補助金〕2011 年度 ICAS 独自研究補助金(代表)(2011 年 07 月 01 日～2012 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 篠田 明音
------------------	----------

教員履歴など

現 職	講 師
生年月	1976 年 12 月
学歴・職歴	上越教育大学大学院学校教育研究科修士課程修了(2003 年 03 月)
学位	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	日本スポーツ運動学会, 日本教育大学協会全国保健体育・保健研究部舞踊研究会, 日本体育・スポーツ哲学会, 運動伝承研究会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	(キーワード) 表現運動, 表現する身体, ダンス, 運動学(方法学を含む)
担当科目	

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

吉井秀邦、阿部篤志、笹生心太、藤本晋也、篠田明音、白幡恭子「避難所へのスポーツ振動力発電の設置に関する一考察」, スポーツ産業学研究, , 2011.

研究業績(2) 学会発表など**研究業績(3) 芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など****海外出張・海外研修・内地研修など****科学研究費補助金などの受領**

情報文化課程	氏名 島田 裕之
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1957 年 4 月
学歴・職歴	東京芸術大学美術研究科修士課程修了(1988 年) 茨城大学教授 教育学部 (現在に至る)(2004 年 10 月～) 茨城県取手市立第二中学校教諭(1980 年 04 月～1984 年 03 月) 茨城県取手市立戸頭中学校教諭(1984 年 04 月～1986 年 03 月) 東京学館総合技術高等学校工芸科非常勤講師(1988 年 04 月～1990 年 03 月) 桐生短期大学生活デザイン科専任講師(1990 年 04 月～1993 年 03 月) 茨城大学講師 教育学部(1993 年 04 月～1995 年 03 月) 茨城大学助教授 教育学部(1995 年 04 月～2004 年 09 月)
学位	芸術学修士
受賞歴	かながわ地球環境保全ポスターコンクール優秀賞(1999 年), 第 7 回 NAAC 展 TGC 部門 TGC 賞(1989 年), 第 66 回二科展商業美術部特選賞(1981 年), 第 64 回二科展商業美術部特選賞(1979 年)
所属学会	日本デザイン学会, 大学美術教育学会
専門分野	視覚デザイン
教育研究概要	イラストレーションによる視覚伝達デザインの研究と制作 (キーワード) 平面デザイン(イラストレーション、コンピュータ・グラフィック、広告、ポスター)、映像(映画、アニメーション)
担当科目	【教養教育】「人間と文学・芸術」(108 人), 「主題別ゼミナール」(17 人) 【学部専門】「図画工作科内容研究」(23 人), 「デザイン基礎/視覚コミュニケーション演習」(50 人), 「デザイン I/デザイン史演習」(48 人), 「デザイン II/絵本制作演習」(44 人), 「デザイン表現演習 I」(3 人), 「デザイン表現演習 II」(3 人), 「日本美術実地研究」(10 人), 「情報文化広報プロジェクト I」(24 人), 「情報文化広報プロジェクト II」(23 人), 「映像工房プロジェクト I」(42 人), 「映像工房プロジェクト II」(40 人), 「子ども文化プロジェクト I」(35 人), 「子ども文化プロジェクト II」(34 人), 「古美術実地研究」(7 人), 「卒業研究」(19 人) 【大学院】「美術文化総合研究」(7 人), 「美術教育授業設計」(7 人), 「デザイン研究 I」(5 人), 「デザイン演習 I」(5 人), 「工芸・デザイン研究」(3 人), 「工芸・デザイン演習」(2 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

<芸術活動・建築作品等> 第7回現代茨城作家美術展出品(2012年01月)

<芸術活動・建築作品等> 茨城大学美術科教員三人展(2011年12月)

<芸術活動・建築作品等> UTAKI・HIKARI・II 島田裕之展(2011年06月)

社会的活動、地域貢献など

[出前授業] 夏期実技講習, 茨城県立笠間高等学校(2011年度実施)

[出前授業] 視覚表現入門, 水戸第三高等学校(2011年度実施)

[出前授業] 視覚表現入門, 茨城県立水戸第二高等学校(2011年度実施)

茨城県美術館協議会委員(2011年度)

茨城県芸術祭美術展覧会(2011年度)

茨城県芸術祭映像コンクール(2011年度)

茨城デザイン振興協議会(2011年度)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 島 剛
------------------	--------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1963 年 7 月
学歴・職歴	東京芸術大学美術研究科博士課程中退(1990 年) 茨城大学 助教授 教育学部(2000 年 04 月～) 東京藝術大学 美術学部彫刻科講師(非常勤)(1995 年 04 月～1996 年 03 月) 茨城大学 講師 教育学部(1996 年 04 月～2000 年 03 月)
学位	修士(芸術)[東京芸術大学]
受賞歴	第 9 回日本現代陶彫展'04、陶彫展優秀賞(2004 年), 第 2 回印幡村野外芸術展 in いには野、佳作賞(2000 年), 第 6 回ビエンナーレまくらざき、佳作賞(1999 年), 第 7 回日本現代陶彫展'98、大賞(1998 年), 第 2 回朝来野外現代彫刻展 in 多々良木'95、大賞(1995 年), 五島記念文化賞美術部門新人賞(1990 年), 第 19 回現代日本美術展、大賞(1989 年), オブジェTOKYO展'88、佳作賞(1988 年), 第 18 回現代日本美術展、いわき市立美術館賞(1987 年)
所属学会	大学美術教育学会
専門分野	彫刻
教育研究概要	彫刻 (キーワード) 彫刻の制作研究
担当科目	【教養教育】「人間と文学・芸術」(108 人), 「コミュニケーション論」(267 人), 「主題別ゼミナール」(17 人) 【学部専門】「保育内容の研究(表現)」(35 人), 「デッサン I/造形実技 I」(28 人), 「デッサン II/造形実技 II」(16 人), 「美術教育授業研究 I」(12 人), 「美術教育授業研究 II」(14 人), 「彫刻基礎/立体表現演習 I」(26 人), 「彫刻 I/立体表現演習 II」(20 人), 「彫刻 II/立体表現演習 III」(17 人), 「塑造特別演習」(20 人), 「日本美術実地研究」(10 人), 「古美術実地研究」(7 人), 「卒業研究」(2 人) 【大学院】「美術文化総合研究」(7 人), 「美術教育授業設計」(7 人), 「彫刻研究」(2 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

< > Lay point-2/茨城大学教員三人展/ギャラリーESPACE/茨城(2011 年 12 月)

<>象-0901-1/現代茨城の陶芸展—Layered/茨城県陶芸美術館(2011年10月～2011年11月)
<>切株更新—転生の歴/Art session TSUKUBA 2011/研究学園駅前公園、他/つくば(2011年10月～2011年11月)

社会的活動、地域貢献など

[兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2009年08月～)
[兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2007年07月～)
[兼業]大阪教育大学〔講師〕(2007年01月～)
[兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2006年07月～)
[出前授業]光洋高校〔講師〕(2006年05月～)
[兼業]桜の牧高校〔講師〕(2005年11月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 勝二 博亮
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1970 年 9 月
学歴・職歴	東京学芸大学連合学校教育学研究科博士課程(1999 年) 茨城大学助教授教育学部(2005 年 10 月～2007 年 03 月) ドイツ連邦共和国ユスタス・リービヒ(ギーゼン)大学 客員研究員(2004 年 02 月～2005 年 02 月) 茨城大学講師教育学部(2000 年 04 月～2005 年 09 月) 茨城大学助手教育学部(1998 年 07 月～2000 年 03 月) 日本学術振興会 特別研究員(1998 年 04 月～1998 年 06 月)
学位	教育学博士[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本 LD 学会, International Society for Brain Electromagnetic Topography, 認知神経科学会, 日本脳電磁図トポグラフィー研究会, 日本生理心理学会, 日本臨床神経生理学会, 日本特殊教育学会
専門分野	認知神経科学 障害児教育 実験系心理学
教育研究概要	(キーワード)脳科学 特別支援教育
担当科目	【教養教育】「人間と心」(77 人), 「主題別ゼミナール」(20 人) 【学部専門】「総合演習」(30 人), 「知的障害児の生理」(26 人), 「障害児生理学演習 II」(3 人), 「障害児生理機能評価法/障害児生理心理学」(27 人), 「卒業研究」(4 人) 【大学院】「障害学総合研究」(5 人), 「障害児生理学特論 I(発達障害学)」(10 人), 「障害児生理学演習 I」(7 人), 「特別課題研究」(1 人) 【専攻科】「知的障害児の生理」(19 人), 「障害児生理演習 II」(5 人), 「障害児生理機能評価法」(14 人), 「障害学総合研究」(6 人), 「知的障害児の生理」(19 人), 「障害児生理演習 II」(5 人), 「障害児生理機能評価法」(14 人), 「障害学総合研究」(6 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

勝二博亮, 田村睦子「知的障害児における基本運動の発達アセスメント(中間報告)」, 発達研究, 25, 195-200, 2011.

勝二博亮「スペシャルオリンピックス日本における地区組織での取り組みー設立年数と活動規模の違いー」, 特殊教育学研究, 49, 3, 273-282, 2011.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本臨床神経生理学会 評議員(2009年10月～)

「書字の獲得とその困難さに関する実証的研究」(共同研究):(不明年～)

[兼業]茨城県教育委員会[専門家会議委員](2010年11月～)

[兼業]NPO 全国ことばを育む会・茨城県ことばを育む親の会[教育相談](2010年08月～)

[兼業]茨城県教育委員会[講師(教育教員免許法認定講習) 病弱児の心理・生理・病理](2010年07月～)

[兼業]茨城県教育委員会[講師(教育教員免許法認定講習) 重度重複障害](2010年07月～)

[兼業]茨城県特別支援教育推進連盟・茨城県立水戸飯富養護学校[講師](2009年10月～)

[兼業]茨城県教育委員会[講師(教育教員免許法認定講習) 病弱児の心理・生理・病理](2009年08月～)

[兼業]茨城県教育委員会[講師(教育教員免許法認定講習) 重度重複障害](2009年08月～)

[兼業]NPO 全国ことばを育む会・茨城県ことばを育む親の会[講師](2009年08月～)

[兼業]大洗教育研究会(大洗町立南中学校)[講師](2009年08月～)

[兼業]茨城県立内原養護学校[講師](2009年01月～)

[兼業]茨城県教育研究会特別支援教育研究部[講師](2008年12月～)

[兼業]茨城大学[講師(教員免許更新制予備講習)](2008年08月～)

[兼業]茨城県教育研究会[講師(茨城県中央地区特別支援教育研修会)](2008年08月～)

[兼業]茨城県教育委員会[講師(教育教員免許法認定講習) 病弱児の心理・生理・病理](2008年08月～)

[兼業]茨城県教育委員会[講師(教育教員免許法認定講習) 重度重複障害](2008年08月～)

[兼業]茨城県教育研究連盟[助言者](2007年10月～)

[兼業]茨城県教育研修センター[講師(寄宿舎指導員研修講座)](2007年07月～)

[兼業]那珂市教育委員会[特別支援教育アドバイザー](2007年04月～)

[兼業]茨城県教育委員会[専門家会議委員](2007年04月～)

[兼業]茨城県教育研修センター[スーパーバイザー(教育相談に関する臨床研修)](2006年12月～)

[兼業]茨城県教育研究連盟[助言者](2006年10月～)

[兼業]茨城県教育研修センター[講師(新任特殊学級・通級指導教室担当者研修講座)](2006年10月～)

[兼業]茨城県立大子養護学校[講師](2006年10月～)

[兼業]茨城県立土浦養護学校[ボランティア講座講師](2006年09月～)

[兼業]茨城県教育研修センター[講師(寄宿舎指導員研修講座)](2006年07月～)

[兼業]茨城県教育委員会[専門家会議委員](2006年04月～)

[兼業]那珂市教育委員会[特別支援教育アドバイザー](2006年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「書字困難児の早期支援プログラムの開発」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2011年04月01日～2015年03月31日)

「「神経教育学」への展開を目指した技術系教科と脳科学の融合」[科研費](分担)(2011年04月01日～2014年03月31日)

「自動車運転中の脳活動に関する研究－運転適正に NIRS から迫る－」[三井住友海上福祉財団 研究助成](代表)(2007年12月01日～)

「自閉症児に理解しやすい音声指示のあり方の解明」[科研費](分担)(2007年04月01日～)

附属教育実践総合センター	氏名 昌子 佳広
--------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1965 年 10 月
学歴・職歴	島根大学大学院教育学研究科修士課程修了(1998 年 03 月) 茨城大学教育学部助教授(2004 年 10 月～) 茨城大学教育学部講師(2001 年 04 月～) 島根県公立小学校教諭(1988 年 04 月～1991 年 03 月) 島根大学教育学部附属小学校教諭(1991 年 04 月～2001 年 03 月)
学位	教育学修士[島根大学]
受賞歴	なし
所属学会	表現学会, 日本読書学会, 日本国語教育学会, 全国大学国語教育学会
専門分野	地方における国語教育実践史の研究
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	【教養教育】「人間と文学・芸術」(87 人) 【学部専門】「総合演習」(27 人), 「初等国語科教育法研究」(79 人), 「初等国語科教育法研究」(46 人), 「生活科教育法研究」(233 人), 「国語科教育法特講 II」(38 人), 「国語科教育法演習 II」(31 人), 「読書と豊かな人間性」(90 人), 「初等国語科内容研究」(53 人), 「生活科内容研究」(106 人), 「生活科内容研究」(97 人), 「教職のためのパブリックスピーキング」(32 人), 「卒業研究」(4 人) 【大学院】「言語文化総合研究」(11 人), 「国語教育授業設計」(7 人), 「国語科教育学特論 II」(6 人), 「国語科教育学演習 II」(5 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

附属教育実践総合センター	氏名 正保 春彦
--------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 11 月
学歴・職歴	筑波大学心理学研究科博士課程(1988 年) 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター教授(2009 年 10 月～) 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター助教授(2000 年 10 月～2009 年 09 月) 筑波大学心理学系助手(1988 年 06 月～1990 年 03 月) 明海大学外国語学部専任講師(1990 年 04 月～1995 年 03 月) 明海大学外国語学部助教授(1995 年 04 月～2000 年 09 月)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本カウンセリング学会, 日本人間性心理学会, 日本心理臨床学会, 日本描画テスト療法学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	集団心理療法(構成的グループエンカウンター、ロールプレイング、インプロヴィゼーション)、カウンセリング 集団心理療法(構成的グループエンカウンター、ロールプレイング、インプロヴィゼーション)、カウンセリング (キーワード)臨床心理学、グループアプローチ、構成的グループ・エンカウンター、ロールプレイング、サイコドラマ、インプロ(インプロヴィゼーション)
担当科目	【教養教育】「人間と心」(88 人) 【学部専門】「総合演習」(20 人), 「カウンセリング特講」(24 人), 「卒業研究」(1 人) 【大学院】「臨床心理基礎実習Ⅰ」(8 人), 「臨床心理基礎実習Ⅱ」(8 人), 「グループアプローチ特論」(10 人), 「特別課題研究」(2 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

学校で使えるグループアプローチ研究会・代表(2005 年 04 月～)

[非常勤講師]筑波大学[非常勤講師](2005 年 04 月～)

[非常勤講師]茨城県立結城第二高校[非常勤講師](2010 年 04 月～2012 年 03 月)

患者会実施協力[筑波大学附属病院](年度不詳), 研修委員[茨城いのちの電話](年度不詳), 研修会講師
[社会福祉法人同仁会](2007 年 02 月～), 相談員研修会講師[水戸市教育委員会](2006 年～), 調査官研
修会講師[水戸家庭裁判所](2006 年～), 研修会講師[日立市教育委員会](2006 年 08 月～), 水戸教育事
務所明るい学校作り指導者研修会実施協力[茨城県教育委員会](2006 年 05 月～), 親子合宿実施支援協
力[水戸家庭裁判所](2006 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 杉本 憲子
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1973 年 7 月
学歴・職歴	名古屋大学教育発達科学研究科博士課程単位取得満期退学(2001 年)
学位	修士(教育学)[名古屋大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育方法学会, 日本生活科・総合的学習教育学会, 中部教育学会, 日本教育学会
専門分野	教育方法学
教育研究概要	(キーワード)教育方法、授業研究
担当科目	【教養教育】「人間・文化系科目」(84 人) 【学部専門】「学習指導の方法」(176 人), 「教育の方法と技術」(143 人), 「教育の方法と技術」(150 人), 「総合演習」(32 人), 「学習指導演習」(3 人), 「学習指導特講」(3 人), 「卒業研究」(1 人), 「卒業研究」(4 人) 【大学院】「教授学演習」(12 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

杉本憲子「授業における子どもの思考過程の考察—子どもの読みの深まりに着目して—」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 60, 167-177, 2011.

杉本憲子「授業における集団的思考の場の意義に関する一考察 : 子どもの記述と話し合いの授業場面の考察を通して」, 茨城大学教育実践研究, , 30, 249-260, 2011.

研究業績(2) 学会発表など

龍ヶ崎市立長山中学校夏季研修会(講話「生徒が主体的に、ともに学ぶ授業づくりについて」)(2011 年 08 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

[出前授業]子どもの学びを考える, 緑岡高校(2011 年 10 月 28 日)、牛久高校(2011 年 11 月 10 日)(2011 年度実施)

[出前授業]学校の授業と子ども(オープンキャンパス)(2011 年度実施)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]特別活動の今日的意義と課題・特別活動の実践の充実に向けて, 茨城大学(2011 年度実施)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]教育政策の動向についての理解, 茨城大学(2011 年度実施)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

「授業における児童の関係認識の発展に関する実証的研究」[科研費]若手研究(B)(代表)(2008年04月01日～)

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 鈴木 一史
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1967 年 7 月
学歴・職歴	筑波大学教育研究科修士課程修了(1996 年 03 月) 東京大学教育学部附属中等教育学校(2000 年 04 月～2012 年 03 月) 聖徳大学・非常勤講師(国語表現)(2002 年 04 月～2004 年 03 月) 東京大学・非常勤講師(教科教育法)(2005 年 04 月～2012 年 03 月) 聖心女子大学・非常勤講師(教科教育法)(2007 年 04 月～2012 年 03 月)
学位	修士(教育学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	解釈学会, 日本読書学会, 全国大学国語教育学会, 日本国語教育学会, 人文科教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>「学習意識と語彙～実生活で生きてはたらく語彙」, 教育科学国語教育, , 2011.</p> <p>「中等教育段階における使用語彙の変化」, 国語教育研究, , 2011.</p> <p>「分散型黒板の活用——斉授業からプロジェクト型学習へ——」, 教育科学国語教育, , 2011.</p> <p>「国語科教科書教材の使用語彙の特質 —「羅生門」を「水の東西」と比較して—」, 東京大学教育学部附属論集, , 2012.</p> <p>「広がる! 漢字の世界」, 光村教育図書, 2012.</p> <p>「新 レインボーことばを選べる辞典」, 学研教育出版, 2011.</p>
--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

<p>日本国語教育学会 高等学校部会副部会長(2010 年 04 月～)</p> <p>解釈学会 常任委員(2009 年 01 月～)</p> <p>日本国語教育学会 全国大会企画委員(2008 年 04 月～)</p>
--

日本国語教育学会 センター試験問題検討委員(2005 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「教科書コーパスを用いた言語活動を引き起こす教材開発と授業プログラム」[科研費]文部科学省科学研究費補助金() (2011 年 04 月～2012 年 03 月)

人間環境教育課程	氏名 清木 徹
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1946 年 8 月
学歴・職歴	茨城大学教育学部(2004 年 04 月～) 広島県公害研究所(現保健環境センター)(1971 年 04 月～2004 年 03 月)
学位	博士[広島大学]
受賞歴	水質汚濁研究(現水環境学会)論文賞(広瀬賞)(1986 年)
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	<p>専門分野は水質環境工学、生態工学で、閉鎖性水域の富栄養化による汚濁機構の解析やその修復技術に関する研究を行っている。</p> <p>具体的な内容としては、瀬戸内海の底質汚染および広島湾の汚濁機構の解析や干潟の浄化機能に関する研究である。</p> <p>主な著書や論文は以下の通りである。</p> <p>(著書)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水環境学会編(1999)日本の水環境行政—その歴史と科学的背景. 第 10 章 瀬戸内海の水質保全対策, pp134-148, ぎょうせい, 東京. 2. 水環境学会編(2000)日本の水環境6, 中国・四国編、干潟の生態と機能、pp15-32, 技報堂、東京. 3. M. Okada and S. A. Peterson 編(2000) Water pollution control policy and management : The Japanese experience; Countermeasures against water pollution in the Seto Inland Sea, pp132-146, GYOSEI, Tokyo. <p>(論文)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 清木 徹(1980) 海域の底泥における有機物の分解モデルに関する最近の知見、広島県環境センター研究報告、1, 93-102. 2. 清木 徹、伊達 悦二、井澤 博文(1985) 広島湾におけるセディメント・トラップ捕集物から推定した水中懸濁物の沈降フラックス、水質汚濁研究、8, 304-313. 3. T. Seiki, H. Izawa and E. Date(1989) Benthic nutrient remineralization and oxygen consumption in coastal area of Hiroshima Bay. Water Res., 23, 219-228. 4. 伊達 悦二、清木 徹、井澤 博文、星野 響(1989) 広島湾における炭素、窒素、リンの循環、水質汚濁研究、12, 567-574. 5. 井澤 博文、清木 徹、伊達 悦二(1990) 大口径パイプを用いた簡易不攪乱柱状採泥器の試作、水質汚濁 13, 320-323.

	<p>6. T. Seiki, E. Date and H. Izawa (1991) Eutrophication in Hiroshima Bay. Mar. Pollut. Bull., 23, 95-99.</p> <p>7. T. Seiki, E. Date and H. Izawa (1991) Decomposition characteristics of particulate organic matter in Hiroshima Bay. J. Oceanogr. Soc. Japan, 47, 207-220.</p> <p>8. T. Seiki, H. Izawa, E. Date and H. Sunahara (1994) Sediment oxygen demand in Hiroshima Bay. Water Res., 28,385-393.</p> <p>9. Y. S. Lee, T. Seiki, T. Mukai, K. Takimoto and M. Okada (1996) Limiting Nutrients of phytoplankton community in Hiroshima Bay, Japan. Water Res., 30,1490-1494.</p> <p>10. 李 正奎、西嶋 渉、向井 徹雄、滝本 和人、清木 徹、平岡 喜代典、岡田 光正 (1998)自然および人工干潟の有機物浄化機能の定量化と広島湾の浄化に果たす役割、水環境学会誌, 21, 149-156.</p> <p>11. 清木 徹、平岡 喜代典、李 正奎、西嶋 渉、向井 徹雄、滝本 和人、岡田 光正 (1998)広島湾における干潟の水質浄化機能に関する研究 —有機物の分解特性について— 水環境学会誌、21, 421-428.</p> <p>12. J. G. Lee, W. Nishijima, T. Mukai, K. Takimoto, T. Seiki, K. Hiraoka, and M. Okada (1998) Factors to determine the functions and structures in natural and constructed tidal flats. Water Res., 32, 2601-2606.</p> <p>13. 清木 徹、駒井 幸雄、小山 武信、永渕 修、日野 康良、村上 和仁 (1998) 瀬戸内海における汚濁負荷量と水質の変遷、水環境学会誌、21,780-788.</p> <p>14. 清木 徹、岡田 光正 (1999) 前浜干潟の水質環境浄化能、水環境学会誌、22, 527-532.</p> <p>15. T. Seiki, E. Date, J. G. Lee, W. Nishijima, T. Mukai, K. Takimoto and M. Okada (1999) The significance of tidal flats for environmental preservation, Medcoast99 - EMECS99 joint conference, vol.1, 269-282.</p> <p>16. 清木 徹、伊達 悦二、岡田 光正 (2001) 広島湾における干潟の浄化機能、水産海洋研究、65, 176-179.</p> <p>17. 山本 民次、石田 愛美、清木 徹 (2002) 太田川河川水中のリンおよび窒素濃度の長期変動 —植物プランクトン種の変化を引き起こす主要因として—、水産海洋研究、66, 102-109.</p> <p>(キーワード)水環境工学、生態工学</p>
担当科目	<p>【教養教育】「環境・政策系科目」(41 人)</p> <p>【学部専門】「地球環境論」(33 人), 「汚染化学論」(15 人), 「環境科学総論」(10 人), 「水環境論」(12 人), 「環境分析実験」(5 人)</p> <p>【大学院】「地域自然環境特論」(3 人), 「特別課題研究」(1 人)</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

中国経済産業局 閉鎖性水域の海域別調査(瀬戸内海)検討委員会・検討委員(2006年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

人間環境教育課程	氏名 関友作
----------	--------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1964年12月
学歴・職歴	東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程(1996年)
学位	博士(学術)[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	教育システム情報学会, 日本科学教育学会, テクニカル コミュニケーター協会, 日本認知科学会, 日本教育工学会
専門分野	科学教育 教育工学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	【教養教育】「文明・技術系科目」(81人), 「主題別ゼミナール」(43人) 【学部専門】「情報処理の基礎技術 II」(18人), 「情報編集法」(29人), 「情報の収集と活用」(23人), 「データ解析法」(19人), 「総合演習」(20人), 「卒業研究」(1人) 【大学院】「認知心理学演習」(2人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

関友作, 伊藤孝「地球科学情報の市民への広報に関する事例研究-2: ニュージーランド・ウェリントンにおける活断層・地震情報の広報」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 60, 273-282, 2011.

伊藤孝 西楨強 生見野々花 関友作「巨大床地図観察・現場観察・複数の小型実験器具を用いた地形実験からなる野外観察プログラム」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 61, 21-34, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本教育工学会 日本教育工学会 編集委員会・特任編集委員(2010年03月～)

日本教育工学会 日本教育工学会 研究会委員会・委員(2009年07月～2011年06月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「多様化した大学教育活動の分析と持続可能社会を目指した総合的教育戦略の検討」[科研費]萌芽研究(代表)(2010年04月01日～2012年03月31日)

人間環境教育課程

氏名 曾我 日出夫

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1948 年 5 月
学歴・職歴	大阪大学理学研究科博士課程修了(1979 年) 茨城大学大学教育学部教授(1992 年 04 月～) 茨城大学大学教育研究開発センター長(2002 年 05 月～2005 年 03 月) 茨城大学学長特別補佐(2005 年 04 月～2006 年 03 月) 自然系基礎教育専門部会長(2006 年 04 月～2009 年 03 月)
学位	理学博士[大阪大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	基礎解析学 数理物理・物性基礎
教育研究概要	<p>1. 教育について</p> <p>1979～95 年頃は、教育学部の教員養成部門において、数学教員の養成教育に携わってきた。その後(1996)、非教員養成部門(0 免課程)の発足とともに、その課程の担当に移動し、現在に至っている。移動後は具体的な現象を扱う授業担当が多くなった。</p> <p>1994 年教育学研究科(修士課程)の数学教育専修が発足して以来、その解析学 の指導教授となって現在に至っている。2000 年より、(茨城大学の)理工学研究科の博士後期課程(情報システム科学専攻)にも指導教授として参画している。</p> <p>2001 年以後は、全学の教養教育の運営に携わっており、2001 年はその運営組織(大学教育研究開発センター)の副センター長、2002～04 年にはセンター長(教育学部と兼任)についていた。その間、「質の保証」を目指した教育改革を推進した。特に、2005 年度より、工学部初年次生を対象として、下位グループ引き上げを目指した理系基礎教育の教育改革プロジェクト(大学教育研究開発センターの取り組み)の統括者となり、微積分、物理学等の基礎教育について、新しいやり方を工学部等の教養教育カリキュラムに導入した。</p> <p>2. 研究について</p> <p>全体として偏微分方程式に関係する研究を行っている。特に、具体的な数理物理学の問題を研究しており、その最も主要なものは Lax-Phillips 型の散乱論に関するものである。1980～90 年頃は、波動方程式を対象として、散乱核の情報から散乱物体の情報を得ようという逆問題を研究していた。その中で最も大きな成果は、物体が凸であることの特徴付けなどを行ったことである。その後、弾性方程式に対して Lax-Phillips 型の散乱問題を考え、未整備であった基礎事項をつくるとともに、逆問題において弾性方程式固有の現象があることを明らかにした。この方面の研究は現在も続けており、Raylei 波などの表面波に焦点を</p>

	<p>あてた散乱問題を考察している。最近の結果として、表面波を抽出するような散乱核の表現式を得ている。</p> <p>上記の逆問題との関連で、パラメータをもつ振動積分の分析を行った。これは、いわゆる stationary phase method で扱われる振動積分を、漸近展開を通さずに解析したものであり、これ自身で独立して意味のある結果である。さらに、この逆問題との関係で取り組んだテーマとして、漸近解の構成がある。一般的な弾性方程式に対して、具体的に漸近解を構成したりしている。</p>
	(キーワード) 偏微分方程式、数理物理学、散乱逆問題
担当科目	<p>【教養教育】「文明・技術系科目」(61 人)</p> <p>【学部専門】「保育内容の研究(環境)」(56 人), 「応用線形代数学/最適状態の解析法」(25 人), 「応用解析学 I/環境科学への数学」(21 人), 「科学技術と社会」(18 人), 「生活の中の環境問題」(12 人), 「組織の合意」(22 人), 「総合演習」(6 人), 「環境特別演習 I」(9 人), 「環境特別演習 II」(9 人), 「環境科学総論」(10 人), 「複雑系の適応行動」(27 人), 「卒業研究」(3 人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

茨城県総合計画審議会(2011 年度)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

「弾性波の表示法の開発と基本性質の究明(New Representation of Elastic Waves and Investigation of their Fundamental Properties)」[科研費](代表)(2009 年 04 月 01 日～2012 年 03 月 31 日)

養護教諭養成課程	氏名 瀧澤 利行
----------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1962 年 9 月
学歴・職歴	東京大学教育学研究科博士課程修了(1992 年) 茨城大学教育学部教授(2002 年 04 月～) 日本学術振興会特別研究委員(1990 年 04 月～1992 年 03 月) 茨城大学教育学部助手(1995 年 04 月～1996 年 03 月) 茨城大学教育学部助教授(1996 年 04 月～2002 年 03 月)
学位	博士(医学)[大阪大学]
受賞歴	第 12 回日本医史学会学術奨励賞(2006 年), 日本公衆衛生学会奨励賞(1999 年), 明治生命厚生事業団「健康文化」懸賞論文優秀賞(1994 年)
所属学会	日本医史学会, 日本衛生学会, 日本教育学会, 日本公衆衛生学会, 日本生活指導学会, 日本学校保健学会, 日本健康教育学会, 日本在宅ケア学会, 日本教育保健学会, 日本高齢者虐待防止学会
専門分野	健康教育学 健康思想史 健康文化論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	【教養教育】 「コミュニケーション論」(267 人) 【学部専門】 「小児・思春期保健学」(44 人), 「衛生学」(38 人), 「公衆衛生学」(36 人), 「保健福祉論」(32 人), 「保健学演習」(35 人), 「学校保健概論」(40 人), 「精神保健」(37 人), 「健康文化論」(17 人), 「卒業研究」(8 人) 【大学院】 「養護学総合研究」(4 人), 「教育保健経営特論」(5 人), 「教育保健経営演習」(3 人), 「人間システム基礎論 II」(8 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

日本生活指導学会 会計監査(2010 年 09 月～) 日本高齢者虐待防止学会 監事(2008 年 07 月～)

日本衛生学会 倫理委員会委員(2008年04月～)
日本学校保健学会 常任理事(2007年11月～)
日本在宅ケア学会 倫理委員長(2007年03月～)
日本教育保健学会 常任理事(2002年03月～)
日本在宅ケア学会 理事(2001年03月～)
日本衛生学会 評議員(2000年03月～)
日本医史学会 評議員(1999年05月～)
日本学校保健学会 理事(1998年11月～)
日本医史学会 編集委員(1998年05月～)
日本健康教育学会 評議員(1996年06月～)

[兼業]放送大学[客員教授](2004年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

養護教諭養成課程	氏名 竹下 誠一郎
----------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年7月
学歴・職歴	埼玉医科大学(医学博士)博士課程修了(1996年) 茨城大学教育学部教授(2005年04月～) 防衛医科大学校病院小児科講師(1998年10月～2003年03月) 防衛医科大学校病院小児科助手(1991年08月～1998年09月) 静岡県立大学短大部第一看護学科教授(2003年04月～2005年03月)
学位	医学博士[埼玉医科大学]
受賞歴	日本川崎病研究会「第1回川崎賞」受賞(2000年)
所属学会	日本小児科学会、日本感染症学会、日本小児循環器病学会、日本川崎病研究会、日本学校保健学会、日本小児保健学会
専門分野	小児科学、感染症学、循環器病学、学校保健学、小児保健学
教育研究概要	(キーワード)小児の生活習慣病、慢性疾患の管理、学校保健、川崎病、感染症
担当科目	【学部専門】「救急処置法/運動障害救急法」(54人),「精神医学」(34人),「臨床医学概論」(51人),「内科系臨床医学・看護学」(40人),「外科系臨床医学・看護学」(40人),「母性・小児系臨床医学・看護学」(35人),「感覚器系臨床医学・看護学」(35人),「臨床医学・看護学臨床実習」(35人),「卒業研究」(7人) 【大学院】「養護学総合研究」(4人),「教育保健医学特論」(4人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

加藤沙織・竹下誠一郎「大学生の摂食障害傾向に関する研究—特に性差について—」, 茨城大学教育学部紀要, 60, 119-130, 2011.

Kanai T, Ishiwata T, Kobayashi T, Sato H, Takizawa M, Kawamura Y, Tsujimoto H, Nakatani K, Ishibashi N, Nishiyama M, Hatai Y, Asano Y, Kobayashi T, Takeshita S, Nonoyama S., "Ulinastatin, a urinary trypsin inhibitor, for the initial treatment of patients with kawasaki disease: a retrospective study.", Circulation, 124, 25, 2822-2828, 2011.

小泉なつ希、竹下誠一郎「女子大生の婦人科疾患に対する意識調査」, 茨城大学教育学部紀要, , 61, 43-50, 2012.

熊谷仁美、竹下誠一郎、宮川八平、石原研治「アレルギー疾患に対する養護教諭の保健指導の実態調査—他の職種との連携及び学校生活管理表の活用の実態について—」, 茨城大学教育学部紀要, , 61, 387-396, 2012.

熊谷仁美、竹下誠一郎、宮川八平、石原研治「アレルギー疾患に対する養護教諭の保健指導の実態調査—

主に保健指導に関する相談・困難について」, 茨城大学教育学部紀要, , 61, 377-385, 2012.

熊谷仁美、竹下誠一郎、宮川八平、石原研治「アトピー性皮膚炎の子どもへの対応について」, 茨城大学教育学部紀要第, , 61, 367-376, 2012.

竹下誠一郎、金井貴志、川村陽一「川崎病の本態にせまるー古くて新しい研究からー .病態にせまる(研究成果から本態にせまる) 顆粒球から」, 小児科診療, 74, 1103-1107, 2011.

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

[非常勤講師]埼玉県立大学[非常勤講師(小児科学概論)](2007年10月～)

[その他]日立製作所水戸総合病院[非常勤医師(小児科)](2005年07月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 田代 尚弘
------------------	----------

教員履歴など

現 職	副学長
生年月	1947 年 1 月
学歴・職歴	広島大学教育学研究科博士課程単位取得満期退学(1975 年)
学位	教育学博士[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	教育思想史学会, 日本教育学会, 教育哲学会, ディルタイ学会
専門分野	教育学
教育研究概要	(キーワード)ドイツの教育思想史研究、教育哲学
担当科目	【学部専門】「道徳と価値の教育」(86 人), 「道徳と価値の教育」(219 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

「ナチズム期の教育と戦争責任」(共同研究): (2004 年～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

人間環境教育課程	氏名 巽 申直
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1948 年 12 月
学歴・職歴	東京教育大学大学院体育学研究科修士課程(1973 年) 茨城大学教養部講師に採用(1973 年 04 月～) 茨城大学教養部助教授に昇任(1980 年 04 月～) 茨城大学教養部教授に昇任(1987 年 04 月～) 茨城大学教育学部教授(1996 年 04 月～)
学位	体育学修士
受賞歴	日本武道学会賞(1988 年)
所属学会	日本体力医学会, 日本武道学会
専門分野	体育学
教育研究概要	(キーワード)身体教育学、武道論、剣道
担当科目	【教養教育】「身体活動」(23 人), 「身体活動」(24 人), 「身体活動」(23 人) 【学部専門】「体育科教育法研究」(63 人), 「剣道指導法/剣道」(27 人), 「コーチング論」 (81 人), 「武道方法論」(48 人), 「剣道/剣道指導法」(30 人), 「卒業研究」(3 人) 【大学院】「体育科学総合研究」(6 人), 「保健体育授業設計」(6 人), 「運動方法学特論」 (6 人), 「運動方法学演習」(1 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

渡邊由陽、巽申直、竹森重「夏季剣道稽古における暑熱障害の危険を生命兆候から簡便に推測できないか?」, 武道学研究, 4, , -12, 2011.

巽申直、富樫泰一、林雅弘、岩瀬学、岡嶋恒「剣道正面打ちにおける手のうちの作用力:基本打ちと実践的な打ちの比較」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 第 60, 199-206, 2011.

研究業績(2)学会発表など

渡邊由陽、竹森重、巽申直, 「加速度計を用いた剣道打撃の手の内作用の動作解析」(第 66 回日本体力医学会・2011 年 09 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本武道学会 剣道専門分科会会長(2009 年 04 月～)

水戸市教育事務評価専門委員(2011 年度)

評議員選定委員会委員(2011 年度)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 田中 健次
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1954 年 3 月
学歴・職歴	国立音楽大学音楽研究科修士課程修了(1980 年) 茨城大学教育学部教授(2002 年 10 月～) 佐賀大学文化教育学教授 (2003 年より茨城大学併任)(1996 年 10 月～2003 年 03 月) カシオ計算機株式会社営業開発本部電子楽器企画部(1980 年 04 月～1982 年 03 月) 日本ハモンドオルガン株式会社 音楽教育プログラム企画(契約)(1983 年 04 月～1988 年 03 月) 株式会社サウンドスタッフプロデューサー(1985 年 04 月～1995 年 03 月) 佐賀大学教育学部助教授(1995 年 04 月～1996 年 09 月)
学位	博士(文学)[大阪大学大学院 文学研究科]
受賞歴	なし
所属学会	日本電子音楽産業協会, 国際コンピュータ ミュージック学会(International Society of Computer Music), 国際音楽教育学会(International society of Music Education)(ISME), 東洋音楽学会, 日本音楽学会, 日本音楽教育学会
専門分野	音楽教育学 伝承文化研究
教育研究概要	音楽教育、音楽産業、日本の音楽文化 (キーワード)
担当科目	【教養教育】 「コミュニケーション論」(267 人), 「主題別ゼミナール」(15 人) 【学部専門】 「初等音楽科教育法研究」(58 人), 「初等音楽科教育法研究」(45 人), 「初等音楽科教育法研究」(37 人), 「初等音楽科教育法研究」(50 人), 「保育内容の研究(表現)」(35 人), 「音楽科教育法研究 I」(15 人), 「音楽科教育法研究 II」(13 人), 「茨城の芸術・芸能」(37 人) 【大学院】 「音楽教育授業設計」(2 人), 「音楽科教育研究法」(2 人), 「音楽科教育学特論 I」(2 人), 「特別課題研究」(1 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

田中健次「音楽教育における ICT の活用と教科書の行方」, 日本音楽教育学会『音楽教育実践ジャーナル』 pp.75-82, 9, 2, 75-82, 2012.

田中健次「特集 ICT の活用 -ICT が音楽教育にもたらすもの」, 季刊『音楽鑑賞教育』, 8, 56-59, 2012.

田中健次「再考:「歌」のもつ力、そしてその歌をうたいつぐために」, 鳥取県わらべ館研究誌『音夢』, 6, 2-14, 2012.

田中健次、八木正一「クイズ教材でたのしく日本音楽の授業」, 学事出版, 10-126, 2011.

研究業績(2)学会発表など

〈司会・議長・コンビーナ・コーディネータ〉財団法人音楽文化創造主催「FORUM in 国際音楽の日」(「シンポジウムCー生涯音楽学習活動の発展をめざして」)(2011年10月)

〈基調講演〉音楽教育推進協議会主催「平成23年度・前期音楽科特別講座 東京会場」(全体講話『音楽の授業がめざすもの』)(2011年08月)

茨城県音楽教育研究会県東ブロック「平成23年度夏講座」(講師「音楽科の授業づくり」)(2011年08月)

〈基調講演〉音楽教育推進協議会主催「平成23年度・前期音楽科特別講座 名古屋会場」(講演、基調提言「明日の音楽授業を考える」)(2011年08月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動**社会的活動、地域貢献など**

「音と癒しに関する研究動向の調査」(受託研究):国土交通省・八千代エンジニアリング株式会社(不明年～)

「音楽科教育に有効性をもたらすコンピュータスペックの開発」():ローランド音楽財団(不明年～)

「筑後川流域における「音文化」の基礎研究」(受託研究): (不明年～)

早稲田大学エクステンションセンター オープンカレッジ講師(2012年01月～2012年02月)

早稲田大学エクステンションセンター オープンカレッジ講師(2011年07月～2011年08月)

[兼業]早稲田大学エクステンションセンター[オープンカレッジ講師](2012年01月～2012年02月)

[非常勤講師]早稲田大学エクステンションセンター[オープンカレッジ講師](2011年07月～2011年08月)

[その他]琉球大学教育学部[平成22年度「授業力向上プログラムGP-21世紀おきなわ子ども教育フォーラム」外部評価委員](2010年05月～2012年03月)

[兼業]放送大学[非常勤講師](2007年04月～)

[非常勤講師]放送大学[大学院特別講師](2006年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

タイ バンコク・チュラロンコン大学教育学部・教育学部附属学校[調査・ヒアリング](2011年7月:5日間)

中国 杭州・浙江文化芸術研究院[学会打合せ](2012年3月:2日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 谷川 佳幸
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1964 年 8 月
学歴・職歴	東京芸術大学音楽研究科修士課程修了(1995 年 03 月)
学位	修士[東京芸術大学]
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	芸術音楽、声楽
教育研究概要	(キーワード)オペラ、声楽
担当科目	<p>【教養教育】「人間と文学・芸術」(75 人), 「コミュニケーション論」(267 人), 「人間・文化系科目」(95 人), 「主題別ゼミナール」(15 人)</p> <p>【学部専門】「初等音楽科内容研究」(46 人), 「独唱」(9 人), 「独唱」(8 人), 「独唱」(9 人), 「独唱」(9 人), 「独唱」(3 人), 「独唱」(2 人), 「合唱」(11 人), 「ソルフェージュ I」(15 人), 「卒業研究」(8 人)</p> <p>【大学院】「音楽教育授業設計」(2 人), 「声楽研究」(5 人), 「声楽演習」(4 人), 「特別課題研究」(1 人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

<>ヴェルディ 歌劇「仮面舞踏会」(2011 年 10 月)
<>ハイドン 「テレジアミサ」(2011 年 10 月)
<>ヴェルディ 歌劇「リゴレット」(2011 年 09 月)
<>茨城オペラ協会ガラコンサート(2011 年 09 月)
<>Amour2000 第 67 回サロンコンサート(2011 年 09 月)
<>第3回絵のあるコンサート(2011 年 09 月)
<>ベルカントオペラへの誘い(2011 年 09 月)
<>平井秀明 歌劇「小町百年の恋」(2011 年 08 月)
<>江戸川区ゆかりの音楽家によるチャリティーコンサート(2011 年 06 月)
<>谷川佳幸コンサート in 町田 2011(2011 年 06 月)

<芸術活動・建築作品等>ドニゼッティ 歌劇「ランメルモールのルチア」(2011 年 06 月)

<芸術活動・建築作品等>声とピアノのアンサンブル(リサイタル)(2011 年 05 月)

<>プッチーニ 歌劇「ラ・ボエーム」(2011 年 05 月)

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 寺本 輝正
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1949 年 8 月
学歴・職歴	東京芸術大学美術研究科修士課程修了(1979 年)
学位	芸術学修士
受賞歴	水戸芸術館現代美術センターディレクター賞(1997 年), 板谷波山賞(1989 年), 茨城工芸会賞(1989 年)
所属学会	茨城工芸会, 世界漆文化会議, 日本文化財漆協会, 大学美術教育学会
専門分野	美術教育
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>【教養教育】「文明・技術系科目」(19 人), 「主題別ゼミナール」(17 人)</p> <p>【学部専門】「美術教育授業研究 I」(12 人), 「美術教育授業研究 II」(14 人), 「工芸基礎/デザイン素材研究」(43 人), 「工芸 I/生活用品デザイン演習 I」(33 人), 「工芸 II/生活用品デザイン演習 II」(31 人), 「工芸表現演習 I」(4 人), 「工芸表現演習 II」(2 人), 「日本美術実地研究」(10 人), 「生活資源プロジェクト I」(53 人), 「生活資源プロジェクト II」(51 人), 「ベーシックデザイン」(48 人), 「古美術実地研究」(7 人), 「卒業研究」(6 人)</p> <p>【大学院】「美術文化総合研究」(7 人), 「美術教育授業設計」(7 人), 「木材工芸研究」(3 人), 「木材工芸演習」(2 人), 「工芸・デザイン研究」(3 人), 「工芸・デザイン演習」(2 人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

人間環境教育課程	氏名 富樫 泰一
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1957年4月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程修了(1983年) 茨城大学教育学部教授(2003年01月～) 茨城大学教育学部助教授(1996年04月～2002年12月) 学校法人清真学園高等学校非常勤講師(1983年04月～1984年03月) 筑波大学研究協力部研究協力課(体育科学系担当)(1985年04月～1988年03月) 茨城大学教養部講師(1988年04月～1989年03月) 茨城大学教養部助教授(1989年04月～1996年03月)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本バイオメカニクス学会, 日本体育学会
専門分野	スポーツ科学 応用健康科学
教育研究概要	教育活動(スポーツ医学外科領域、バイオメカニクス、健康スポーツ科目、水泳、スキー、水辺野外運動) 研究活動(水泳・水中運動の流体力学的研究) (キーワード)
担当科目	【教養教育】「身体活動」(16人), 「身体活動」(48人), 「身体活動」(41人) 【学部専門】「体育科教育法研究」(40人), 「保育内容の研究(健康)」(49人), 「現代人の健康」(51人), 「水泳/アクアフィットネス/水泳指導法」(75人), 「野外運動」(15人), 「スキー」(41人), 「スポーツ医学」(45人), 「救急処置法/運動障害救急法」(54人), 「基礎情報処理/情報通信ネットワーク演習/基礎情報処理」(56人), 「野外運動指導法」(8人), 「卒業研究」(3人) 【大学院】「体育科学総合研究」(6人), 「保健体育授業設計」(6人), 「バイオメカニクス特論」(6人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

巽 申直, 富樫 泰一, 林 雅宏, 岩瀬 学, 岡嶋 恒「剣道正面打ちにおける手のうちの作用力: 基本打ちと実践的な打ちの比較」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 60, 199-206, 2011.

研究業績(2)学会発表など

<招待講演> 茨城県スポーツ指導者研修会(応急処置(RICE・テーピング実習含む))(2012年02月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

<その他>財団法人全日本スキー連盟スキーパトロール技術競技大会(北海道・ルスツリゾート)(2012 年 03 月)

社会的活動、地域貢献など

[出前授業]スポーツ医学ー足関節捻挫の発生機序とその予防ー, 茨城県立境高等学校(2011 年度実施)
[非常勤講師]筑波大学大学院人間総合科学研究科[非常勤講師(専門科目・水中安全管理実習)](2007 年 10 月～2013 年 03 月)
[兼業]了徳寺大学教養教育センター[非常勤講師(体育実技・水泳)](2007 年 04 月～2013 年 03 月)
[非常勤講師]駿河台大学スポーツ教育センター[非常勤講師(健康スポーツ科目)](2005 年 04 月～2013 年 03 月)
[非常勤講師]筑波大学体育専門学郡[非常勤講師(専門基礎科目・水泳実習(臨海))](1988 年 04 月～2012 年 07 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「携帯端末を活用した水泳学習支援システム(iSwim)の開発」[科研費](代表)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 東條 吉邦
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1951 年 5 月
学歴・職歴	東京教育大学大学院教育学研究科修士課程修了(1978 年) 国立特殊教育総合研究所分室研究員(1979 年 10 月～1992 年 09 月) 国立特殊教育総合研究所分室主任研究官(1992 年 10 月～1999 年 03 月) 国立特殊教育総合研究所分室長(1999 年 04 月～2004 年 03 月) 茨城大学教育学部教授(2004 年 04 月～) 放送大学客員教授(2006 年 04 月～2011 年 03 月)
学位	博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本心理学会, 日本発達心理学会, 日本自閉症スペクトラム学会, 日本特殊教育学会, 日本臨床発達心理士会, 日本生理心理学会, 日本教育心理学会
専門分野	特別支援教育 実験心理学 臨床心理学 教育心理学
教育研究概要	教育活動としては、教育学部学校教員養成課程の特別支援教育コース、養護学校教育コース、特別支援教育特別専攻科、大学院教育学研究科障害児教育専攻にかかわる心理学の分野の教員として、「障害児発達臨床学」、「発達障害児教育概論」、「障害児心理療法」、「障害児心理学研究法」、「障害児心理演習」、「障害児心理学特論」、「障害児心理学演習」等を担当し、これらのコース・専攻の学生・院生の論文指導にあたっている。研究活動としては、発達心理学・臨床心理学・認知神経科学を中心に、生物－心理－社会の統合的アプローチから、自閉症スペクトラムの探究に取り組むとともに、特別支援教育の在り方・内容・方法について研究している。具体的には、1) 自閉症スペクトラムにおける感覚・感情・表情認知などに関する研究、2) 心の理論(他者の考えを推測する能力)に関する研究、3) アセスメント技法の開発、4) コミュニケーション支援、5) 社会性の発達(特に対人関係と自己統制力の発達と育成)、6) 大脳の左右半球機能差の研究などを展開している。 (キーワード) 自閉症スペクトラム、発達障害、臨床発達心理学、認知神経科学、生物－心理－社会アプローチ、大脳の左右半球機能差、社会性の発達、心の理論
担当科目	【教養教育】「人間と心」(77 人), 「コミュニケーション論」(267 人) 【学部専門】「障害児心理学演習 II」(4 人), 「感覚障害児の教育」(40 人), 「発達障害児教育概論」(29 人), 「卒業研究」(2 人) 【大学院】「障害学総合研究」(5 人), 「障害児心理学特論 II(障害児臨床心理学)」(10 人), 「障害児心理学演習 II」(11 人), 「特別課題研究」(1 人) 【専攻科】「障害児心理演習 II」(2 人), 「障害児発達臨床学」(19 人), 「発達障害児教育概

論」(19人),「障害学総合研究」(6人),「障害児心理学特別研究Ⅱ」(3人),「障害児心理演習Ⅱ」(2人),「障害児発達臨床学」(19人),「発達障害児教育概論」(19人),「障害学総合研究」(6人),「障害児心理学特別研究Ⅱ」(3人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

Usui, S., Senju, A., Kikuchi, Y., Akechi, H., Tojo, Y., Osanai, H., & Hasegawa, T., "Induction of Contagious Yawning In Children with ASD with Gaze-Contingent Stimulus Display." (10th International Meeting for Autism Research, 2011年05月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本自閉症スペクトラム学会 編集委員長(2002年03月～)

日本自閉症スペクトラム学会 常任理事(2006年04月～)

日本臨床発達心理士会 茨城支部長(2006年05月～)

日本特殊教育学会 編集委員(2001年02月～)

[非常勤講師]放送大学[非常勤講師](2009年08月～2011年09月)

[兼業]水戸市教育委員会[水戸市障害児就学指導委員](2006年04月～2012年03月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「自閉症児に不安を与えない支援のあり方の検討」[科研費](代表)(2011年04月01日～2015年03月31日)

「自閉症児の音声受容特性に関する基礎研究-会話スキルの向上を目指して」[科研費](分担)(2009年04月01日～2013年03月31日)

「特別支援教育における脳科学の活用に関する総合的研究」[科研費](分担)(2008年04月01日～2012年03月31日)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 永尾 敬一
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1973 年 9 月
学歴・職歴	<p>東京大学総合文化研究科博士課程修了(2002 年)</p> <p>茨城大学 教育学部 理科教育教室 准教授(2007 年 04 月～)</p> <p>高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 協力研究員(2002 年 04 月～2003 年 01 月)</p> <p>高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 研究機関研究員(2003 年 01 月～2005 年 03 月)</p> <p>茨城大学 教育学部 理科教育教室 助教授(2005 年 04 月～2007 年 03 月)</p>
学位	学術博士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本物理学会
専門分野	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>【教養教育】「コミュニケーション論」(267 人)</p> <p>【学部専門】「初等理科内容研究」(26 人), 「基礎物理学」(38 人), 「電磁気学」(13 人), 「物理学演習 I」(6 人), 「物理学演習 B」(2 人), 「卒業研究」(2 人)</p> <p>【大学院】「自然科学総合研究」(4 人), 「理科授業設計」(3 人), 「物理学特論」(1 人)</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Keiichi Nagao, Holger Bech Nielsen, "Formulation of Complex Action Theory", Progress of Theoretical Physics, 126, 6, 1021-1049, 2011.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

デンマーク コペンハーゲン・ニールスボーア研究所[研究打合せ、情報収集](2011 年 8 月～9 月:32 日間)

デンマーク コペンハーゲン・ニール・スポーア研究所[研究打ち合わせ](2012 年 1 月～2 月:31 日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 中野 雅紀
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1963 年 5 月
学歴・職歴	中央大学法学研究科博士課程(1997 年)
学位	法学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本比較法研究所, 憲法裁判研究会, ドイツ憲法判例研究会, 憲法理論研究会, 日本公法学会
専門分野	日本国憲法
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	【教養教育】「社会と法」(3 人) 【学部専門】「憲法と社会生活」(1 人), 「法学概論」(48 人), 「情報社会及び情報倫理/情報と倫理」(86 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

情報文化課程	氏名 中村 直美
--------	----------

教員履歴など

現 職	講 師
生年月	1948 年 1 月
学歴・職歴	東北大学理学研究科博士課程中退(1974 年) 茨城大学教育学部講師(1999 年 04 月～) 茨城大学教育学部教務職員(1975 年 01 月～1999 年 03 月)
学位	理学博士[東北大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育工学会, 日本科学教育学会, 種生物学会, 日本植物分類学会, 日本植物学会
専門分野	科学教育 教育工学 植物分類
教育研究概要	(キーワード)茨城県のフロラ、生物教育、教科書の中の生物、デジタル検索、植物関連ソフト
担当科目	【教養教育】「情報処理概論」(61 人), 「コミュニケーション論」(64 人), 「主題別ゼミナール」(62 人) 【学部専門】「保育内容の研究(環境)」(56 人), 「プログラミング入門」(36 人), 「データベース演習」(23 人), 「課題図書講読 I」(88 人), 「課題図書講読 II」(83 人), 「課題図書講読 III」(17 人), 「生活資源プロジェクト I」(53 人), 「生活資源プロジェクト II」(51 人), 「ウェブ制作(中級)」(18 人), 「子どもと自然」(58 人), 「折り紙から考える生物」(31 人), 「卒業研究」(1 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

中村直美「自然学習のための植物カードゲーム利用」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, , 60, p.191-198, 2011.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

茨城県自然環境保全審議会(2011 年度)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 竝木 崇康
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1950 年 1 月
学歴・職歴	東京教育大学大学院文学研究科博士課程中退(1976 年 03 月) 教育学部教授 大学院教育学研究科教授(1995 年 04 月～) 教育学部助教授(1984 年 10 月～1995 年 03 月) 教育学部助手(1976 年 04 月～1978 年 03 月) 教育学部講師(1978 年 04 月～1984 年 09 月) フルブライト若手研究員として、アメリカのマサチューセッツ州立大学アマースト校に出張、言語学特に英語形態論の研究に従事(1982 年 08 月～1983 年 08 月) 大学院教育学研究科助教授(1990 年 04 月～1995 年 03 月) 文部省在外研究員としてアメリカのマサチューセッツ州立大学アマースト校に出張、言語学特に英語と日本語の形態論の研究に従事(1997 年 03 月～1998 年 01 月)
学位	文学修士[東京教育大学大学院]
受賞歴	茨城大学平成 20 年度推奨授業により学長表彰(Ibaraki University) (2009 年 06 月 10 日)
所属学会	大塚英文学会, The Linguistic Society of America, 日本英語学会, Morphology and Lexicon Forum
専門分野	形態論 語彙 日本語学 語形成 英語学
教育研究概要	(キーワード) 語形成、形態論、語彙論、複合語、語の構造、複合語の意味解釈
担当科目	【教養教育】「総合英語(学術)」(40 人), 「主題別ゼミナール」(9 人) 【学部専門】「英語学概論 I」(24 人), 「英語学概論 II」(27 人), 「英文法」(10 人), 「英語学演習 I」(15 人), 「英語学演習 II」(7 人), 「卒業研究」(1 人) 【大学院】「言語と文化総合研究」(2 人), 「英語科授業設計」(1 人), 「英語学特論 I(生成文法理論研究)」(1 人), 「英語学演習 I」(1 人), 「特別課題研究」(1 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

猪井新一、竝木崇康、齋藤英敏「日本語を活用した小学校外国語活動教員研修」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 60, 97-109, 2011.

研究業績(2) 学会発表など

竝木 崇康, 「複合名詞の主要部における意味の稀薄化」(国立国語研究所研究発表会・2012 年 02 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本英語学会 日本英語学会評議員(1990 年 11 月～)

「自然言語処理の高度化に向けて」(共同研究): (不明年～)

千葉大学人文学部 非常勤講師(2011 年 09 月)

[非常勤講師]千葉大学人文学部[非常勤講師](2011 年 09 月)

[非常勤講師]茨城キリスト教大学[非常勤講師](1998 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 西川 陽子
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1969 年 4 月
学歴・職歴	お茶の水女子大学人間文化研究科博士課程修了(1998 年) 茨城大学 教育学部 家政教育 助教授(2002 年 04 月～) お茶の水女子大学大学院人間環境学 助手(1998 年 04 月～2001 年 03 月) ー southwest ンリサーブ大学, Dr.Monnier 研究室(アメリカ合衆国,オハイオ州, クーブラント) 博士研究員(2001 年 04 月～2002 年 03 月)
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
受賞歴	(2001 年)
所属学会	社)日本農芸化学会, 日本ビタミン学会, (社)日本家政学会, 日本調理科学会
専門分野	食品科学 科学教育 食生活学
教育研究概要	<ul style="list-style-type: none"> ・アスコルビン酸の in vitro における分解反応機構の解明 ・生体内メイラード反応におけるアスコルビン酸の作用機序の解明 ・糖尿病時におけるアスコルビン酸の代謝について ・食習慣が及ぼす健康への影響と食教育のあり方 (キーワード)アスコルビン酸, 食品化学, 食教育
担当科目	【学部専門】 「中等家庭科内容研究」(19 人), 「食生活と健康」(35 人), 「初等家庭科内容研究」(75 人), 「栄養学」(73 人), 「食物科学」(23 人), 「食品衛生管理学」(11 人), 「食生活論」(9 人), 「食物学演習」(4 人), 「卒業研究」(4 人) 【大学院】 「食物学特論」(4 人), 「食物学演習」(2 人), 「特別課題研究」(1 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

西川陽子・栗林愛美・会澤里佳「食文化教育教材としての伝統的保存加工食品の検討」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 61, 197-205, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

「・流通及び保蔵中における食品中ビタミンCの動態に関する研究」(): 独立行政法人 食品総合研究所(不明年～)

[非常勤講師]茨城キリスト教大学[講師](2007 年 04 月～)

[その他]茨城キリスト教大学[倫理審査委員会委員](2006年07月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

人間環境教育課程	氏名 沼澤 篤
----------	---------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1951 年 10 月
学歴・職歴	
学位	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 根本 博
------------------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1950 年 10 月
学歴・職歴	筑波大学大学院教育学研究科博士後期課程修了(1981 年 03 月) 文部科学省(旧文部省)(1991 年 04 月～2006 年 03 月)
学位	教育学修士[東京教育大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	科学教育学会, 日本数学教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	<p>確固たる知力の育成に数学教育が果たすべき役割 —数学教育の社会的考察の試み—</p> <p>現今の社会における子どもたちの数学学習の状況と変化を見定め、未来社会に生きる子どもたちの知力を確かなものとする数学教育の在り方について述べている。</p> <p>(キーワード) 数学教育学 数学科教育課程論 認知科学</p>
担当科目	【学部専門】「総合演習」(6 人), 「算数科教育法研究」(75 人), 「算数科教育法研究」(69 人), 「算数科教育法特講 II」(28 人), 「数学科教育法研究 I」(41 人), 「数学科教育法研究 II」(33 人), 「数学科教育法演習 I」(30 人), 「卒業研究」(4 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

情報文化課程	氏名 野崎 英明
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年7月
学歴・職歴	東北大学工学研究科修士課程修了(1985年)
学位	博士(工学)[茨城大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本鉄鋼協会, 日本産業技術教育学会, 日本金属学会, 日本機械学会
専門分野	教科教育学 機械材料・材料力学
教育研究概要	(1) 不均質材料のマクロメカニクス 複合材料のフィラーや金属中の析出物等の不均質物の形状が周辺の応力分布, および材料の全体特性に及ぼす影響について理論的・数値的に解析する。 (2) 中学校技術科教材に関する研究 (キーワード)
担当科目	【教養教育】「情報処理概論」(57人), 「主題別ゼミナール」(18人) 【学部専門】「技術科指導法(金属加工実習)/金属加工の基礎技術」(25人), 「製図 II」(18人), 「基礎金属加工」(18人), 「金属加工の応用技術」(19人), 「金属加工学」(15人), 「金属加工演習」(3人), 「情報技術の基礎」(8人), 「構造力学」(36人), 「卒業研究」(4人) 【大学院】「技術と生活総合研究」(2人), 「技術科授業設計」(3人), 「金属工学特論」(3人), 「特別課題研究」(6人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

野崎英明, 本橋諭, 上野耕史, 竹野英敏「「はりの曲げ」を理解するための教材の開発」, 日本産業技術教育学会誌, 53, 4, 255-262, 2011.

野崎英明, 上野耕史, 竹野英敏「有限要素法を使用した中学校技術科設計学習の提案」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 61, 147-153, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

滝田優, 中山大地, 神田隼人, 野崎英明, 「中学校技術科における熱可塑性プラスチックの成形学習に関する研究」(日本産業技術教育学会第23回関東支部大会・2011年12月)

竹内優平, 野崎英明, 「中学校技術科における丈夫な構造の学習法に関する研究」(日本産業技術教育学会第23回関東支部大会・2011年12月)

朝香駿治, 田口雄一, 野崎英明, 「中学校技術科ものづくり学習における有限要素法の利用に関する基礎的研究」(日本産業技術教育学会第23回関東支部大会・2011年12月)

久郷英典, 野崎英明, 友田陽, 「直交異方性母相中の不均質物の応力解析のための数値的な等価介在物法の開発」(日本機械学会第 19 回茨城講演会・2011 年 08 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本鉄鋼協会 計算工学による組織と特性予測技術研究会・委員(2006 年 05 月～)

[自治体での社会教育]平成 23 年度茨城県教育研究連盟助言者(2011 年度実施)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]茨城大学教育学部附属中学校平成 23 年度公開授業研究会共同研究者, 茨城大学教育学部附属中学校(2011 年度実施)

独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校 非常勤講師(2011 年 04 月～2012 年 03 月)

東京書籍株式会社 教科書編集委員(2011 年 04 月～2012 年 03 月)

[非常勤講師]独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校[非常勤講師](2011 年 04 月～2012 年 03 月)

[兼業]東京書籍株式会社[教科書編集委員](2011 年 04 月～2012 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「ものづくり学習担当教員養成プログラムの開発」[科研費](代表)(2011 年 04 月 01 日～2013 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 橋浦 洋志
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1949 年 11 月
学歴・職歴	東北大学文学研究科修士課程修了(1976 年)
学位	修士(文学)[東北大学]
受賞歴	平成 13 年度茨城大学推奨授業表彰学長賞(2001 年), 第8回日本詩人クラブ新人賞(1998 年)(日本詩人クラブ)(1998 年 03 月), 茨城文学賞(詩部門)(茨城県芸術祭実行委員会)(1988 年 03 月)
所属学会	日本近代文学会、日本文芸研究会、茨城国語教育学会
専門分野	日本近代文学
教育研究概要	近代日本文学研究 特に「北村透谷」「夏目漱石」「芥川龍之介」を中心に、方法の問題と詩精神との関わりについて考察すると同時に、近現代詩についての批評活動を行う。 (キーワード)小説及び詩の方法の問題を作品構造の分析を中心に考察する。
担当科目	【教養教育】「コミュニケーション論」(267 人), 「主題別ゼミナール」(28 人) 【学部専門】「保育内容の研究(言葉)」(59 人), 「初等国語科内容研究」(73 人), 「初等国語科内容研究」(64 人), 「国文学史」(51 人), 「近・現代散文研究 I」(39 人), 「近・現代韻文演習 I」(46 人), 「近・現代韻文演習 II」(45 人), 「児童文学研究法 I」(54 人), 「現代文化批評」(13 人), 「教職のためのパブリックスピーキング」(32 人), 「卒業研究」(11 人) 【大学院】「地域教育資源フィールドスタディ」(47 人), 「授業展開ケーススタディ」(45 人), 「教科コラボレートケーススタディ」(5 人), 「言語文化総合研究」(11 人), 「国語教育授業設計」(7 人), 「近代文学特論」(7 人), 「現代文学研究 II(詩歌)」(7 人), 「特別課題研究」(4 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「ヘルマン・ヘッセ「少年の日の思い出」考 ―「チョウ」と「塔の時間」―, 茨城の国語教育, , 第十二号, 58-68, 2012.

「朔太郎の「連用中止法」と「ああ」との関係について ―『月に吠える』における詩空間の問題―, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術),61, 1-13, 2012.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本詩人クラブ評論部門(詩界賞)選考委員、茨城文学賞(詩部門)選考委員、茨城詩壇選者(茨城新聞、隔週担当)、〈招待講演〉大東文化大学日本文学科(詩の在処ー〈私〉を超えてー)(2011年06月)、〈招待講演〉日本詩人クラブ茨城大会(2011年05月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

モバイル端末とホームページを活用した「野外観察データ共有システム」の開発

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 早川 唯弘
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	名誉教授
生年月	1944 年 10 月
学歴・職歴	東京教育大学大学院理学研究科博士課程(1974 年)
学位	理学博士
受賞歴	なし
所属学会	日本火山学会, 日本地形学連合, 日本第四紀学会, 日本地理学会, 茨城地理学会
専門分野	自然地理学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	【学部専門】「基礎地理」(19 人), 「地理学研究法」(24 人), 「自然地理学演習」(2 人), 「卒業研究」(2 人) 【大学院】「地誌学演習」(3 人), 「自然地理学特論」(2 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

茨城地理学会 茨城地理学会会長(2006 年 04 月～)

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

情報文化課程	氏名 林 延哉
--------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1961 年 11 月
学歴・職歴	早稲田大学文学研究科修士課程修了(1987 年)
学位	修士(文学)
受賞歴	なし
所属学会	日本リハビリテーション工学協会, 日本教育心理学会, 日本社会臨床学会, 日本発達心理学会, 日本理科教育学会
専門分野	社会福祉 社会臨床論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>【教養教育】「情報処理概論」(61 人), 「コミュニケーション論」(64 人), 「主題別ゼミナール」(62 人)</p> <p>【学部専門】「社会臨床演習 II-a」(1 人), 「社会臨床演習 II-b」(1 人), 「統計の初歩」(34 人), 「課題図書講読 I」(88 人), 「課題図書講読 II」(83 人), 「課題図書講読 III」(17 人), 「情報文化広報プロジェクト I」(24 人), 「情報文化広報プロジェクト II」(23 人), 「映像工房プロジェクト I」(42 人), 「映像工房プロジェクト II」(40 人), 「子ども文化プロジェクト I」(35 人), 「子ども文化プロジェクト II」(34 人), 「社会臨床演習 I」(33 人), 「社会臨床演習 II」(32 人), 「特別演習 I」(52 人), 「特別演習 II」(50 人), 「卒業研究」(11 人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

林延哉「立絵紙芝居制作のための覚書」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学・芸術), 60, 99-110, 2011.

斎木健一, 天野誠, 林延哉「野外植物の検索における教師の誤認の原因について」, 理科教育学研究, 52, 3, 103-111, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本社会臨床学会 事務局長(1994 年～)

千葉県立中央博物館作成の野草カードのウェブ化への協力。[千葉県立中央博物館](年度不詳)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

養護教諭養成課程	氏名 廣原 紀恵
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1957 年 6 月
学歴・職歴	茨城大学大学院教育学研究科修士課程修了(2000 年 03 月) 茨城大学教育学部(2011 年 04 月～) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門看護学講座(2008 年 04 月～2011 年 03 月)
学位	教育学修士[茨城大学]
受賞歴	なし
所属学会	学校健康相談研究学会, 日本発育発達学会, 日本人類学会, 日本小児保健学会, 中国・四國小児保健学会, 中国・四国学校保健学会, 日本公衆衛生学会, 日本養護教諭教育学会, 日本看護研究学会, 日本教育カウンセリング学会, 日本思春期学会, 日本学校保健学会
専門分野	教育学
教育研究概要	(キーワード)身長 体重 発育発達 学校看護
担当科目	【学部専門】「学校看護学概論」(35 人), 「学校看護学概論」(40 人), 「学校看護学実習」(40 人), 「学校救急看護」(39 人), 「学校救急看護実習」(39 人), 「学校救急看護演習 I」(40 人), 「学校救急看護演習 II」(35 人), 「卒業研究」(2 人) 【大学院】「養護学総合研究」(4 人), 「学校救急看護学特論」(4 人), 「学校救急看護学演習」(1 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

奥田紀久子, 古川 薫, 廣原紀恵, 郷木義子「幼少時期の傷病時に家族から受けた手当の記憶と知識について」, インターナショナル Nursing Care Research, 10, 1, 93-100, 2011.

佐竹隆, 廣原紀恵, 服部恒明「子どもの発育研究と身体比例チャート」, 発育発達研究, 51, 77-80, 2011.

廣原紀恵・服部恒明・佐竹隆「身体比例チャート法による女子の身体プロポーションの年齢的变化」, 学校保健研究, 53, 2, 101-106, 2011.

Takashi Satake Toshie Hirohara Komei Hattori, "ОНЛИТ НОСТРОЕНИ tt ДИАГРАММИ ПРОНОРЦ И ОНАЈЛНОСТИ РОСТА НА ОСНОВЕ И ЗМЕРЕНИ Ѓ ttИНЛИ ТЕЛА, РОСТА СИ Дtt И ttИ НЛИ НО「И V АЕТЕЃ И И10ДРостРОВИ", АНТРОПТОИ Я, 2, 85-88, 2011.

斉藤ふくみ ラーニーベルガラ 内田信子 廣原紀恵「日本とフィリピンの幼稚園の実態調査」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 61, 2012.

海老澤恭子 廣原紀恵「高等学校における食物依存性運動誘発アナフィラキシーの対応事例」, 茨城大学

教育学部紀要(教育科学), , 61, 229-236, 2012.

, "Body Proportion Chart to summarize growth of stature, sitting height and leg length in children and adolescents", Bulletin of College of Education Ibaraki University, , 61, 51-57, 2012.

岡田加奈子 遠藤伸子 池添志乃 廣原紀恵 他 21 名「養護教諭、看護師、保健師のための学校看護—学校環境と身体的支援を中心に—」, 東山書房, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

Komei Hattori Toshie Hirohara Takashi Satake, "Body proportion chart for evaluating changes in stature' sitting height and leg length in children and adolescents", Annals of Human Biology, 38, 5, 556-560, 2011.

Kikuko Okuda, Toshie Hirohara and Yoshiko Gogi, "Do Japanese youth accurately report their height and weight in health questionnaires?," (, 2011 年 04 月)

鈴木裕美 斉藤ふくみ 廣原紀恵, 「健康相談活動についての養護実習生の認識に関する調査研究2 小学校自習前後及び中学校実習の変化の比較」(第8回学校健康相談研究・2012 年 03 月)

宮 久美子, 奥田 紀久子, 近藤 和也, 郷木義子、廣原紀恵、梶原 京子, 藤井 智恵子, 「: 喫煙防止教育講演後の高校生の喫煙に対する意識・態度の変容について,」(第 6 回日本禁煙科学会学術総会・2011 年 11 月)

奥田 紀久子, 藤井 智恵子, 近藤 和也, 宮崎久美子、廣原紀恵、郷木義子, 「徳島県の小・中学校における防煙教育の効果の実態と影響要因」(第 6 回日本禁煙科学会学術総会・2011 年 11 月)

鈴木裕美 斉藤ふくみ 廣原紀恵 石原研治, 「健康相談活動についての養護実習生の認識に関する調査研究」(第58回学校保健研究・2011 年 11 月)

石舟博子 郷木義子 廣原紀恵 工藤友紀, 「養護教諭が把握する健康診断における発達障害児の困難」(第58回学校保健研究・2011 年 11 月)

奥田 紀久子, 廣原 紀恵, 棟方 百熊, 宮 久美子, 梶原 京子, 「A 県の小・中・高等学校における防煙教育の実態と課題」(第58回学校保健研究・2011 年 11 月)

棟方 百熊, 奥田 紀久子, 廣原 紀恵, 郷木 義子, 「高校生の喫煙に関する認識および態度に対する講演会の影響」(第58回学校保健学会・2011 年 11 月)

廣原紀恵 奥田喜久子 郷木義子 棟方百熊 宮崎久美子 梶原京子, 「小学生の喫煙に対する意識及び喫煙行動予測と家族の喫煙状況との関連」(第58回日本学校保健学会・2011 年 11 月)

片岡 三佳, 千葉 進一, 奥田 紀久子, 松下 恭子, 藤井 智恵子, 岡久 玲子, 廣原 紀恵, 郷木 義子, 多田 敏子, 「精神科外来での見学実習を通しての学生の学び」(第37回日本看護研究学会・2011 年 08 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 藤田 文子
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1957 年 9 月
学歴・職歴	筑波大学教育研究科博士課程単位取得満期退学(1995 年)
学位	博士[常磐大学]
受賞歴	推奨授業の候補に推薦される。(2007 年 07 月), 教養教育における推奨授業の候補(2004 年), 善意本合唱連盟関東支部合唱コンクール茨城県大会銅賞受賞(1981 年 09 月)
所属学会	音楽教育史学会, 教育実践学会, 教育哲学会, 日本教育方法学会, 日本教育学会, 教育史学会, 日本音楽教育学会
専門分野	教育学 音楽科教育
教育研究概要	(キーワード)フレーベルの音楽教育思想、小・中学校の音楽科教育、教員養成大学における音楽科教育の授業研究、フレーベルの教育思想
担当科目	【教養教育】「人間と文学・芸術」(39 人), 「主題別ゼミナール」(15 人) 【学部専門】「初等音楽科教育法研究」(13 人), 「初等音楽科教育法研究」(43 人), 「音楽科教育法研究 III」(12 人), 「初等音楽科内容研究」(54 人), 「独唱」(7 人), 「独唱」(7 人), 「独唱」(7 人), 「卒業研究」(2 人) 【大学院】「音楽教育授業設計」(2 人), 「音楽科教育学演習」(1 人), 「音楽科教育学特論 II」(2 人), 「音楽科教育学研究」(1 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

三次摂子, 藤田文子「小学校における地域教材を生かした歌唱活動の調査研究 一野口雨情を中心に一」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 60, 41-52, 2011.

三次摂子, 山口(藤田)文子「小学校音楽科における＜自然で無理のない歌い方＞に関する研究—Libero Canto の実践を中心に—」, 茨城大学教育実践研究, 30, 35-49, 2011.

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

＜芸術活動・建築作品等＞グループ・カンパネラ 31 回記念ヴォーカル・コンサートにて、大中恩作曲「しぐれに寄する抒情」, 團伊玖磨作曲「はる」, スメタナ作曲オペラ「売られた花嫁」より“やっひとりになれたのに…”, ワーグナー作曲オペラ「タンホイザー」より“おごそかなこの広間よ”を独唱した。(2011 年 04 月)

社会的活動、地域貢献など

教育実践学会 常任理事(2006 年 10 月～)

教育実践学会 理事(2001 年 06 月～)

教育実践学会 常任理事・(2006 年 10 月～)

教育実践学会 理事・(2001 年 06 月～)

[公開講座]茨城大学教育学部附属小学校公開研究会共同研究者(2011 年度実施)

[その他]県教連[助言者](2006 年 10 月～)

[兼業]常磐大学[非常勤講師](2005 年 04 月～2012 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

情報文化課程	氏名 本田 敏明
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1951 年 4 月
学歴・職歴	広島大学教育学研究科博士課程(1981 年)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	教育システム情報学会, 日本教育工学会, 日本教育方法学会, 情報科教育学会
専門分野	教育工学 教育方法学
教育研究概要	(キーワード)教育工学 情報教育 教育方法 教授学 ラーニングエコロジー e-ペダゴジー
担当科目	【教養教育】「情報処理概論」(55 人) 【学部専門】「情報科教育法 II」(8 人), 「コンピュータプレゼンテーション技法」(8 人), 「卒業研究」(1 人) 【大学院】「教授学特論」(5 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

「情報科教師教育のための Wiki の活用-プレゼンテーションを重視した災害支援と模擬授業を例に-」 (茨城大学教育実践研究) 第 31 号 239-253, 2012 「学習の継続と知識の創造を実現する Instructional Design の導入」 (平成 24 年度茨城大学教育学部紀要・予定)
--

研究業績(2) 学会発表など

「情報科教師教育のための Wiki の活用-プレゼンテーションを重視した災害支援を例に-」 (日本情報科教育学会第 5 回全国大会) 「学校現場のデジタル化に対応した教育環境のシステム化」 (教育システム情報学会第 37 回全国大会)
--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

情報科教育学会 監事 研究委員長(2007 年 12 月~2011 年 06 月) 日本情報教育開発協議会 e-Pedagogy 委員会・副会長・e-Pedagogy 委員会委員長(2003 年 04 月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

ポルトガル リスボン・Technical University of Lisbon[ED-MEDIA 2011 参加、研究テーマに関する情報収集、

調査研究] (2011 年 6 月～7 月:6 日間)

ドイツ ルートヴィヒスブルク・ルートヴィヒスブルク教育大学[情報交換、調査研究] (2011 年 9 月:9 日間)

オーストリア グラーツ・グラーツ工科大学[情報交換、調査研究] (2011 年 9 月:5 日間)

ドイツ ルートヴィヒスブルク・ルートヴィヒスブルク教育大学[情報交換、調査研究] (2011 年 9 月:4 日間)

タイ チェンマイ・ルメルディアンホテル[ICCE2011 参加、情報交換、研究成果発表] (2011 年 11 月～12 月:3 日間)

アメリカ ロサンゼルス、オースティン・UCLA ラーニングセンター、シェラトンホテル[学会参加、情報交換] (2012 年 3 月:9 日間)

ドイツ ルートヴィヒスブルク・ルートヴィヒスブルク教育大学 [情報交換、調査研究] (2012 年 10 月:14 日間)

科学研究費補助金などの受領

平成 24 年度学術研究推進経費 (茨城大学)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 牧野 泰彦
------------------	----------

教員履歴など

現 職	名誉教授
生年月	1945 年 2 月
学歴・職歴	東京教育大学理学研究科博士課程修了(1974 年)
学位	理学博士[東京教育大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本堆積学会, 国際堆積学協会(International Association of Sedimentologists), アメリカ堆積学会(Society for Sedimentary Geology), 日本地質学会, アメリカ地質学会(Geological Society of America), 日本地学教育学会
専門分野	地質学, 堆積学
教育研究概要	<p>さまざまな堆積環境およびその堆積作用 研究目的は, 野外調査を基礎にして, 現世のさまざまな環境下における堆積物の性質、堆積作用および地層の形成過程に関する研究活動を行っています。具体的な調査対象は, 現世の河川では, 那珂川, 久慈川およびその支流里川, 台地を刻んでいる河川, さらに静岡県 の安倍川など, 大洗や阿字ヶ浦の海浜, 干潟では有明海や諫早湾の干潟, 房総半島一の宮川の河口干潟などが挙げられる。</p> <p>(キーワード)さまざまな自然環境における微地形や堆積作用を調査し、地層の形成過程を検討する。茨城県下の河川を中心に河川地形やその堆積作用を解析する。</p>
担当科目	<p>【学部専門】「初等理科内容研究」(61 人), 「基礎地学」(19 人), 「地質学」(14 人), 「地学演習」(2 人), 「地学実験A」(19 人), 「地学野外実習」(24 人), 「環境科学総論」(10 人)</p> <p>【大学院】「地学特論」(1 人)</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

日本地学教育学会 現会長(2008 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(国語教育)		氏名 増子 和男
教員履歴など		
現 職	教 授	
生年月	1953 年 10 月	
学歴・職歴	<p>早稲田大学文学研究科博士前期課程修了(1978 年 03 月)</p> <p>茨城大学教育学部附属特別支援学校長(2012 年 04 月～)</p> <p>早稲田大学 文学学術院(大学院文学研究科・文化構想学部)非常勤講師兼任(2011 年 04 月～)</p> <p>茨城大学 教育学部教授(2008 年 04 月～)</p> <p>早稲田大学 第一文学部 非常勤講師(1989 年 04 月～1991 年 03 月)</p> <p>鶴見大学 文学部 非常勤講師(1990 年 04 月～1991 年 03 月)</p> <p>梅光女学院大学 文学部 専任講師(1991 年 04 月～1995 年 03 月)</p> <p>九州国際大学 経済学部 非常勤講師兼任(1994 年 04 月～1999 年 03 月)</p> <p>梅光女学院大学 文学部 助教授(1995 年 04 月～2001 年 03 月)</p> <p>梅光学院大学 大学院文学研究科 講師兼任(2001 年 04 月～2002 年 03 月)</p> <p>梅光学院大学 文学部教授(2001 年 04 月～2008 年 03 月)</p> <p>東亜大学 総合人間・文化学部 非常勤講師兼任(2002 年 04 月～2004 年 03 月)</p> <p>梅光学院大学 大学院文学研究科 教授併任(2002 年 04 月～2008 年 03 月)</p> <p>山口大学 非常勤講師兼任(2007 年 04 月～2008 年 03 月)</p> <p>台湾輔仁大学 大学院講師兼任(集中講義)(2008 年 02 月～2008 年 02 月)</p>	
学位	文学修士[早稲田大学]	
受賞歴	なし	
所属学会	日本中国学会, 全国漢文教育学会, 和漢比較文学会, 中唐文学会, 早稲田大学中国文学会, 中国詩文研究会, 中国古典学会, 日本詩経学会, 日本聞一多学会	
専門分野	各国文学・文学論	
教育研究概要	<p>唐代伝奇研究。六朝志怪小説研究。日中怪異譚の比較研究。</p> <p>文言で書かれた小説に現れた用語の来源と、用語に対してそれらの小説が執筆された当時の人々が共有した思いを探っている。</p> <p>また、関わりの深い日中両国の怪異譚を比較することによって、その受容と変容、その背景となった人々の思いを探っている。</p> <p>(キーワード)六朝志怪、唐代伝奇、日中怪異譚比較</p>	
担当科目	<p>【教養教育】「人間と文学・芸術」(154 人)</p> <p>【学部専門】「漢文学基礎」(47 人), 「漢文学概論」(37 人), 「漢文学演習 I」(28 人), 「漢文学演習 II」(8 人), 「漢文学研究法 I」(43 人), 「漢文学研究法 II」(14 人), 「卒業研究」(4</p>	

	人) 【大学院】「言語文化総合研究」(11 人), 「国語教育授業設計」(7 人), 「漢文学特論」(6 人), 「漢文学研究」(5 人)
--	--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

増子 和男「獺怪異譚の盛衰をめぐって(下)」, 中国詩文論叢, , 30, 155-163, 2011.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本詩経学会 理事(2002 年 04 月～)

早稲田大学文学学術院(大学院文学研究科・文化構想学部) 非常勤講師(2011 年 04 月)

[非常勤講師]早稲田大学文学学術院(大学院文学研究科・文化構想学部)[非常勤講師](2011 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 松川 覚
------------------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1969 年 11 月
学歴・職歴	東京工業大学理工学研究科博士課程(1997 年) 茨城大学教育学部 助教授(2001 年 04 月～) 千葉大学 助手(1997 年 04 月～2001 年 03 月)
学位	博士(工学)[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	アメリカ化学会, 理科教育学会, 有機合成化学協会, 日本化学会
専門分野	有機化学 科学教育 環境科学 教科教育学
教育研究概要	合成有機化学をはじめとする基礎化学研究・大学化学教育における新しい取り組み・初等・中等化学教育における新規な教材開発等、教育学部ユニークの化学研究を目指している。 (キーワード)有機合成化学 化学教育 科学教育
担当科目	【教養教育】「身近な化学」(242 人), 「化学」(17 人) 【学部専門】「化学実験指導法」(6 人), 「初等理科内容研究」(69 人), 「初等理科内容研究」(61 人), 「初等理科実験観察内容研究」(19 人), 「基礎化学」(32 人), 「有機化学」(31 人), 「環境化学」(20 人), 「無機化学」(29 人), 「有機化学演習」(2 人), 「化学演習」(5 人), 「化学実験 I」(33 人), 「化学実験 II」(14 人), 「環境科学総論」(10 人), 「卒業研究」(6 人) 【大学院】「自然科学総合研究」(4 人), 「理科授業設計」(3 人), 「化学特論」(1 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>松川 覚、湊 薫子、金田優香、安田汐里「「化学実験「アスピリンの合成」に関する考察」, 『茨城大学教育学部紀要(自然科学)』, , 60, 47-52, 2011.</p> <p>「「食を題材にしたエネルギー教育教材の開発」, 『茨城大学教育学部紀要(自然科学)』, , 60, 101-111, 2011.</p> <p>松川 覚、大道勇武「「土中の分解者の役割を実感する教材の開発」, 『茨城大学教育学部紀要(自然科学)』, , 60, 53-61, 2011.</p> <p>「「毛髪を題材とする化学実験の開発」, 『茨城大学教育学部紀要(自然科学)』, , 60, 63-72, 2011.</p> <p>,”“TBD-Catalyzed Ring-Opening of Aziridines with Silylated Nucleophiles””, Synth. Commun., , 2011.</p> <p>Satoru Matsukawa* and Syohei Fujikawa, ”Polystyrene-supported TBD as an efficient and reusable organocatalyst for cyano-silylation of aldehydes, ketones and imines”, Tetrahedron Letters, , 53, 1075-1077, 2012.</p>

Satoru MATSUKAWA, Sayaka Takahashi, Hiroshi Takahashi, “TBD-Catalyzed Trifluoromethylation of Carbonyl Compounds with (Trifluoromethyl)trimethylsilane”, , , 2012.

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]小学校理科教育推進事業「特別講師派遣」常陸太田市立久米小学校(2011年度実施)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]小学校理科教育推進事業「特別講師派遣」城里町立石塚小学校(2011年度実施)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]小学校理科教育推進事業「特別講師派遣」かすみがうら市立下稲吉小学校(2011年度実施)

[その他]一日体験化学教室「アスピリンを作ろう」(2011年度実施)

[出前授業]出前授業「花火の科学」土浦湖北高等学校(2011年度実施)

[出前授業]出前授業「食とエネルギー問題」県立伊奈高等学校(2011年度実施)

[出前授業]出前授業「花火の科学」水戸第二高等学校(2011年度実施)

[出前授業]出前授業「食とエネルギー問題」下館第一高等学校(2011年度実施)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

人間環境教育課程	氏名 松坂 晃
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953 年 4 月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程修了(1979 年) 茨城大学教育学部教授(2000 年 04 月～) 筑波大学体育科学系文部技官(1979 年 04 月～1984 年 03 月) 茨城大学教養部講師(1986 年 04 月～1987 年 03 月) 茨城大学教養部助教授(1987 年 04 月～1996 年 03 月) 茨城大学教育学部助教授(1996 年 04 月～2000 年 03 月)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	North American Society of Pediatric Exercise Medicine, American College of Sports Medicine, 日本体力医学会, 日本体育学会, 日本肥満学会, 日本栄養改善学会
専門分野	応用健康科学
教育研究概要	子どもの身体活動, 体力運動能力, および肥満に関する研究 (キーワード)
担当科目	【教養教育】「身体活動」(40 人), 「身体活動」(38 人) 【学部専門】「体育科教育法研究」(46 人), 「現代人の健康」(51 人), 「運動生理学」(40 人), 「運動処方論」(40 人), 「卒業研究」(5 人) 【大学院】「養護学総合研究」(4 人), 「健康生理学特論」(4 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

苗 勇, 松坂 晃, 勝本 真, 尾形敬史, 内田清香「知的障害児の肥満と身体活動に関する予備調査」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 61, 421-427, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「知的障害児童生徒の体育学習内容策定の試み」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2011 年 04 月 01 日～
2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 松村 多美恵
-------------------	-----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1947 年 11 月
学歴・職歴	東京教育大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学(1975 年) 茨城大学教育学部教授(1986 年 10 月～) 茨城大学教育学部講師(1975 年 04 月～1981 年 03 月) 茨城大学教育学部助教授(1981 年 04 月～1986 年 09 月) 放送大学客員教授(2001 年 04 月～2006 年 03 月) 茨城大学教育学部附属養護学校校長(2003 年 04 月～2006 年 03 月)
学位	教育学博士[東京教育大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本 LD 学会, 日本発達心理学会, 日本教育心理学会, 日本心理学会, 日本特殊教育学会
専門分野	教育心理学 特別支援教育
教育研究概要	知的障害児の認知能力 (キーワード)知的障害児、認知的能力、記憶、言語
担当科目	【教養教育】「人間と心」(77 人) 【学部専門】「特別支援教育研究法」(22 人), 「知的障害児の心理」(26 人), 「障害児心理学演習 I」(3 人), 「障害児心理診断法」(38 人), 「卒業研究」(2 人) 【大学院】「障害児心理学特論 I(障害児認知心理学)」(7 人), 「障害児心理学演習 I」(7 人), 「特別課題研究」(1 人) 【専攻科】「特別支援教育基礎演習」(19 人), 「知的障害児の心理」(19 人), 「障害児心理学演習 I」(3 人), 「障害学総合研究」(6 人), 「特別支援教育基礎演習」(19 人), 「知的障害児の心理」(19 人), 「障害児心理学演習 I」(3 人), 「障害学総合研究」(6 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「@Sムーブメントが自閉症児のコミュニケーションに及ぼす影響」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 60, 123-130, 2011.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

地域の発達障害児支援検討会・(2005 年 08 月～)

[出前授業]茨城県立日立北高校・出前授業(ことばの発達と障害), 茨城県立日立北高校(2011 年度実施)

[公開講座]附属特別支援学校公開講座(2011 年度実施)

茨城県立友部病院事故調査委員会委員(2011 年度)

茨城県障害者施策推進協議会委員(2011 年度)

茨城県立勝田養護学校学校評議員(2011 年度)

水戸市中心身障害児療育委員会委員長(2011 年度)

茨城県教育委員会(10年経験者研修講座)(2011 年 08 月)

茨城県教育委員会(教育職員免許法認定講習)(2011 年 08 月)

[兼業]茨城県教育委員会(10年経験者研修講座)(2011 年 08 月)

[兼業]茨城県教育委員会(教育職員免許法認定講習)(2011 年 08 月)

発達障害児の支援方法検討会[地域の幼稚園・学校教員](2005 年 08 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 松本 日之春
------------------	-----------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1945 年 11 月
学歴・職歴	
学位	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	【学部専門】「音楽通論 II」(16 人), 「現代音楽へのいざない」(13 人), 「初等音楽科内容研究」(43 人), 「合奏」(14 人), 「指揮法」(13 人), 「和声学 I」(16 人), 「対位法 I」(13 人), 「作曲法 I」(15 人), 「作曲特別演習 I」(3 人), 「作曲特別演習 II」(2 人) 【大学院】「音楽教育授業設計」(2 人), 「作曲・指揮法研究」(6 人), 「作曲・指揮法演習」(6 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

人間環境教育課程	氏名 丸山 広人
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1972 年 4 月
学歴・職歴	東京大学教育学研究科博士課程単位取得満期退学(2003 年) 茨城大学教育学部助教授(2005 年 07 月～) 東京大学大学院教育学研究科助手(2003 年 04 月～2005 年 06 月)
学位	修士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育心理学会, 日本学生相談学会, 日本心理臨床学会, 日本コミュニティ心理学会
専門分野	教育心理学 臨床心理学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	【教養教育】「人間と心/心理学」(78 人) 【学部専門】「人間教育の心理学」(203 人), 「人間教育の心理学」(130 人), 「総合演習/心理特別演習 II」(20 人), 「心理特別演習 I」(9 人), 「コミュニティ心理学」(41 人), 「健康心理学」(29 人), 「心理学史」(13 人), 「心理学実験」(12 人), 「卒業研究」(4 人) 【大学院】「教育心理学特論」(17 人), 「教育情報処理特論/学校心理学研究法特論」(12 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

深谷佳子・丸山広人「教育困難校における卒業者と中途退学者の比較研究」, 茨城大学教育実践研究, 30, 291-302, 2011.

相田清美・丸山広人「中学校教師は生徒の悩みをどのように聴くのか: 生徒の対人関係上の問題を中心に」, 茨城大学教育学部紀要, 60, 119-134, 2011.

丸山広人「海外における野外学校への参与観察が大学院生に与える効果」, 茨城大学教育学部紀要, 61, 65-80, 2012.

丸山広人 2010 教室の多動児に対する生態学的視座からの理解: 多動児たちは教師や他の生徒との相互作用の中でどのように学級に適応したのか? コミュニティ心理学研究 14(2), 151-165

研究業績(2) 学会発表など

<基調講演> 茨城県少年指導委員協議会講演会 () (2011 年 11 月)
<基調講演> 笠間市女性ネットワーク委員会研修会 () (2011 年 10 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- [自治体での社会教育]茨城県警察本部少年課講演会(2011 年度実施)
- [自治体での社会教育]茨城県教員免許法認定講習講師, 茨城県教育委員会(2011 年度実施)
- [自治体での社会教育]笠間市立稲田小学校職員研修会講師(2011 年度実施)
- [自治体での社会教育]水戸市立見川小学校教員研修会講師(2011 年度実施)
- [公開講座]カウンセリング講座(初級)(2011 年度実施)
- [出前授業]茨城県立水海道第一高等学校(出前授業)(2011 年度実施)
- [自治体での社会教育]茨城いのちの電話研修委員(2011 年度実施)
- [自治体での社会教育]茨城いのちの電話研修講師, 茨城いのちの電話(2011 年度実施)
- [その他]全国学校教育相談研究会講師, 全国学校教育相談研究会(2011 年度実施)
- 茨城北西看護専門学校 カウンセラー(2011 年 12 月)
- [兼業]茨城北西看護専門学校[カウンセラー](2011 年 12 月～)
- [兼業]茨城県教育委員会[講師](2007 年 11 月～)
- [出前授業]茨城県立緑岡高等学校[講師](2007 年 11 月～)
- [兼業]茨城県教育研究連盟[助言者](2007 年 10 月～)
- [出前授業]茨城県立鉾田第二高等学校[講師](2007 年 09 月～)
- [兼業]茨城県笠間市立稲田小学校[講師](2007 年 08 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 三輪 壽二
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1961年10月
学歴・職歴	千葉大学教育学研究科修士課程修了(1991年)
学位	修士(教育学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校健康相談学会, 日本カウンセリング学会, 日本教育心理学会, 日本社会臨床学会
専門分野	教育相談、臨床心理学、社会臨床論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>【教養教育】「人間と心/心理学」(78人)</p> <p>【学部専門】「学校教育相談」(60人), 「学校教育相談」(230人), 「子どもの理解と対応」(50人), 「総合演習」(20人), 「臨床心理学」(30人), 「心理臨床診断法」(20人), 「心理臨床援助法実習Ⅰ」(9人), 「心理臨床援助法実習Ⅱ」(9人), 「卒業研究」(1人)</p> <p>【大学院】「学校教育総合研究」(46人), 「教育臨床心理特論」(7人), 「臨床家族心理学特論」(6人), 「人格心理学特論」(17人)</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

東茨城群教育振興大会(基調講演演者)(2012年02月)
 <基調講演> 佐野中学校区地域連絡協議会(講演会演者)(2011年11月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

[その他]不登校と適応指導教室(笠間市適応指導教室連絡協議会), 笠間市教育委員会(2011年度実施)
 [その他]思春期の問題行動(いはらき思春期保健協会), いはらき思春期保健協会(2011年度実施)
 [その他]教育相談事例研修会, 大子町教育支援センター(2011年度実施)
 [その他]教育の中の心理検査・診断・かわり(広島教組), 広島県教職員組合(2011年度実施)
 [自治体での社会教育]思春期について(県メディア教育指導員研修会), 茨城県知事公室(2011年度実施)
 [その他]小学生で身につけておきたいこと(学校保健委員会), 水戸市立常磐小学校(2011年度実施)
 [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]教員免許更新制講習会講師, 茨城大学(2011年度実施)

<p>茨城県警少年活動研修会(2011 年度)</p> <p>茨城県高等学校教育研究会研修会(2011 年度)</p> <p>家庭裁判所委員会(2011 年度)</p> <p>茨城県生徒指導推進協議会委員(2011 年度)</p> <p>教育相談事業事例検討会(茨城県)(2011 年度)</p> <p>平成 23 年度水戸市教育相談担当者研修会(全 4 回)(2011 年度)</p> <p>水戸市小中学校教科用図書審議委員(2011 年度)</p> <p>放送大学茨城学習センター 非常勤講師(2011 年 04 月～2012 年 03 月)</p> <p>茨城県教育委員会 スクールカウンセラー(2011 年 04 月～2012 年 03 月)</p> <p>[兼業]放送大学茨城学習センター[非常勤講師](2011 年 04 月～2012 年 03 月)</p> <p>[兼業]茨城県教育委員会[スクールカウンセラー](2011 年 04 月～2012 年 03 月)</p> <p>協会副理事長[社団法人いはらき思春期保健協会](2010 年 04 月～), 協会幹事、協会主催講座の講師など</p> <p>[社団法人いはらき思春期保健協会](2006 年 04 月～)</p>
--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 村野井 均
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953 年 12 月
学歴・職歴	筑波大学心理学研究科博士課程単位取得満期退学(1984 年) 国立大学法人茨城大学教育学部 教授(2005 年 10 月～) 国立大学法人福井大学教育地域科学部 助教授(2004 年 04 月～2004 年 12 月) 弘前学院大学一般教育部 講師(1984 年 04 月～1987 年 03 月) 弘前学院大学一般教育部 助教授(1987 年 04 月～1988 年 03 月) 福井大学教育学部 助教授(1988 年 04 月～1999 年 03 月) 福井大学教育地域科学部 助教授(1999 年 04 月～2004 年 03 月) 国立大学法人福井大学教育地域科学部 教授(2005 年 01 月～2005 年 09 月)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	福井大学 IT 優秀アイデア賞(2002 年), 福井大学 IT 優秀アイデア賞(2001 年)
所属学会	日本教育メディア学会, 日本教育工学会, 日本発達心理学会, 日本教育心理学会, 日本心理学会
専門分野	発達心理学 教育心理学 教育工学 社会心理学
教育研究概要	子どものテレビ理解, 児童・生徒による映像制作 子どもの作った映像作品の放送 子どものテレビ理解 児童・生徒による映像制作 子どもの作った映像作品の放送 (キーワード)メディア・リテラシー テレビ 映像制作 学校と地域の連携 放送
担当科目	【教養教育】「人間・文化系科目」(268 人) 【学部専門】「発達の理解 II/発達の理解B」(102 人), 「メディア・リテラシーI」(53 人), 「現代社会の人間関係」(29 人), 「総合演習」(20 人), 「発達心理学」(24 人), 「心理学文献講読 II」(7 人), 「生涯学習とメディア」(11 人), 「卒業研究」(1 人) 【大学院】「発達心理学特論」(10 人), 「発達心理学演習」(6 人), 「特別課題研究」(2 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

内倉高志、村野井均「日常の生活・学習素材から学ぶ情報モラル指導の在り方」, 茨城大学教育実践研究, 30, 233-247, 2011.

荒川智・田中健次・村野井均・村山朝子・渡部玲二郎・大辻永・郡司晴元・西川陽子「茨城大学教育学部附属学校園におけるサステナビリティ教育の実態調査と ESD カレンダーの試作」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), , 61, 41-54, 2012.

研究業績(2)学会発表など

〈招待講演,パネリスト〉第15回視聴覚教育総合全国大会・第53回放送教育研究会東北大会合同大会(全体研究協議会パネリスト)(2011年11月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

〈その他〉日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員 (2011年12月～2012年11月)

社会的活動、地域貢献など

日本教育メディア学会 常任理事(2006年10月～)

日本教育メディア学会 研究委員会委員(2003年10月～)

日本教育メディア学会 「博物館情報・メディア論」編集委員・編集委員(2010年12月～2013年03月)

日本教育メディア学会 日本教育メディア学会編集委員会・編集委員(2010年10月～2014年03月)

[出前授業]テレビ理解の心理学,茨城県立水海道第一高等学校(2011年度実施)

科学研究費委員会(2011年度)

「テレビと幼児のかかわり 家庭視聴と集団視聴(幼稚園・保育所)」(受託研究):NHK番組制作局 財団法人日本放送教育協会(2004年～2005年03月)

「幼児教育番組とメディアリテラシー」(受託研究):2003年度NHK番組制作局からの受託研究(財)日本放送教育協会(2003年～2004年04月)

群馬大学社会情報学研究科 非常勤講師(2011年04月～2012年03月)

[非常勤講師]群馬大学社会情報学研究科[非常勤講師](2011年04月～2012年03月)

[兼業]NHK放送文化研究所[Reviewer](2010年04月～2013年03月)

[出前授業]茨城県立 伊奈高等学校[講師](2009年11月～)

[非常勤講師]福島県立 白河高等学校[講師](2009年10月～)

[非常勤講師]茨城県立 石岡高等学校[講師](2009年10月～)

[出前授業]学校法人尚志学園 尚志高等学校(福島県郡山市)[講師](2009年10月～)

[兼業]青少年媒介素教育参考[日本媒介素教育家会担任本網](2009年04月～2012年03月)

[出前授業]青森県青森東高等学校[講師](2007年11月～)

[その他]水戸市教育委員会[講師](2007年03月～)

ディベート審査委員[茨城県立清松高等学校](2010年03月～)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

「接続期に特化したメディアリテラシー教育の幼小連携プログラムの推進と評価」[科研費](分担)(2011年04月01日～2013年03月31日)

「教育実習の長期化に対応して教育実践力を強化する体制の整備」[茨城大学 茨城大学 政策配分経費(教育改善経費)](代表)(2011年04月01日～2012年03月31日)

「ESDの視点による教科・領域横断的学習活動の構築」[科研費]萌芽研究(分担)(2010年04月04日～2013

年 03 月 31 日)

「多様化した大学教育活動の分析と持続可能社会を目指した総合的教育戦略の検討」[科研費]萌芽研究(分担)(2010年04月01日～2012年03月31日)

「ESDの視点による子どもの生活環境と学習ニーズに関する基礎的研究」[科研費](分担)(2009年04月01日～2012年03月31日)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 村山 朝子
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 7 月
学歴・職歴	奈良女子大学文学研究科修士課程修了(1984 年) 茨城大学教育学部教授(2009 年 10 月～) 茨城大学教育学部／人文学部非常勤講師(1992 年 12 月～2004 年 03 月) お茶の水女子大学附属中学校 教諭(1984 年 04 月～1990 年 03 月) 常磐大学人間科学部非常勤講師(1993 年 04 月～2004 年 03 月) 流通経済大学経済学部非常勤講師(1998 年 04 月～2005 年 03 月) 茨城大学教育学部助教授(のち准教授)(2004 年 04 月～2009 年 09 月)
学位	文学修士[奈良女子大学]
受賞歴	人文地理学会賞(人文地理学会)(2007 年 11 月 17 日)
所属学会	日本社会科教育学会, 日本地理教育学会, 日本地理学会, 人文地理学会, 茨城地理学会, お茶の水地理学会
専門分野	教科教育学 地理学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	【教養教育】「コミュニケーション論」(267 人) 【学部専門】「中等社会科教育法研究」(45 人), 「社会科教育法特講 II」(32 人), 「社会科教育法演習 II」(4 人), 「社会科教科論」(7 人), 「地理歴史科教育法研究 I」(19 人), 「社会科教育学入門」(23 人), 「卒業研究」(2 人) 【大学院】「社会科授業設計」(6 人), 「社会科教育特論 II」(5 人), 「社会科教育演習 II」(3 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「地理読本『ニルスの不思議な旅』の成り立ち」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), , 60, 21-41, 2011.

荒川智, 田中健次, 村野井均, 村山朝子, 渡部玲二郎, 大辻永, 郡司晴元, 西川陽子「茨城大学教育学部付属学校園におけるサステナビリティ教育の実態調査と ESD カレンダーの試作」, 茨城大学教育学部紀要 人文・社会科学・芸術, 61, 41-54, 2012.

「学界展望 : 地理教育(2010 年 1 月～12 月)」, 人文地理, 63, 3, 2011.

山口幸男編「中川浩一の社会科地理教育論—分野別学習成立期の実践に焦点をあてて—」『地理教育・社会科教育の理論と実践』, 古今書院, 53-63, 2012.

『科学を文化に—サイエンスアゴラ・シンポジウムの記録—』(学術会議叢書 18), 日本学術協力財団,

114-158, 2011.

研究業績(2)学会発表など

〈その他〉 つくば市社会科学研究部会(社会科学研究部会夏期研修)(2011年08月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本地理教育学会 評議員(2010年04月～)

日本社会科教育学会 評議員(2010年04月～)

国土地理院関東地方測量部 茨城県教育庁 社団法人日本測量協会関東支部支部 いばらき児童生徒地区研究会・会長(2011年05月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

スウェーデン スtockホルム・スウェーデン王立図書館、ストックホルム市立図書館[調査](2011年8月:6日間)

イギリス ロンドン・RGS-IBG、ロンドン市内[学会参加、野外調査](2011年8月～9月:7日間)

科学研究費補助金などの受領

「ESDの視点による教科・領域横断的学習の構築」[科研費](分担)(2010年04月01日～2013年03月31日)

「世界地誌学習の再構築に関する理論的・実践的研究」[科研費](代表)(2010年04月01日～2013年03月31日)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 望月 厚志
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953 年 12 月
学歴・職歴	立教大学文学研究科博士課程単位取得満期退学(1987 年) 茨城大学教育学部教授(2005 年 04 月～) 川村学園女子大学教育学部社会教育学科教授(2001 年 10 月～2003 年 03 月) 川村学園女子大学教育学部社会教育学科専任講師(1991 年 04 月～1995 年 03 月) 川村学園女子大学教育学部社会教育学科助教授(1995 年 04 月～2001 年 09 月) 常葉学園大学教育学部生涯学習学科教授(2003 年 04 月～2005 年 03 月)
学位	文学修士[立教大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本生涯教育学会, 日本教師教育学会, 日本教育社会学会, 日本教育制度学会, 日本教育学会, 関東教育学会, 日本キャリアデザイン学会, 日本キャリア教育学会
専門分野	生涯学習, 社会教育, 教師教育 教育学
教育研究概要	<p>・ 教育活動</p> <p>1. 授業関係 学部:教育実践と教師, 社会教育演習, 社会教育実習, 生涯学習論, 社会教育, 総合演習, 主題別ゼミナール, 卒業研究(卒業論文)指導, 教育実習指導, 総合科目(人間と社会), 担当。 大学院:生涯教育論特論, 生涯教育論演習, 学校教育総合研究, 特別課題研究(修士論文)指導, 担当。</p> <p>2. 学生指導 2005 年度入学生学年担任, 委託生指導, 全学就職センター相談員。</p> <p>3. 学外関係 社会教育主事講習(文部科学省), 栄養教諭認定講習(茨城県教育委員会), 10 年経験者研修講座(茨城県教育研修センター), 社会教育基礎講習(茨城県教育委員会・茨城大学), 茨城県教育研究連盟研究集会(茨城県教育研究連盟), 高校での大学模擬授業, 担当。</p> <p>・ 研究活動 「教師の生涯学習に関する調査研究」(研究業績一覧を参照)。 「教師のキャリア・デザイン」及び「キャリア教育」の研究。 「学校評議員」制度の機能確立のための地域・学校連携システムの開発(科学研究費補助金研究)の研究。</p>

	(キーワード)
担当科目	<p>【教養教育】「人間・文化系科目」(15 人), 「人間・文化系科目」(65 人)</p> <p>【学部専門】「教育実践と教師」(220 人), 「教育実践と教師」(87 人), 「社会教育」(48 人), 「生涯学習論」(81 人), 「総合演習」(25 人), 「教師のキャリア・デザイン」(94 人), 「学校外教育・学習活動の理論と実践」(13 人), 「社会教育演習」(19 人), 「卒業研究」(3 人)</p> <p>【大学院】「生涯教育論特論」(6 人), 「生涯教育論演習」(1 人), 「特別課題研究」(1 人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校臨床心理専攻	氏名 守屋 英子
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1952 年 10 月
学歴・職歴	京都大学教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1988 年) 茨城大学大学院教育学研究科学校臨床心理学専攻(2006 年 04 月～) 福田カウンセリングルーム・福田クリニック(福田恒也院長)(1998 年 01 月～) 茨城県スクールカウンセラー(非常勤)(1997 年 04 月～) 金町慈友クリニック(待鳥浩司院長)(2005 年 02 月～2006 年 03 月) いずみ病院(高江洲義英院長)(1994 年 12 月～1997 年 03 月) 沖縄リハビリテーション福祉学園非常勤講師(1994 年 10 月～1997 年 03 月) 琉球大学教育学部非常勤講師(1994 年 04 月～1996 年 09 月) 江戸川区教育研究所教育相談室(1981 年 02 月～1993 年 03 月) 京都府八幡市母子通所訓練教室(1976 年 04 月～1980 年 03 月) 奈良子鹿園相談部(1977 年 04 月～1980 年 03 月)
学位	教育学修士[京都大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	日本描画テスト・描画療法学会, 日本遊戯療法学会, 日本箱庭療法学会, 日本心理臨床学会, 日本芸術療法学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	臨床心理学(芸術療法、遊戯療法、子どもの問題行動に関連しての親・教師への援助、思春期から成人までの心理療法) (キーワード)
担当科目	【教養教育】「人間と心」(88 人) 【大学院】「臨床心理学特論 I」(9 人), 「心理療法特論」(10 人), 「臨床心理査定演習 I」(9 人), 「臨床心理基礎実習 I」(8 人), 「臨床心理基礎実習 II」(8 人), 「箱庭療法特論」(10 人), 「特別課題研究」(4 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

守屋英子 「グリュンヴァルトの空間図式に関する検討」 茨城大学心理臨床研究 第 4 号、p.13-18 (2012 年 03 月)

研究業績(2)学会発表など

内田千代子、杉村仁美、守屋英子、宮川八平、堀口祐子、綿引久美子、三橋典代、深谷美架、「大学生の自殺関連行動に関する実態調査」(第 49 回 全国大学保健管理研究集会・2011 年 11 月)

第3回茨城地域教育臨床研究会(代表・企画・運営)(2012年03月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本芸術療法学会 評議員(2010年04月～)

茨城県臨床心理士会 茨城県臨床心理士会スクールカウンセラー専門部会・専門部会長・スクールカウンセラーコーディネーター(2010年04月～2012年03月)

日本芸術療法学会・評議員(2009年04月～2013年03月)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]教育免許状更新講習 新課題演習1, 茨城大学(2011年度実施)

[公開講座]実践心理教育相談講座(中級編)「表現療法:コミュニケーションと理解の手段として」(2011年度実施)

[公開講座]実践心理教育相談講座(初級変)「子どものこころの発達と問題行動」(2011年度実施)

茨城県緊急スクールカウンセラー派遣事業に係るスーパーヴァイザー(2011年度)

茨城県カウンセリングアドバイザー(2011年度)

茨城県自殺対策委員会(2011年度)

茨城県少年指導委員協議会 研修会講師(2011年11月)

茨城県警察本部生活安全部少年課 研修会講師(2011年10月)

茨城県立結城第二高校 研修会講師(2011年10月)

茨城県教育研修センター 研修会講師(2011年09月)

財団法人茨城県民生委員児童委員協議会 研修会講師(2011年09月～2011年10月)

鹿島市教育委員会 研修会講師(2011年08月)

茨城県高等学校教育研究会 研修会講師(2011年08月)

茨城県教育研修センター 研修会講師(2011年08月)

つくば市教育研究会 研修会講師(2011年08月)

茨城県教育研修センター 0年経験者研修講座(養護教諭)講師(2011年07月)

茨城県教育委員会 研修会講師(2011年05月)

茨城県教育委員会 スクールカウンセラー(2011年04月～2012年03月)

福田カウンセリングルーム 臨床心理士(2011年04月～2012年03月)

東日本大震災対策として従来からある「いばらきこころのホットライン」電話相談が、平日の夜間22時まで、また日祝祭日も9時から22時まで対応できるようにすることとなった。このため、電話相談に対応できる臨床心理士に電話相談員として参加依頼があった。[茨城県精神保健協会](2011年05月), 茨城県高校教育課と県立結城第二高校、茨城大学教育学部との連携事業として、大学生・大学院生をキャンパスエイドとして結城第二高校に派遣。月1回のミーティングで学生達の指導を行う。また高校で行われるキャンパスエイド研究協議会に参加。年度末に地域教育臨床研究会を開催し、活動報告を行う。[茨城県立結城第二高校](2011年04月～2012年03月), 福島県からの避難民の避難所を訪問し、子ども達の様子を確認する。日立市・水戸市・つくば

市・土浦市の 4 カ所の避難所へ訪問する臨床心理士を募り、各避難所に 2 名ずつが入るようアレンジをした。また、自身はつくば市・土浦市の避難所を訪問した。[茨城県教育庁高校教育課](2011 年 04 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 守山 光三
------------------	----------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1944 年 10 月
学歴・職歴	
学位	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 柳田 伸顯
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1947 年 4 月
学歴・職歴	東京工業大学理学系研究科博士課程(1978 年)
学位	博士(理学)
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	代数的位相幾何学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	【学部専門】「総合演習」(6 人), 「算数科内容研究」(51 人), 「代数学の基礎 I」(48 人), 「代数学の基礎 II」(34 人), 「代数学A」(30 人), 「代数学B」(30 人), 「確率統計概論」(43 人), 「卒業研究」(5 人) 【大学院】「代数学演習」(2 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

フランス パリ・パリ大学[国際学会参加](2011 年 6 月:8 日間)

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 矢島 裕介
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953 年 8 月
学歴・職歴	東京大学理学系研究科博士課程修了(1982 年) 茨城大学教育学部教授(2003 年 04 月～) 日立製作所(株)(1982 年 04 月～2003 年 03 月) フラウンホーファー応用固体物理学研究所客員研究員(1988 年 02 月～1989 年 01 月)
学位	理学博士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	応用物理学会, 日本物理教育学会
専門分野	物性
教育研究概要	物理学 (キーワード)
担当科目	【学部専門】「物理学実験指導法/物理学実験 I/物理学実験 II」(31 人), 「初等理科内容研究」(32 人), 「熱学概論」(21 人), 「物理学演習 I」(6 人), 「物理学演習 A」(1 人), 「卒業研究」(1 人) 【大学院】「自然科学総合研究」(4 人), 「理科授業設計」(3 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

萩谷昭洋, 矢島裕介「真空概念の指導法の研究」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), , 60, 19-33, 2011.
Yusuke Yajima, "A Comprehensive Account of the Laws of Classical Thermodynamics : Pursuit of Optimally Empirical Approach", Bulletin of the College of Education Ibaraki University (Natural Sciences), , 60, 13-18, 2011.
Yusuke Yajima, "A Comprehensive Account of the Laws of Classical Thermodynamics : A Method to Graphically Represent Thermal Processes", Bulletin of the College of Education Ibaraki University (Natural Sciences), , 61, 1-8, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

「変化球の物理」(共同研究): 独立行政法人理化学研究所(不明年～)
土浦協同病院附属看護専門学校 講師(2011 年 04 月～2012 年 03 月)

[非常勤講師]土浦協同病院附属看護専門学校〔講師〕(2011 年 04 月～2012 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 安田 健一
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1948 年 3 月
学歴・職歴	日立製作所(1971 年 04 月～2002 年 06 月)
学位	工学博士[早稲田大学]
受賞歴	会田技術賞(1982 年)
所属学会	日本塑性加工学会
専門分野	圧延
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>【教養教育】「文明・技術系科目」(75 人), 「主題別ゼミナール」(18 人)</p> <p>【学部専門】「技術科指導法(機械実習)/機械の基礎技術」(24 人), 「ものづくり体験」(32 人), 「製図 I」(19 人), 「基礎機械工学」(19 人), 「機械の応用技術」(17 人), 「機械工学」(6 人), 「機械工学演習」(4 人), 「家庭電気・機械」(15 人), 「卒業研究」(4 人)</p> <p>【大学院】「技術と生活総合研究」(2 人), 「技術科授業設計」(3 人), 「機械工学特論」(4 人), 「機械工学演習」(1 人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

人間環境教育課程		氏名 山根 爽一
教員履歴など		
現 職	特任教授	
生年月	1946 年 2 月	
学歴・職歴	北海道大学理学研究科博士課程単位取得満期退学(1975 年 03 月) 茨城大学教授(教育学部)(1996 年 07 月～) 茨城大学講師(教育学部)(1975 年 04 月～1982 年 03 月) 茨城大学助教授(教育学部)(1982 年 04 月～1996 年 06 月)	
学位	理学博士[北海道大学]	
受賞歴	なし	
所属学会	熱帯生態学会, 日本生態学会, 日本昆虫学会, 日本動物行動学会, 国際社会性昆虫学会(International Union for the Study of Social Insects)	
専門分野	生物多様性/分類 昆虫社会学	
教育研究概要	<p>教育></p> <p>教育学部:主に環境コースにおいて生物関連の分野の講義、実験、演習、実習などを担当している。「環境生物学」「動物の多様性」「動物学」「初等理科内容研究」「生物学実験」「生物学野外実習」「総合演習」「生物学演習」など。</p> <p>大学院教育学研究科:理科専修で「行動生物学特論」「行動生物学演習」「特別課題研究」を担当している。</p> <p>大学院理工学研究科:環境機能科学専攻で「動物行動学特論」「環境機能科学特別研究」「環境機能科学特別演習」などを担当している。</p> <p><研究></p> <p>昆虫生態学。特に社会性カリバチ類(アシナガバチ、スズメバチ)における社会行動の進化を研究している。中でも、ハチの生活の場である巣の構造や営巣習性を比較研究している。また、熱帯・亜熱帯に生息するハリナシバチ類の行動、特に女王の産卵行動を種間、グループ間で比較する。</p> <p>(キーワード)社会性昆虫、社会行動の進化、社会性カリバチ、スズメバチ、アシナガバチ、造巣習性、巣の建築技術、巣温、動物の多様性、生態系保全、昆虫分類</p>	
担当科目	<p>【学部専門】「保育内容の研究(環境)」(56 人),「初等理科内容研究」(26 人),「環境生物学」(17 人),「動物の多様性」(26 人),「動物学」(16 人),「生物学演習」(2 人),「生物学実験」(21 人),「生物学野外実習」(23 人),「環境科学総論」(10 人),「卒業研究」(1 人),「卒業研究」(1 人)</p> <p>【大学院】「自然科学総合研究」(4 人),「理科授業設計」(3 人),「生物学特論」(1 人),「生物学特別実験」(1 人)</p>	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 山本 勝博
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1948 年 11 月
学歴・職歴	兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科博士課程(2003 年) 教授(2006 年 04 月～) 大阪府立高等学校教諭(1971 年 10 月～1992 年 03 月) 大阪府立高等学校講師(1971 年 04 月～1971 年 09 月) 大阪府科学教育センター・主任研究員(1992 年 04 月～1993 年 03 月) 大阪府教育センター・主任研究員(1993 年 04 月～2005 年 03 月) 大阪府教育センター・主任研究員(化学リーダー)(2005 年 04 月～2006 年 03 月)
学位	博士(学校教育学) 修士(工学)[兵庫教育大学大学院連合学校]
受賞歴	教育功労賞(日本理化学協会)(2005 年 08 月), 化学教育有功賞(日本化学会)(2003 年 03 月)
所属学会	日本科学教育学会, 日本理科教育学会, 日本化学会, 大阪府高等学校理化教育研究会
専門分野	科学教育
教育研究概要	理科教育、化学教育、環境教育、水環境科学、伝統産業、最先端科学、教材開発 環境教育に活用できる水環境調査(茨城県の河川や湧水等) 地域素材を活用した教材開発(陶芸や紙すき、染色等伝統産業に関わったもの) 最新の科学技術を取り入れた教材開発(色素増感太陽電池の環境教育への活用) 内容が豊富で理解しやすい理科実験教材、教具の開発(結晶育成装置の製作) (キーワード)理科教育、化学教育、環境教育、水環境科学
担当科目	【教養教育】 「コミュニケーション論」(267 人) 【学部専門】 「初等理科教育法研究」(146 人), 「初等理科教育法研究」(90 人), 「保育内容の研究(環境)」(56 人), 「中等理科教育法研究」(21 人), 「中等理科内容研究」(24 人), 「理科教科論」(23 人), 「理科教育演習 I」(13 人), 「理科教育演習 B」(3 人), 「卒業研究」(1 人), 「卒業研究」(3 人) 【大学院】 「自然科学総合研究」(4 人), 「理科授業設計」(3 人), 「理科教育学特論 I(初等理科教育論)」(2 人), 「理科教育学演習 I」(1 人), 「理科教育学特論 II(理科教育原理)」(1 人), 「理科教育学演習 II」(1 人), 「特別課題研究」(2 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

芳賀隆, 山本勝博「地域の自然素材や教育施設を活用した理科教材の開発と実践」, 茨城大学教育紀要(教育科学), , 60, 1-20, 2011.

佐藤典子, 山本勝博「タデアイの栽培を通した「自然と文化」をつなぐ教材化の試みー社会人として必要な「前

に踏み出す力」や「考え抜く力」の養成を目指した一」, 茨城大学教育実践研究, , 30, 27-33, 2011.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本理科教育学会 理事(2006年04月～)

大阪府高等学校理化教育研究会 研究会顧問(2006年04月～)

附属小学校の授業研究会において共同研究者として、事前打ち合わせおよび発表当日の指導助言を行う予定である。今年度は、平成 19 年 6 月 7 日(木)五島浩一教諭、佐藤義明教諭および平成 20 年 2 月 1 日(金)石川豊教諭を担当する。[茨城大学教育学部附属小学校](2007年04月～), 附属幼稚園の親子の体験活動である、「どきどき体験ー草木染めー」を 2006 年度から実施している。参加者は、2006 年度は 70 名、2007 年度は 150 名であった。[茨城大学教育学部附属幼稚園](2006年04月～), 附属中学校の理科授業の公開研究会において共同研究者として、発表内容や発表論文に関する指導を行い、発表当日は指導助言を行った。2006 年度、2007 年度と実施している。[茨城大学教育学部附属中学校](2006年04月～), 茨城県教育研究連盟研究集会の発表会(理科部会)における指導助言を行った。2006年10月14日(土)、2007年10月13日(土)実施した。[茨城県教育研究連盟研究集会](2006年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 山本 紀久子
------------------	-----------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1947 年 2 月
学歴・職歴	東京学芸大学教育学研究科修士課程修了(1971 年)
学位	教育学修士[東京学芸大学]
受賞歴	日本消費者教育学会学会賞研究奨励賞(1989 年), 教育実践功労者表彰(日本教科教育学会推薦)(1982 年)
所属学会	日本生活経済学会, 日本精神衛生学会, 日本精神神経学会, 日本家政学会, 日本教育学会, 日本教育方法学会, 日本教科教育学会, 日本消費者教育学会, 日本家庭科教育学会, 日本子ども社会学会, 日本教育実践学会
専門分野	消費者教育 教科教育学
教育研究概要	教材開発、消費者教育、指導技法 (キーワード)
担当科目	【教養教育】「生活・福祉系科目」(70 人) 【学部専門】「総合演習」(10 人), 「初等家庭科教育法研究」(80 人), 「初等家庭科教育法研究」(76 人), 「家庭科教育法演習 I」(22 人), 「家庭科教育法演習 II」(7 人), 「初等家庭科内容研究」(124 人), 「初等家庭科内容研究」(14 人), 「卒業研究」(2 人) 【大学院】「生活科学総合研究」(3 人), 「家庭科授業設計」(2 人), 「家庭科教育特論 I」(1 人), 「家庭科教育演習 I」(2 人)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

山本紀久子,山田好子「家庭科における消費者安全教育教材の開発」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 60, 73-86, 2011.
山本紀久子,山田好子「ピンクッションの手順書を取り入れた消費者安全教育の教材開発」, 消費者教育, 第 31 冊, 207-215, 2011.
山本紀久子・佐藤麻子・山田好子「中学校技術・家庭(家庭分野)の安全に関する教科書分析」, 茨城大学教育実践研究, , 30, 77-91, 2011.
山本紀久子・山田好子「消費者安全の視点を取り入れたレシピカードの教材開発」, 茨城大学教育実践研究, , 30, 93-102, 2011.
山田好子・山本紀久子「高校生の消費者製品安全教育に関する研究」, 小田原女子短期大学研究紀要, , 42, 1-7, 2012.
山田好子・山本紀久子「高校生の消費者製品安全教育に関する研究」, 小田原女子短期大学研究紀要, , 42, 1-7, 2012.
山本紀久子「平成20年告示中学校学習指導要領(技術・家庭編)とその解説における製品安全に関する記述

分析」, 生活安全ジャーナル, , 11, 45-50, 2011.

山本紀久子「平成 21 年度告示高等学校学習指導要領及びその解説(家庭編)における製品安全に関する記述分析(上)」, 生活安全ジャーナル, , 12, 57-60, 2011.

研究業績(2)学会発表など

山本紀久子、山田好子、「消費者安全に視点をあてたレシピ作りの教材開発」(第31回日本消費者教育学会全国大会・2011年10月)

山本紀久子、山田好子、「消費者安全に視点をあてたレシピ作りの教材開発」(日本消費者学会関東支部20011年第2回発表研究会・2011年06月)

<その他> 平成 23 年度茨城県高等学校家庭クラブ連盟第 59 回研究発表会(審査委員)(2012年01月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

神奈川県消費生活審議委員(2011年度)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「消費生活用製品の安全・安心に視点をあてた消費者安全教育」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2010年10月～2013年03月)

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 吉野 聡
------------------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1967 年 6 月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程(1993 年)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	推奨授業(茨城大学)(2006 年 03 月 10 日)
所属学会	日本体育学会, 日本体育授業研究会, 日本体育科教育学会, 日本スポーツ教育学会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	<p>体育カリキュラム研究(技能特性に関する研究)</p> <p>体育で教える領域毎の技能の特性(習得過程や習得に求められる能力の違い・特徴など)を研究しています。教材づくりや助言内容・方法などの指導法に資する知見を明らかにしたいと考えています。</p> <p><体育教師教育></p> <p>体育・保健体育科を指導する大学生、初任・中堅教員の指導力向上に役立つ研修のあり方について研究を行っています。</p> <p>(キーワード) 体育教師教育 授業研究 体育カリキュラム 指導法</p>
担当科目	<p>【教養教育】「身体活動」(43 人), 「身体活動」(50 人), 「身体活動」(46 人)</p> <p>【学部専門】「体育科教育法研究」(43 人), 「体育科教育法研究」(63 人), 「保育内容の研究(健康)」(49 人), 「保育内容の研究(表現)」(35 人), 「保健体育科教育法研究 I」(41 人), 「体育科内容研究」(112 人), 「ボールゲーム方法論 I」(37 人), 「卒業研究」(4 人)</p> <p>【大学院】「体育科学総合研究」(6 人), 「保健体育授業設計」(6 人), 「体育教育演習」(1 人)</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

北尾倫彦【監修】高橋健夫【編集】「観点別学習状況の評価基準と判定基準 小学校体育」, 図書文化, 51-58, 2011.

研究業績(2) 学会発表など

<招待講演> 平成 23 年度体力向上に係る講演会(「新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導と評価の一体化」講演)(2012 年 01 月)

<その他> 平成 23 年度体育学習アドバイザー(投能力向上のための指導)(2011 年 10 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

日本体育授業研究会 茨城大会実行委員長(2011 年 08 月～)
日本体育科教育学会 国際交流委員長(2011 年 04 月～)
日本スポーツ教育学会 国際交流委員長(2009 年 04 月～)
日本体育学会 日本体育科教育学会・国際交流委員長(2011 年 04 月～2014 年 03 月)
日本スポーツ教育学会 日本スポーツ教育学会・国際交流委員長(2009 年 04 月～)
日本体育授業研究会 日本体育授業研究会・理事・編集委員(2007 年 08 月～)
日本体育学会・(1993 年 04 月～)

体育・保健体育デジタル教材作成委員会(2011 年度)

海外出張・海外研修・内地研修など

韓国 ソウル、テグ・高麗大学、テグ教育大学[大学視察、学会参加](2011 年 8 月:5 日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 渡邊 将司
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1978 年 5 月
学歴・職歴	筑波大学人間総合科学研究科博士課程修了(2006 年 03 月) 茨城大学 教育学部 保健体育教室(2009 年 04 月～) 浅井学園大学 短期大学部 人間総合学科スポーツ科学系 (2006 年 04 月～2007 年 03 月) 北翔大学 短期大学部 こども学科(2007 年 04 月～2009 年 03 月)
学位	博士(体育科学)[筑波大学]
受賞歴	日本成長学会 若手優秀演題賞(2008 年 11 月), Roy Acuff ACSM Abstract Award(2005 年 05 月)
所属学会	National Strength and Conditioning Association, American College of Sports Medicine, 日本トレーニング科学会, 日本発育発達学会, 日本成長学会, 日本体力医学会
専門分野	スポーツ科学 身体教育学
教育研究概要	からだの成長・成熟や体力・運動能力の発達に関して研究しています。最近では早生まれの子ども運動能力、子どもの運動習慣化、子ども期の運動習慣と成人期の体力・健康などに関心があります。 (キーワード) 発育発達学、形態学、トレーニング科学
担当科目	【教養教育】「身体活動」(39 人), 「身体活動」(42 人), 「身体活動」(44 人) 【学部専門】「総合演習」(28 人), 「体育科教育法研究」(63 人), 「保育内容の研究(健康)」(49 人), 「陸上競技指導法/陸上競技/陸上競技/陸上競技指導法/陸上競技」(45 人), 「測定評価」(22 人), 「陸上競技方法論」(38 人), 「形態学」(33 人), 「卒業研究」(4 人) 【大学院】「体育科学総合研究」(6 人), 「保健体育授業設計」(6 人), 「形態学特論」(6 人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

「3 次元加速度計による中学生の総エネルギー消費量の妥当性 —子ども式と成人式による比較検討—」, 厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業「エネルギー必要量推定法に関する基礎的研究」平成 21 年度～23 年度総合研究報告書, , 94-107, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

Mari Suzuki, Masashi Watanabe, "Factors affecting laterality of step length during sprint running"(The 16th Annual Congress of the European College of Sport Science, 2011 年 07 月)

Masashi Watanabe, Mariko Yuge, "Interaction of physical maturity, birth date, and physical fitness in 10?11 years old schoolchildren"(The 16th Annual Congress of the European College of Sport Science, 2011 年 07 月)

北茨城市スポーツ少年団研修会(スポーツにおけるストレッチ・クールダウン)(2012年02月)
〈招待講演〉ひたちなか市保健推進員講演会(講演「肥満予防と健康づくり」)(2011年09月)
公認スポーツ指導者更新義務講習会(全日本空手道連盟)(講演「体育理論・スポーツ医学」)(2011年07月)
銚田市スポーツ少年団指導者講習会(講演・実技「プライオメトリックトレーニング ～からだのバネを鍛える～」)(2011年06月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

〈フィールドワーク〉日本陸上競技連盟 普及育成委員会地域拠点部関東担当(2011年04月～2013年06月)

社会的活動、地域貢献など

[その他]「からだの成長」筑波大学における集中授業(2011年度実施)

海外出張・海外研修・内地研修など

イギリス リバプール・Arena and Convention Center Liverpool[ヨーロッパスポーツ学会参加及び発表](2011年7月:6日間)

科学研究費補助金などの受領

人間環境教育課程	氏名 渡部 玲二郎
----------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1965年3月
学歴・職歴	筑波大学心理学研究科博士課程単位取得満期退学(1994年) 茨城大学教育学部教授(2011年10月～) 茨城大学教育学部助教授(1999年10月～2007年03月) 茨城大学教育学部講師(1995年01月～1999年09月) 茨城大学教育学部准教授(2007年04月～2011年09月)
学位	博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育心理学会, 日本カウンセリング学会, 日本発達心理学会, 日本心理学会
専門分野	教育・社会系心理学
教育研究概要	(キーワード) 子どもの対人関係、教師と子どもの対人関係、社会的適応、自己受容
担当科目	【教養教育】「人間と心/心理学」(78人), 主題別ゼミ(10人) 【学部専門】「発達の理解 I/発達の理解A」(112人), 「総合演習」(4人), 「心理特別演習 I」(4人), 「心理特別演習 II」(4人), 心理学研究法 I」(11人), 「心理学研究法 II」(21人), 「心理学統計法」(11人), 「心理学文献講読 I」(13人), 「心理学実験」(10人), 「卒業研究」(4人) 【大学院】「人間関係特論」(6人), 「特別課題研究」(2人)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

渡部 玲二郎「主張性研究における一考察」, 日本大学法学部 桜文論叢, 82, 289-293, 2012.
荒川智・田中健次・村野井均・村山朝子・渡部玲二郎・大辻永・郡司春元・西川陽子「茨城大学教育学部附属学校園におけるサステナビリティ教育の実態調査と ESD カレンダーの試作」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), , 61, 41-54, 2012.
渡部玲二郎・高橋由理「自己期待に関する不合理な信念および自己の側面の重要性」が自己受容に及ぼす影響」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 61, 437-445, 2012.
単著 財団法人田中教育研究所編 TK式コミュニケーションを高めるワーク 利用の手引
単著 財団法人田中教育研究所編 TK式コミュニケーション力を高めるワーク 3・4年生用, 5・6年生用

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本カウンセリング学会 日本カウンセリング学会常任編集委員(2008年04月～2014年03月)
 日本教育心理学会 日本教育心理学会編集委員(2008年01月～2013年12月)
 社団法人茨城県看護協会「実習指導者講習会」講師(2011年度)
 「子どものコミュニケーション能力向上プロジェクト」(共同研究): 財団法人田中教育研究所・田研出版(2007年12月～2013年03月)
 [非常勤講師]筑波大学人間学群(1998年04月～)
 [非常勤講師]茨城北西看護専門学校(2010年04月～)
 出前授業[茨城県立中央高等学校](2012年03月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「多様化した大学教育活動の分析と持続可能社会を目指した総合的教育戦略の検討」[科研費]萌芽研究(分担)(2010年04月01日～2013年03月31日)
 「ESDの視点による教科・領域横断的学習活動の構築」[科研費]萌芽研究(分担)(2010年04月01日～2013年03月31日)
 「関係性攻撃と心理・社会的適応との関連についての生涯発達心理学的研究」[科研費]基盤研究(A)一般(分担)(2009年04月01日～2014年03月31日)